

平成28年度

# 事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

北九州市社会福祉協議会



# 目 次

事業の総括	1
事業実施概要	
基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう	3
基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう	7
基本目標Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	12
組織体制の強化・常設委員会	16
事業別実施内容	
総務部関連	
会務運営	17
民間社会福祉施設整備資金貸付事業	19
民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業	19
広報誌の発行事業	20
収益事業	20
熊本地震に関する支援活動	22
施設部関連	
ウエルとばた運営事業	23
地域福祉部関連	
住民による地域づくり事業	27
地域相談支援事業	37
北九州市社会福祉大会	40
生活福祉資金	41
民間社会福祉事業従事者共済事業	42
各施設協議会等との連携	43
民生委員互助共励事業	44
生活困窮者自立相談支援事業	45
福祉人材バンク運営事業	50
潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業	53
介護サービス相談員派遣事業	54
認知症サポーターキャラバン事業	57
高齢者見守りサポーター派遣事業	59
高齢者地域交流支援通所事業	62
健康マイレージ事業	67
利権・市民後見センター関連	
地域福祉権利擁護事業	73
法人後見事業	78
社会貢献型市民後見人養成事業	80
ボランティア・市民活動センター関連	
ボランティア振興事業	81
社会福祉ボランティア大学校事業	98
北九州シニアネットワークアカデミー関連	
北九州シニアネットワークアカデミー事業	102
1 周望学舎事業	102
2 穴生学舎・穴生ドーム事業	111
3 地域活動情報支援センター	122
全部署共通	
常設委員会	126



# 事業の総括

本会は、北九州市地域福祉活動第五次計画「住民ふくしの元気プラン 2016～2020」に基づき、住民一人ひとりが安心して生き生きと暮らすまちづくりを目指し、さまざまな福祉課題の解決に取り組んでいます。初年度にあたる平成 28 年度は、総合企画委員会等において第四次計画の総括及び 2 年次の取り組みについて協議しました。

平成 5 年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」においては、地域の特性に合わせて事業を実施することで、地域課題の把握や解決に向けて校(地)区社協活動の充実・強化に努めました。それによって、今年度は、115 の校(地)区社協が「高齢者のサロン事業」を、37 の校(地)区社協が「次世代地域福祉活動者育成事業」を、また、16 の校(地)区社協が「小地域福祉活動計画づくり」を実施し、生活・福祉課題の解決に向けた関係機関・団体や福祉施設とのネットワークをより一層充実しました。

平成 27 年度北九州市から委託を受けて 2 年目となる「生活困窮者自立相談支援事業」と「地域相談支援事業」においては、ニーズの把握や地域資源の把握に努め、地域の関係機関・団体と連携しながら地域の多様化する生活・福祉課題の解決に取り組みました。

「健康マイレージ事業」においては、社協のネットワークを最大限活用することにより、平成 28 年度は 21,750 人の応募がありました。「認知症サポーターキャラバン事業」においても、目標としていた 8,000 人を上回る 9,775 人の受講があり、認知症サポーターが累計 73,201 人に増加し、市民一人ひとりの健康づくりや認知症への理解を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることができました。

また、平成 28 年熊本地震の際には、現地の災害ボランティアセンター運営支援のために、本会職員延べ 36 名を派遣した他にも、災害義援金の募集やボランティアバスの運行等、被災地のニーズに沿った継続的な支援を実施しました。あわせて、市内で災害が発生した際に、災害ボランティア活動や被災者支援を効率的かつ効果的に行うことができるよう「災害時相互協力協定」を新たに 1 つの団体と締結するとともに、八幡西区で「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」を実施し、被災者支援の技術の蓄積に努めました。

本会を取り巻く環境は、福祉課題の多様化や緊縮する財政事情など、依然として厳しい状況にありますが、今後も多くの関係機関・団体と緊密に連携するとともに、地域福祉活動の充実強化を図り、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の推進に努めてまいります。

記

## 北九州市地域福祉活動第五次計画 「基本目標」と「実施項目」

### 基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう

- 1 広報・啓発の強化
- 2 福祉教育の推進
- 3 地域福祉人材の育成

### 基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう

- 1 小地域福祉活動の活性化
- 2 ボランティア・市民活動の支援
- 3 災害時の福祉救援体制づくり
- 4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり
- 5 小地域福祉活動計画の推進

### 基本目標Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- 2 社会参加・自立の支援
- 3 調査・研究、提言

### 組織体制の強化

### 常設委員会

# 事業実施概要



# 平成28年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

## 基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう

住民一人ひとりが、同じ地域に暮らす人たちが持つ多様な生活・福祉課題を、地域の課題として共感し、地域には色々な人がいてあたりまえという風景にしていくことで、お互いを思いやり支え合う活動が自然と広がっていくことが望めます。

そのため、私たちのまちに福祉の風土を広げ、福祉を身近なこととして感じてもらうための福祉教育の推進により、地域福祉への関心を高めていきます。

## 目標達成のための取り組み

### 1 広報・啓発の強化

#### (1) 地域福祉推進のための広報・啓発物の作成・活用

- ・テレビや新聞等のマスメディアの積極的な活用 <全部署>
- ・広報委員会を活用した広報内容の充実 <全部署>
- ・市社協事業紹介リーフレットの活用 <全部署>
- ・広報紙の発行 <総務課・施設部・研修課・周望・穴生>
  - 「きたきゅうしゅう市社協だより」・「ひと&ひと」各4回（172,000部）
  - 「ウェル新聞」12回
  - 「周望新聞」1回、「周望かわら版」3回
  - 「穴生学舎新聞」3回
- ・ウェルとばたの福祉文化拠点化 <施設部>
- ・プチボなまちづくり第6版の作成（13,000部） <地域支援課>
- ・きたきゅうしゅう市社協だよりを活用した「企業の社会貢献活動」紹介（4回） <活動推進課>
- ・ボランティア・市民活動センター啓発冊子「ボランティアというカ・タ・チ」の作成・活用（2,000部） <活動推進課>
- ・社会福祉ボランティア大学校「研修事業のご案内」の作成（4,500部） <研修課>

#### (2) インターネットを活用した地域福祉関連情報の収集・発信

- ・ホームページを活用した社協情報の提供（アクセス数：112,861件） <総務課>
- ・ホームページの内容分析とタイムリーな情報更新（アクセス報告会：4回開催） <総務課>
- ・ウェルとばた Facebook を活用した情報発信 <施設部>

- ・校(地)区社協ホームページの活用による社協活動の理解促進 <地域支援課>
- ・ふれあいネットワーク活動実績報告等を活用した校(地)区社協ホームページの更新 <地域支援課>
- ・「らいと」ホームページ活用による地域福祉権利擁護事業、成年後見制度、法人後見事業の周知及び広報 <権利擁護・市民後見センター>
- ・周望学舎ブログ「周望の丘から」、穴生学舎ブログ「つれづれ日記」による情報発信 <周望・穴生>

### (3) 啓発イベント等の実施

- ・社会福祉大会の実施(1回 640人) <全部署>
- 新 ・ボランティア週間の実施(11月12~20日) <活動推進課>
- ・市民ふれあいフェスティバルの実施(1回) <活動推進課>
- ・社協活動イメージキャラクター「プチボザウルス」の活用促進(20回) <総務課>
- ・ウエルとばたにおける映画上映を通じた福祉課題の情報発信(1回 112人) <施設部>
- ・視察等の積極的な受け入れによる地域福祉活動拠点施設のPR(6回 75人) <施設部>
- ・啓発物品(オリジナルポロシャツ・エプロン等)の販売による広報・啓発(Tシャツ481枚、エプロン81枚、ポロシャツ147枚) <地域支援課>
- ・大学祭・作品展による地域への情報発信(大学祭:周望1回・穴生1回、作品展:周望1回・穴生1回、合同1回) <周望・穴生>
- ・一日体験講座の開催(周望:1回、穴生:2回) <周望・穴生>
- ・穴生ドームフェスタの開催(1回) <穴生>

### (4) 出前講演活動の実施

- ・関係機関・団体と連携した出前講演活動の実施 <全部署>
  - 新たな社会福祉制度や生活・福祉課題に対応した出前講演の実施(81回 2,501人) <地域支援課>
  - 判断能力が不十分な高齢者や障害者を地域福祉権利擁護事業や法人後見事業へつなぐための、校(地)区社協等の機能を活用した住民への事業周知活動(校(地)区社協等への出前講演:10回 235人、事業周知活動:16回 2,150人) <権利擁護・市民後見センター>
  - ボランティア・市民活動啓発のための出前講演(14回 449人) <活動推進課>
- ・健康づくり・介護予防のためのニュースポーツ出前事業(58回 1,646人) <穴生>

### (5) 共同募金運動への協力

- ・市民への共同募金運動の理解促進と募金への協力促進 <全部署>
- ・社協の主催事業及び広報紙等を活用した広報啓発 <財務企画課>
- ・共同募金啓発パネル展の開催 <財務企画課>
- ・小地域福祉活動における効果的な啓発活動の実施 <地域支援課>

## 2 福祉教育の推進

### (1) 住民啓発講座等による福祉教育

- ・関係機関・団体が実施する個別テーマ（障害者支援・生活困窮者支援等）の住民啓発講座の開催支援 <地域支援課>
- ・認知症サポーター養成講座を活用した啓発・推進（9,775人） <生活福祉課>
- ・年間コースの共通科目としての福祉教育・人権学習の充実（30コース） <周望・穴生>

### (2) 社会福祉施設と連携した福祉教育

- ・夏ボランティア体験学習の実施（参加者数：751人、受入施設等：206箇所） <活動推進課>
- ・校(地)区社協及び社会福祉施設等での交流・活動体験（周望:28回・260人、穴生:4回・63人） <周望・穴生>

### (3) 次世代地域福祉活動者の育成

- ・校(地)区社協を中心とした次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の推進（37校(地)区 参加児童：1,438人） <地域支援課>

### (4) 学校等教育機関と連携した福祉教育

- ・小地域を基盤とした福祉体験・ボランティア学習への支援及び福祉教育プログラムの検討 <活動推進課>
- ・学校教育機関（大学・専門学校）との地域福祉人材育成のための共同カリキュラムの実施 <周望>

## 3 地域福祉人材の育成

### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- ・新たなボランティア・市民活動の担い手の養成のための講座の実施 <研修課>
  - まちづくりセミナー（1回 5日 139人）
  - ふくしのまちづくり講座（7回 21日 747人）
- ・校(地)区社協を中心とした地域福祉活動等における活動機会の確保、参加促進 <地域支援課>

### (2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成

- ・校(地)区社協及び地区民児協と連携した研修事業の実施 <研修課・地域支援課>
- ・社協サロン活動交流会の開催（参加者215人） <地域支援課>
- ・新任者の育成 <研修課>
  - 新任福祉協力員等研修（8回 8日 362人）
- ・現任者の育成 <研修課>

- 現任福祉協力員等研修 (7回 7日 374人)
- 地域福祉活動専門研修 (1回 1日 135人)
- ・役員の育成 <研修課>
  - 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」(1回 1日 188人)
  - 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 (1回 1日 95人)
  - まちづくりゼミナール (1回 5日 63人)
- ・小地域福祉活動者を育成するコースの開催 (周望:2コース・68人、穴生:2コース・47人) <周望・穴生>

### (3) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

- ・入門者の育成 <研修課>
  - 傾聴ボランティア養成講座 (1回 3日 65人)
  - 福祉有償運送運転協力者研修 (3回 6日 74人)
  - 私にもできる災害ボランティア入門講座 (1回 1日 24人)
- ・活動者の育成 <研修課>
  - 傾聴ボランティア・フォローアップ研修 (1回 1日 26人)
  - 送迎ボランティア・フォローアップ研修 (1回 1日 17人)
  - 災害ボランティア・フォローアップ研修 (1回 1日 28人)
- ・リーダーの育成 <研修課>
  - ボランティア・リーダー研修 (1回 1日 29人)
- ・災害ボランティアの育成と活動支援 (登録ボランティア:112人) <活動推進課>
- ・シルバーひまわりサービスボランティアの育成と活動支援 (登録ボランティア:1,100人) <活動推進課>
- ・腕自慢おまかせサービスボランティアの育成と活動支援 (登録ボランティア:317人) <活動推進課>

### (4) 企業におけるボランティア・市民活動者の育成

- ・企業従事者等の育成 <研修課>
  - 企業・社会福祉法人の社会貢献活動セミナー (1回 1日 102人)
- ・北九州市社協だよりを活用した「企業の社会貢献活動」紹介 (4回) **【再掲】** <活動推進課>
- ・企業等の職員研修における福祉教育・ボランティア体験への支援 <活動推進課>
- ・校(地)区社協を中心とした地域福祉活動等における活動機会の確保、参加促進 **【再掲】** <地域支援課>

### (5) ボランティア・市民活動支援者の育成

- ・実務者の育成 <研修課>
  - ボランティア・コーディネーター研修 (1回 2日 38人)
- ・区社協ボランティア・市民活動センターの支援
  - 研修・講座等の企画支援

## 基本目標 II 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう

地域社会の福祉課題の解決のためには、それぞれの地域において住民と関係機関・団体とのネットワークの充実を図り、一人でも多くの住民が、自分たちの住むまちの地域づくりに参加することが必要です。

そのため、小地域福祉活動の推進やボランティア・市民活動の振興に努め、誰もが参加しやすい環境づくりを図るとともに、連携や協働を通じて支援を必要としている人の課題を解決していけるように、住民主体の福祉活動に取り組みました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 小地域福祉活動の活性化

##### (1) 「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化

<地域支援課>

**重** ・地域の関係機関・団体との連携・協働による小地域福祉活動の充実・強化 (154校(地区))

- ・「ふれあいネットワーク活動推進事業」基本事業、メニュー事業の実施
  - 対象世帯数に応じた適切な福祉協力員の配置と人材確保
  - 福祉協力員と民生委員・児童委員等との役割分担、連携促進
  - 校(地区)区社協連絡調整会議の定例化及び活性化の支援 (全市延 1,303回)
  - 校(地区)区社協と福祉関係者(民生委員・児童委員、いのちをつなぐネットワーク担当係長等行政職員、社会福祉施設職員等)やNPO・市民活動団体との連携強化・情報の共有
- ・地域支援コーディネート機能の強化による校(地区)区社協活動の充実・強化
- ・校(地区)区社協支援のための市・区社協共同事業の活用促進
- ・個人情報共有による小地域福祉活動の推進(個人情報の手引き活用)
- ・活動報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした地域支援
- ・サロン活動、健康づくり活動等の推進
- ・福祉のまちづくりモデル事業の実施(2校(地区))
- ・生活困窮者支援を通じた「相互に支えあう」地域づくりの推進
- ・校(地区)区社協と連携した受託事業の推進による小地域福祉活動の活性化

##### (2) 地域支援コーディネート機能の充実・強化

<地域支援課>

- ・地域相談支援事業の実施(地域支援コーディネーター13人配置)
- ・地域支援コーディネート機能の強化による小地域福祉活動の充実・強化
- ・地域支援コーディネートによるサロン活動の拡充(新規開設支援:23カ所)
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた地域福祉活動者間の連携促進

- (3) 校(地)区社会福祉協議会会長会議等の開催 <地域支援課>  
・校(地)区社協会会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の定期的な開催支援

- (4) テーマ型ボランティア・市民活動団体との協働 <活動推進課>  
**新** ・中間支援組織連絡会合同研修会の開催(1回)  
・市民ふれあいフェスティバルの実施(1回)【再掲】

## 2 ボランティア・市民活動の支援

### (1) ボランティア・市民活動への支援

- ・コーディネーション、相談援助、情報提供機能の強化 <活動推進課>
- ・ボランティア活動保険加入助成(24,556人) <活動推進課>
- ・全国レベルの研修会への参加助成(2人 10千円) <活動推進課>
- ・福祉用具の貸出(市域509件) <活動推進課>
- ・ウェルとばたの管理運営事業を活用したボランティア・市民活動の場の提供(随時) <施設部>
- ・施設を有効活用した市民参加型のにぎわい創出事業の実施(随時) <施設部>
- ・行政と連携した市民のエコ活動の啓発と推進(随時) <施設部>
- ・地域支援コーディネート機能の強化による地域課題の解決や個別ニーズに対する相談・支援の充実(個別相談:295件、互助活動に関する相談:750件) <地域支援課>
- ・シルバーバンク及びボランティアグループの活動支援(周望:9,662人、穴生:4,848人) <周望・穴生>
- ・地域開放事業等の実施(図書館利用者:1,895人、大会議室等利用者:8,811人) <穴生>

### (2) ボランティア・市民活動ネットワークの構築

- 重** ・ボランティア・市民活動団体による地域ニーズに対応するための中間支援機能の拡充(中間支援組織連絡会合同研修会:1回) <活動推進課>
- ・市民ふれあいフェスティバルの実施(1回)【再掲】 <活動推進課>
  - ・NPO・市民活動団体等とのネットワークの構築 <周望・穴生>

## 3 災害時の福祉救援体制づくり

### (1) 災害時の福祉救援体制づくり

- <地域支援課>
- ・校(地)区社協と関係団体との連携による災害時の福祉救援体制づくりの推進(28校(地)区)
  - ・災害時の福祉救援体制づくり事例集を活用した活動の充実
  - ・民生委員・児童委員と連携した災害時要援護者支援活動への参画

## (2) 災害復興に対応するための体制づくり

- 新 ・災害時相互協力協定にかかる連絡会議の開催 (2回) <活動推進課>
- 新 ・災害時相互協力にかかる連絡会議構成員の拡充 (1企業) <活動推進課>
- ・被災者支援にかかる活動や訓練等に対する相談支援 <活動推進課>
- ・関係機関・団体、大学と連携した被災者支援活動の推進 <活動推進課>
- ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施 (1回) <活動推進課>
- ・校(地)区社協機能を活用した災害時の効果的な支援体制の構築 <地域支援課>
- ・災害ボランティアの活動支援
  - 私にもできる災害ボランティア入門講座 (1回 1日 24人) 【再掲】 <研修課>
  - 災害ボランティア・フォローアップ研修 (1回 1日 28人) 【再掲】 <研修課>
  - 災害及び被災地情報の逐次提供 <活動推進課>
  - 被災地支援のためのボランティアバスの運行 (2回 延73人) <活動推進課>
- ・災害ボランティアセンターとの連携及び支援 <周望・穴生>
- ・指定緊急避難場所・指定避難所としての活用 (周望学舎宿泊施設、穴生ドーム) <周望・穴生>

## (3) 非常時の危機管理強化

<施設部>

- ・戸畑駅前地区防災相互応援協定を活用した帰宅困難者への支援体制づくり
- ・ウェルとばた入居者との災害時支援体制づくりの推進

## 4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり

### (1) 民生委員・児童委員との連携

<地域支援課>

- ・市民生委員児童委員協議会事務局の運営 (会議：32回、研修会：5回、大会：1回)
- ・各区民生委員児童委員協議会との連携
- ・民生委員・児童委員と福祉協力員の連携強化のための研修プログラム等の充実 (地区民児協会長研修、現任福祉協力員等研修)
- ・個人情報の手引き等を活用した民生委員・児童委員と福祉協力員等との地域情報共有化による連携強化
- ・校(地)区社協連絡調整会議への参画
- ・民生委員互助共励事業の実施による民生委員・児童委員活動の充実と推進 (弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業：2地区、活動振興事業：1地区)

### (2) 専門職の参加による連絡調整会議の充実・強化

- ・社会福祉施設や行政等関係機関・団体との連携促進による地域包括ケアシステムの構築に向けた協力体制づくり <地域支援課>

- ・校(地)区社協連絡調整会議の定例化及び活性化の支援（全市延 1,303 回）【再掲】  
 　　<地域支援課>
- ・地域包括（統括）支援センター派遣職員の連絡調整会議、地区民児協会等への参加  
 　　(75 回) <総務課>

**(3) 社会福祉施設等の地域活動への参画とその専門性を活かした地域の課題解決**

<地域支援課>

- ・社会福祉施設協議会連絡会の開催（2 回）
- ・社会福祉施設協議会と連携した地域における公益的な取組に関する実態調査の実施
- ・大都市社会福祉施設協議会大会への参加（12 人）
- ・連絡調整会議や小地域福祉活動計画策定委員会等への社会福祉施設の参画促進

**(4) 福祉の職場の人材確保**

<福祉人材バンク>

- ・福祉人材無料職業紹介事業の実施
- ・「就労支援セミナー」の開催（2 回 35 人）
- ・「福祉のしごと合同就職面談会」の開催（2 回 156 人）
- ・求職登録者への定期的な求人情報の提供（延 1,067 人）
- ・他の関係窓口や雇用対策事業と連携した就労支援や就労準備支援
- ・福祉のしごとへの理解や関心を高めるための広報活動
- ・福祉系の大学、高等学校、専門学校等との連携

**(5) 社会福祉施設・団体への支援**

- ・民間社会福祉事業従事者共済事業の実施 <地域支援課>
- ・各種別社会福祉施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加（北九州市児童養護施設協議会施設長会：10 回、北九州高齢者福祉事業協会施設長会：1 回、保育所連盟等行事への参加） <地域支援課>
- ・各種社会福祉助成事業の情報提供、寄贈物品等の提供 <財務企画課>
- ・民間社会福祉施設整備資金貸付事業の実施 <財務企画課>
- ・社会福祉施設・団体への地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施  
 　　<権利擁護・市民後見センター>
- ・地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加  
 　　<権利擁護・市民後見センター>

## 5 小地域福祉活動計画の推進

### (1) 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進

<地域支援課>

- ・校(地)区単位の小地域福祉活動計画の策定及び推進支援(策定済み:23校(地)区)
- ・地域支援コーディネート機能の強化による策定校(地)区の拡大(策定:6校(地)区)
- ・小地域福祉活動計画策定研修(ふくしプランニング工房)の開催(2回 延91人)

- 新・第二次計画策定研修の開催(2回 延112人)

## 基本目標 Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

誰もが地域とのつながりを持ち続け、いつまでも安心して健やかに暮らすことができるよう、高齢者、障害者、子どもたちが居場所や役割を認識でき、地域の一員として社会参加できる環境づくりが重要です。

そのため、住民の日常生活上のさまざまなニーズを早期に把握するための相談支援体制の充実を図り、支援を必要とする人に応じたサービス情報の提供、社会参加、自立支援につながる福祉活動を展開しました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 権利の擁護と相談体制の充実

##### (1) 地域福祉権利擁護・法人後見事業の充実 <権利擁護・市民後見センター>

(平成 28 年度末地域福祉権利擁護事業：実契約者数 310 人)

(平成 28 年度末法人後見事業：成年後見人等受任数 50 人)

・判断能力が不十分な高齢者や障害者を地域福祉権利擁護事業や法人後見事業へつなぐための、校(地)区社協等の機能を活用した住民への事業周知活動(校(地)区社協等への出前講演：10 回・参加者 235 人、事業周知活動：16 回・2,150 人)【再掲】

・他団体等からの視察の受入(5 回 27 人)

・他都市が開催する研修会等への講師派遣(3 回 研修参加者 487 人)

・成年後見センター「みと」と連携した総合相談の実施

・地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応

・関係団体(行政、介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等)との連携による効果的かつ効率的なサービスの実施(金銭管理サービス総回数：4,690 回、生活支援サービス総回数：8,690 回、財産保管サービス総回数：120 回)

・専門機関との連携による法人後見事業の円滑な遂行(家庭裁判所、北九州成年後見センター「みと」、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等)(法人後見事業活動総回数：1,568 回)

・研修会への積極的参加による職員のスキルアップと専門知識の習得(専門員・支援員合同研修会の実施：2 回、ブロック会議の実施：1 回、専門性を高めるための研修会への参加：9 回)

・地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援(移行件数：10 件)

##### (2) 成年後見制度の担い手の育成とその活用の検討・実施 <権利擁護・市民後見センター>

**新** ・市民後見人の個人受任に向けた体制づくり(市民後見人の個人受任に向けた検討会：8 回)

・市民後見人養成研修の実施(北九州市市民後見候補人フォローアップ研修参加者 9 人)

### (3) 要支援者への情報提供や相談機関等の紹介

- ・校(地)区社協機能を活用した支援が必要な人への情報提供の充実(生活情報の提供: 240,975回) <地域支援課>
- ・民生委員・児童委員と連携した校(地)区社協における相談支援機能の充実 <地域支援課>
- ・地域支援コーディネート機能の強化による地域の「見つける」、「つなぐ」仕組みの充実強化 <地域支援課>
- ・地域福祉権利擁護事業利用者への生活支援サービスによる情報提供や苦情申し立て支援(生活支援サービス総回数: 8,690回) <権利擁護・市民後見センター>

### (4) 社会福祉施設等と連携したサービスの質の向上のための相談体制の充実

- ・介護サービス相談員派遣事業を活用した高齢者福祉施設サービスの質の向上(121事業所 延1,482回派遣) <地域支援課>
- ・社会福祉施設・団体への地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施  
【再掲】 <権利擁護・市民後見センター>
- ・地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加【再掲】  
<権利擁護・市民後見センター>
- ・研修会への積極的参加による職員のスキルアップと専門知識の習得(専門員・支援員合同研修会の実施: 2回、ブロック会議の実施: 1回、専門性を高めるための研修会への参加: 9回)【再掲】 <権利擁護・市民後見センター>

## 2 社会参加・自立の支援

### (1) 相談窓口や福祉サービスの利用支援 <地域支援課>

- 重** ・総合相談・生活支援機能の拡充と地域との連携に向けた体制づくり
- ・民生委員・児童委員と連携した高齢者・障害者・ひとり親家庭への支援

### (2) 生活困窮者の相談支援 <地域支援課>

- ・生活困窮者自立支援制度の中核となる自立相談支援事業の実施
- ・多様な生活・福祉課題を抱える人を包括的・継続的に支援する、相談支援員の確保・育成(4回)
- ・生活困窮者支援に関する住民理解の促進(出前講座: 9回、参加者325人)
- ・地域支援コーディネート機能の強化による、地域で支え合うためのニーズ発見や、相談・支援体制の充実
- ・生活福祉資金貸付制度、日常生活自立支援事業、福祉人材バンク等と連携した総合相談体制づくり
- ・生活福祉資金貸付制度(教育支援資金等)の説明会の実施(1回)
- ・行政やその他関係機関との連携強化

### (3) サロン事業の推進

- ・校(地)区社協と地域の多様なサロン活動主体との役割分担及び連携促進のための社協サロン活動交流会の開催 (参加者 215 人) <地域支援課>
- ・サロン事業実態調査結果をふまえたサロン活動の推進支援 (実態調査報告書の発刊) <地域支援課>
- ・サロン活動の手引きを活用した活動の充実 <地域支援課>
- ・地域支援コーディネート機能の強化による、校(地)区社協を中心とした、地域団体や社会福祉施設等が連携した地域のつながりづくりの促進 <地域支援課>
- ・高齢者地域交流支援通所事業との連携 <生活福祉課>

### (4) 高齢者、障害のある人、ひとり親家庭等への支援

- ・高齢者地域交流支援通所事業の利用促進 <生活福祉課>
- ・市民の健康づくり促進のための健康マイレージ事業の推進 <生活福祉課>
- ・介護支援ボランティアの育成と活動支援 (新規登録 230 人) <活動推進課>
- ・高齢者いきがい活動ステーションの利用促進 (8 月末受託終了) <活動推進課>
- ・年長者研修大学校の新人研修生の確保 (周望:103 人、穴生:84 人) <周望・穴生>
- ・出前講演や校(地)区社協の住民啓発講座を通じた生活・福祉課題への理解促進 (78 回 延べ参加者 2,414 人) <地域支援課>

### (5) 年長者研修大学校による社会参加の支援

<周望・穴生>

- ・年間研修コースでの高齢者の社会参加の支援
  - 周望学舎 (15 コース 546 人)
  - 穴生学舎 (15 コース 427 人)
- ・小地域福祉活動者を育成するコースの開催 (周望:2 コース・68 人、穴生:2 コース・47 人) 【再掲】
- ・年間コースの共通科目としての福祉教育・人権学習の充実 (30 コース) 【再掲】
- ・短期自主講座の開催
  - 周望学舎 (シニアカレッジ:3 回・118 人、パソコン: 19 回・314 人、英会話:1 回・17 人、陶芸:1 回・10 人、年長者と孫の集い:1 回・37 人、一日体験講座:1 回・28 人)
  - 穴生学舎 (シニアカレッジ: 2 回・114 人、パソコン:7 回・99 人、シニアと孫の夏休み:1 回・22 人、一日体験講座:2 回・37 人、公開講座:1 回・77 人)
- ・年長者研修大学校・穴生ドームにおけるボランティア活動機会の提供 (983 人)
- ・地域活動情報支援センターによるボランティアコーディネート (76 件)
- ・穴生ドームでの健康・体力づくり事業
  - 健康づくり・介護予防プログラムづくり
  - ニュースポーツ出前体験 (58 回 1,646 人)
  - 早朝開放やニュースポーツ開放デー (早朝開放:11,349 人、ニュースポーツ無料開放デー:12 回・572 人)

- ・シニア世代の社会貢献を行う生涯現役夢追塾事業及び同窓会活動への実施支援

#### (6) 障害のある人の社会参加・自立の支援

- ・障害者就労支援施設商品等の活用促進のための実態把握 <財務企画課>
- ・ウェルとばた・年長者研修大学校での障害者の就労支援 <施設部・周望・穴生>
- ・障害者優先調達推進法に基づく障害者の製作品のイベントなどでの紹介及びウェル新聞等の媒体を活用した広報 <施設部>
- ・特別支援学校、作業所と協力した福祉市場の開催 <施設部>

#### (7) 地域住民、ボランティアによる生活支援

- ・シルバーひまわりサービスの実施 (4,691 件) <活動推進課>
- ・腕自慢おまかせサービスの実施 (48 件) <活動推進課>
- ・在宅高齢者サービスにかかる行政、労働組合、企業との連絡調整 (連絡調整会議 1 回) <活動推進課>
- ・高齢者見守りサポーター派遣事業を通じた認知症高齢者及び介護者への支援及び利用者の拡大 (延 176 回派遣) <生活福祉課>

### 3 調査・研究、提言

#### (1) 地域福祉活動のあり方に関する委員会の開催 <地域支援課>

- 重** ・行政や関係機関・団体、企業等と連携した地域福祉活動第五次計画の推進
- ・地域福祉活動第四次計画の総括
- ・北九州市地域福祉計画、高齢者支援計画、健康づくり推進プラン、障害者支援計画との連携
- ・地域福祉活動第五次計画進捗状況の点検・評価 (総合企画委員会 2 回)

#### (2) 小地域福祉活動の実態把握及び調査・研究、提言 <地域支援課>

- ・地域支援コーディネート機能の強化による校(地)区社協の活動上の課題の整理 (サロン活動実態調査報告書の発刊)
- ・ふれあいネットワーク活動中間報告、実績報告等を活用した校(地)区社協の活動状況の把握・分析による課題整理 (第三者評価委員会 1 回)

#### (3) ボランティア・市民活動実態調査

- ・ボランティア・市民活動グループ、の活動実態調査の実施及び冊子の発行 (対象 699 団体 1,000 部発行) <活動推進課>
- ・高齢者の学習ニーズ、ボランティア活動への関心等の調査、研究 (1 回) <周望・穴生>
- ・年長者研修大学校修了後の地域活動の追跡調査 (1 回) <周望・穴生>

## 組織体制の強化

地域福祉活動第五次計画及び本事業計画に沿って事業を効果的に推進するために、社会福祉法人制度改革に的確に対応するとともに、自主財源の確保、職員の人材育成等を行い、組織体制の一層の強化に努めました。

- |   |                                |         |
|---|--------------------------------|---------|
| 重 | ・社会福祉法人制度改革への的確な対応             | ＜総務課＞   |
|   | ・賛助会員増強運動の推進                   | ＜全部署＞   |
|   | ・研修等を通じた職員の人材育成（初任者研修、人権研修の実施） | ＜総務課＞   |
|   | ・自主財源確保のための収益事業の実施             | ＜財務企画課＞ |

## 常設委員会

本会業務の円滑な運営を図るため、常設委員会にて協議を行いました。

- |                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| ・生活福祉資金調査委員会（申請0件のため開催なし）      | ＜地域支援課＞         |
| ・民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（2回）       | ＜財務企画課＞         |
| ・民間社会福祉事業従事者共済制度運営委員会（1回）      | ＜地域支援課＞         |
| ・ボランティア・市民活動センター運営委員会（3回）      | ＜活動推進課・研修課＞     |
| ・北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会（2回） | ＜周望・穴生＞         |
| ・総合企画委員会（2回）                   | ＜地域支援課＞         |
| ・権利擁護・市民後見センター監視委員会（4回）        | ＜権利擁護・市民後見センター＞ |
| ・権利擁護・市民後見センター運用委員会（8回）        | ＜権利擁護・市民後見センター＞ |
| ・表彰審査委員会（1回）                   | ＜総務課＞           |

# 事業実施内容



## ◇会務運営

本会では平成 28 年度から 5 ヶ年の新たな活動指針となる「北九州市地域福祉活動第五次計画」を策定し、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向けた体制を一層整えてまいりました。

財務面においては、限られた財源を有効に活用するため、様々な経費削減を図ることに加え、賛助会員の増強運動や自主財源確保に努め、運営基盤の強化にも努めてまいりました。

また、関係法令に沿った適正な機関運営事務の他、税務及び労務事務についても適正な処理を行いました。

### 1 理事会開催

回	実施日	出席者数 /定数	出席者中の 書面表決	議 題
第 248 回	H28. 5. 30	19/19	2	1 平成 27 年度事業報告について 2 平成 27 年度収支決算について 3 平成 28 年度収支補正予算について 4 経理規程の一部改正について 5 評議員の補充選任について
第 249 回	H28. 7. 21	19/19	8	1 副会長の選任について 2 評議員の補充選任についてについて
第 250 回	H29. 1. 19	17/19	4	1 定款の一部改正について 2 定款施行細則の一部改正について 3 評議員選任・解任委員会運営規則について 4 評議員選任・解任委員の選任について 5 評議員の補充選任について
第 251 回	H29. 2. 22	19/19	5	1 嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 2 職員給与規程及び嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正の専決処分 の報告について 3 職員の育児休業等に関する規程等の一部改正の専決処分の報告について 4 嘱託職員及び臨時職員就業規則及びホームヘルパー等就業規則の一部改正の専決処分の報告
第 252 回	H29. 3. 28	19/19	3	1 平成 28 年度収支補正予算について 2 平成 29 年度事業計画について 3 平成 29 年度収支予算について 4 事務局処務規程等の一部改正について 5 経理規程の一部改正について 6 民間社会福祉施設整備資金貸付規程の一部改正について 7 評議員選任候補者の推薦について

## 2 評議員会開催

回	実施日	出席者数 /定数	出席者中の 書面表決	議 題
第198回	H28. 5. 30	37/40	14	1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度収支決算について 3 平成28年度収支補正予算について
第199回	H28. 7. 21	37/40	26	1 理事の補充選任について
第200回	H29. 1. 19	31/40	13	1 定款の一部改正について 2 理事の補充選任について 3 監事の補充選任について
第201回	H29. 3. 28	38/40	15	1 平成28年度収支補正予算について 2 平成29年度事業計画について 3 平成29年度収支予算について 4 理事の選任について 5 監事の選任について

## 3 監事会

実施日	実施監事名	監査の内容
H28. 5. 12	萩原 正之 宗像 正博 武田 信一	1 平成27年度事業報告 2 平成27年度収支決算

## 4 市社協正副会長・区社協会長合同会議

実施日	出席者数	議 題
H28. 5. 17	9	1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度収支決算について 3 平成28年度収支補正予算について 4 経理規程の一部改正について 5 評議員の補充選任について
H29. 3. 16	10	1 平成28年度収支補正予算について 2 平成29年度事業計画について 3 平成29年度収支予算について 4 事務局処務規程等の一部改正について 5 経理規程の一部改正について 6 民間社会福祉施設整備資金貸付規程の一部改正について 7 評議員選任候補者の推薦について

## ◇民間社会福祉施設整備資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設の振興を図ることを目的に、施設の新設、修理、改築、拡張、土地の購入、備品整備等に要する整備資金の貸付を行っていますが、今年度は、新規申込は2件ありました。

### 【貸付状況の推移】

年度	件数	貸付金額
平成24年度	3件	42,000,000円
平成25年度	0件	0円
平成26年度	4件	57,000,000円
平成27年度	0件	0円
平成28年度	2件	14,700,000円

## ◇民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設を対象に、施設職員の賞与等の支給原資として資金の貸付を予定していましたが、新規申込はありませんでした。

なお、平成7年度以降、新規の貸付申請はありません。

## ◇広報紙の発行事業

社協活動を多くの市民に知らせるとともに、福祉に関する正しい理解を広げるため、市社協だよりを年4回発行しました。

発行にあたっては、魅力的な広報紙にするため特集記事や紙面構成などを工夫し、社協活動についての理解促進と、読者の興味を引くような紙面づくりに努めました。

広報紙名	発行回数	1回あたりの発行部数	年間発行部数
きたきゅうしゅう市社協だより	年4回	43,000部	172,000部

## ◇収益事業

ふれあいネットワーク活動推進事業をはじめとした社協活動の安定的な財源確保のため、収益事業及びその他収益確保の取り組みや賛助会員の加入促進に努めました。

### 1 駐車場管理

北九州市から遊休地を借用し、駐車場事業を実施しました。

平成28年度末の駐車場数は19箇所、契約台数は年間延べ4,017台で有効駐車台数4,654台に対し、利用率は86%でした。

年度	収益額(円)	箇所数	延べ契約台数	有効駐車台数	稼働率
平成24年度	7,742,490	24	4,234	4,828	87%
平成25年度	7,852,572	24	4,325	4,884	88%
平成26年度	8,593,978	24	4,281	4,884	87%
平成27年度	6,610,257	19	3,785	4,248	89%
平成28年度	6,961,857	19	4,017	4,654	86%

### 2 きたきゅうしゅう市社協だよりへの広告掲載

年4回発行する広報紙きたきゅうしゅう市社協だよりの紙面を活用して、福祉・保健分野などの事業所や企業・団体の広告を掲載し、収益確保に努めました。

年度	収益額(円)	掲載件数(件)
平成24年度	504,000	14
平成25年度	504,000	14
平成26年度	518,400	11
平成27年度	518,400	13
平成28年度	518,400	15

### 3 「まちづくりクッキー」の販売

障害者施設との連携強化及び社協活動の周知を目的に、区社協など関係機関、団体の協力を得て「まちづくりクッキー」を販売しました。

年度	収益額（円）	売上数量（個）
平成 24 年度	49,300	493
平成 25 年度	44,600	446
平成 26 年度	39,300	393
平成 27 年度	69,200	692
平成 28 年度	32,000	320

### 4 賛助会員

安定した地域福祉事業推進のための財政基盤強化を目的として、市内企業等を中心に加入促進に取り組みました。

会員数、総額としては、経済情勢等厳しく、前年度実績より減少しましたが、多くの会員にご支援とご協力をいただきました。

年度	法人・団体会員		個人会員		計	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
平成 24 年度	210	6,050,000	254	917,000	464	6,967,000
平成 25 年度	202	5,440,000	308	1,158,000	510	6,598,000
平成 26 年度	254	5,800,000	346	1,181,000	600	6,981,000
平成 27 年度	228	5,310,000	271	923,000	499	6,233,000
平成 28 年度	228	4,330,000	194	631,000	422	4,961,000

# ◇熊本地震に関する支援活動

## 1 職員の派遣

九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、熊本市災害ボランティアセンターの運営支援のため職員の派遣を行った。

- (1) 派遣期間 平成 28 年 4 月 21 日～平成 28 年 8 月 5 日
- (2) 派遣者数 延べ 36 人

## 2 熊本地震における被災者支援（絆プロジェクト熊本）

北九州市と市社協の共同事業として、熊本地震において建物損壊などにより北九州市で一時的な生活（概ね 1 月以上）を送る被災者へ見舞金を支給した。

- (1) 支給期間 平成 28 年 5 月 18 日～平成 29 年 4 月 14 日
- (2) 避難世帯数及び見舞金支給額

区 分	見舞金	世帯数	見舞金支給額
1 人の世帯	30,000 円	44	1,320,000 円
2 人及び 3 人の世帯	45,000 円	33	1,485,000 円
4 人以上の世帯	60,000 円	5	300,000 円
計		82	3,105,000 円

- (3) 絆プロジェクト熊本への寄附 2,412,516 円（個人 14 件、団体 12 件）

## 3 ボランティアバスの運行

被災地の継続的な支援を実施するため、北九州市交通局の共催を受け、市内在住、在勤・学生の方々によるボランティアバスの運行を行った。

- (1) 実施日程及び参加者数
  - 1 回目 平成 28 年 5 月 27 日（金）7 時～19 時 24 人
  - 2 回目 平成 28 年 6 月 3 日（金）7 時～19 時 53 人
- (2) 活動場所 熊本市災害ボランティアセンター

## 4 義援金の募集・受付

熊本地震で被害を受けられた方々に対する義援金の募集・受付を行った。

- (1) 募集期間 平成 28 年 4 月 18 日～平成 30 年 3 月 31 日（予定）
- (2) 受付場所 ウェルとばた・穴生、周望学舎（募金箱）、市社協窓口

## 5 その他の活動

北九州市ボランティア・市民活動センターでの、災害ボランティアに関する問合せに対応するための臨時開所、ボランティア相談支援及び支援調整など行った。

## ◇ウエルとばた運営事業

第三期指定管理業務の運営3年目にあたり、市民サービスの向上と、ウエルとばたの複合施設としての特徴を最大限に活かし、地域住民・ボランティア、入居団体と協働で、にぎわい創出事業「花火鑑賞会・映画上映会」及び自主事業「初夏のをどり・歌まつり」等を実施し、福祉意識の浸透と地域の活性化及び福祉文化の発信に努めました。

また、指定管理提案事項でもあった福祉文化事業の一環として、「北九州市障害者芸術祭」及び「ふれあいフェスティバル」の共同開催に参加し、事業を行いました。

なお、第三期指定管理の提案内容については、指定管理期間で着実に実施できるよう、長期計画を立て確実に実施していきます。

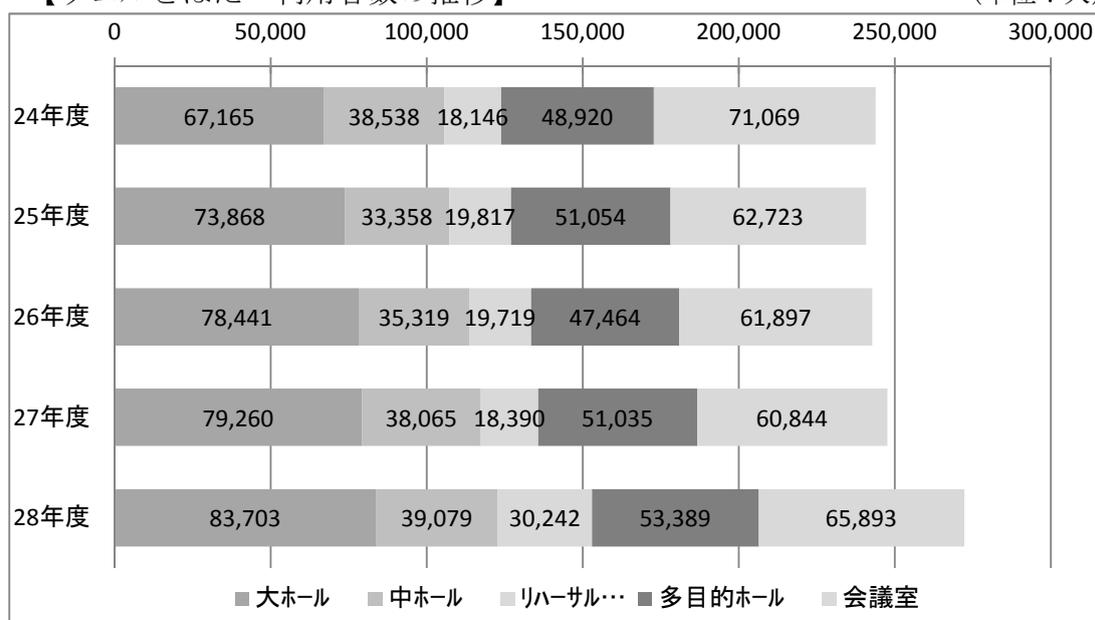
### 1 会議室等利用状況

(単位：人)

区分	貸館利用者数					合計
	大ホール	中ホール	リハール・練習室	多目的ホール	会議室	
24年度	67,165	38,538	18,146	48,920	71,069	243,838
25年度	73,868	33,358	19,817	51,054	62,723	240,820
26年度	78,441	35,319	19,719	47,464	61,897	242,840
27年度	79,260	38,065	18,390	51,035	60,844	247,594
28年度	83,703	39,079	30,242	53,389	65,893	272,306

【ウエルとばた 利用者数の推移】

(単位：人)



福祉会館の利用者数については、会議室は昨年対比8.3%増、多目的ホールは昨年対比4.6%増となりました。また、稼働率は福祉会館全体で82.4%、昨年対比で2.4%増。

市民会館大・中ホールの利用者数は、昨年対比で4.6%増。稼働率は、83.8%となり、昨年対比6.1%増。

福祉会館・市民会館共に利用人数、稼働率が増加した。八幡市民会館からの利用者が定着し、またホール・会議室等全館利用の利用者が多かったことも増加の要因になったと考えられます。

## 2 にぎわい創出事業

行 事 名	実施日	人員	内 容
初夏のをどり	H28. 6. 14	527	戸畑区内で活動する日本舞踊の団体と和太鼓グループの発表会。市民会館大ホールで毎年開催。
くきのうみ 花火の祭典観賞会	H28. 7. 17	412	ウエルとばた 6 階屋上庭園を市民に開放して、花火観賞会を開催。市政日より等で広報。チケット完売。
夏まつり	H28. 8. 23	650	ウエルとばた利用者の日頃の成果を発表、地域の商店や障害福祉サービス事業所が出店。
中ホールで スタインウェイを弾 いてみませんか	H28. 7. 27 H29. 1. 17 H29. 3. 10	75	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないスタインウェイを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館中ホールで開催。
歌まつり	H29. 1. 15	420	戸畑区内で活動するカラオケ6団体が、練習成果を発表する場として、市民会館大ホールで毎年開催。
大ホールで ベーゼンドルファーを 弾いてみませんか	H28. 10. 10 H28. 12. 16 H29. 2. 17	45	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないベーゼンドルファーを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館大ホールで開催。
映画上映会	H29. 2. 5	112	福祉を題材にした社協らしい映画上映会を開催。平成28年度は「家族・難病」をテーマとした作品を中ホールで上映。
ウエルカムコンサート	奇数月第2 木曜日	延 600	北九州市内で活躍している音楽家に依頼し、隔月第2木曜日の昼休みに交流プラザ特設ステージで様々なジャンルの演奏会を開催。
七夕飾り	H28. 6. 25 ～7. 8	-	交流プラザの有効活用として企画。ボランティアの協力で七夕飾りを設け、来館者に願いごとを書いた短冊の飾りつけを開放。
イルミネーション ツリー関連行事	H28. 11. 29 ～12. 27	-	交流プラザにイルミネーションツリーを展示し、多くの来館者に楽しんでもらった。12/24にはコンサートも実施した。
雛飾り	H29. 2. 5 ～3. 30	-	交流プラザに雛飾りを展示し、多くの方が楽しまれた。

それぞれの事業に、「福祉文化の発信」の理念を取り込んで事業を行うことが出来ました。

また、北九州市障害者芸術文化応援センターと北九州市人権推進センターと共同開催で事業を行いました。

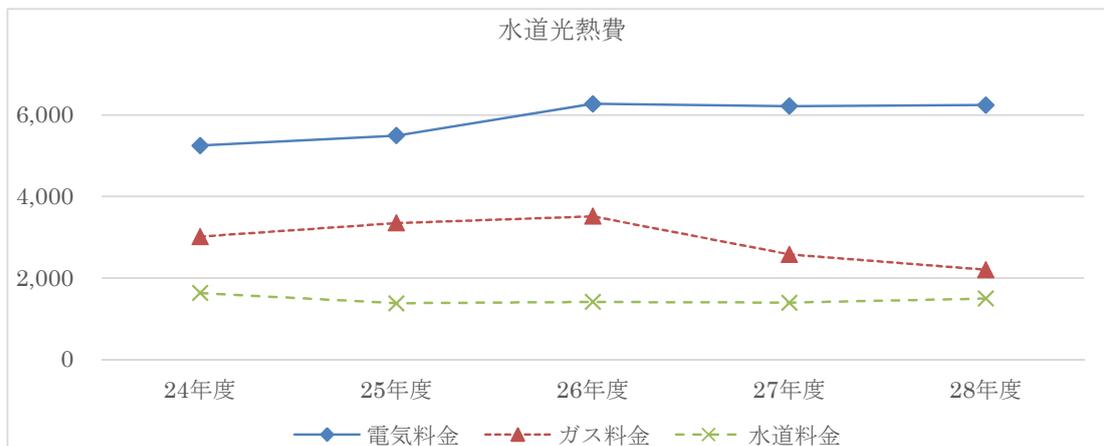
### 3 水道光熱費削減の取り組み

燃料需給契約は、常に最適化を図っており、日毎、月毎に電気、ガス、水道の各使用量を監視するなど節減に努めています。

ライフライン各社と使用量などについて助言を受けながら契約変更を行う等、徹底した運用管理を行い、光熱水費の価格上昇や消費増税の影響もあるなかで、昨年対比で約2.5%の光熱水費の減額となりました。今後も、継続して省エネを行い、「ウェルとばたエコ・オフィスプラン」を更に推進及び定着するよう入居者や利用者に対して協力を要請し、環境保護の観点からの啓発にも取り組みます。

【水道光熱費年度別推移】

(単位：万円)



(単位：円)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
電気料金	52,537,885	54,992,565	62,796,307	62,208,526	62,462,522
ガス料金	30,120,197	33,480,503	35,142,082	25,741,417	21,973,429
水道料金	16,310,562	13,775,976	14,090,811	13,923,570	14,936,325

### 4 広報・情報発信状況

きたきゅうしゅう市社協だより、ホームページ等の広報に加えて、ウェルとばたフェイスブックを開設し積極的な情報発信を行いました。事業ごとには、マスコミ、コミュニティFM各社の協力により、一定の成果がありました。

また、ホームページのリニューアルを実施し、見やすいデザインや分かりやすいコンテンツづくり、スマートフォンへの対応等に取り組んだことで、利用者より好評を得ています。(ユーザー数：55,991人、アクセス数：77,195件、ページ閲覧数：289,259ページ)

### 5 安全・安心な施設管理の取り組み

安全を維持するため、毎年実施している建築設備点検に加えて、法令に則り特殊建築物点検を行った。

館内での事故等に加えて加入している施設賠償責任保険について、これまでの契約内容(1事故最高賠償金額1億円)の見直しを行い、1事故最高賠償金額5億円へと増額した。

## 6 駅隣接公共スペースとしてのおもてなしの環境づくり

ウエルとばたにお越しになる方に心なごんでいただけるよう、

- ・1階正面階段脇の花壇に、花を植栽（年2回植えかえ）
- ・2階交流プラザ 総合案内前にプロのアートフラワー作家による「布の花」を展示（年5回入れかえ）
- ・2階交流プラザで心和むBGMを放送
- ・2階国旗掲揚ポールに4月中旬から5月上旬の間、鯉のぼりを設置
- ・戸畑区役所まちづくり整備課の協力の下で、2階国旗掲揚ポール横の花壇改修工事を実施、4月下旬に戸畑あやめの植栽を行った。

# ◇住民による地域づくり事業

## 1 地域福祉活動計画推進事業

「北九州市地域福祉活動第五次計画」（平成 28 年度～平成 32 年度）の初年度にあたる平成 28 年度は、第五次計画が円滑に推進されるよう総合企画委員会、第三者評価委員会等において進捗状況の点検・評価を行いながら協議を重ねてきました。

社会福祉協議会が推進役となり地域福祉活動に取り組むことで、活動計画の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現を目指し、市民に対する広報・啓発活動の強化や、子どもから大人までの福祉教育の推進、活動の担い手となる人材の育成・確保、生活・福祉課題の解決に向けた関係機関・団体や福祉施設とのネットワークづくりを推進しました。

### (1) 北九州市地域福祉活動第五次計画 基本理念・基本目標等

基本理念	基本目標	目標達成のための基本項目
みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり	基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう	1 広報・啓発の強化
		2 福祉教育の推進
		3 地域福祉人材の育成
	基本目標 II 住民、関係機関・団体のネットワークで、身近な福祉活動を進めよう	1 小地域福祉活動の活性化
		2 ボランティア・市民活動の支援
		3 災害時の福祉救援体制づくり
		4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり
	基本目標 III 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	5 小地域福祉活動計画の推進
		1 権利の擁護と相談体制の充実
		2 社会参加・自立の支援
		3 調査・研究、提言

## 2 住民福祉活動促進事業

本年度も、平成 5 年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化に努めました。

基本事業としては、連絡調整会議の活性化を図るとともに、福祉協力員等による見守り活動により地域の支援が必要な世帯を見つけ、課題解決のために関係機関・団体等につなぎました。

メニュー事業としては、地域の高齢者の居場所づくりとして「高齢者のサロン事業」、次代へ地域福祉活動をつないでいくために「次世代地域福祉活動者育成事業」、地域課題の把握と解決のための中長期の指針として「小地域福祉活動計画づくり」を重点事業として実施するなど、地域の特性に合わせた校(地)区社協活動を展開しました。

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業（基本事業・メニュー事業）の推進  
 ア 各区福祉協力員・ニーズ対応員数と活動状況

事業別 区名	実施地区	見守り活動			助け合い活動		
		福祉協力員数	見守り対象世帯		ニーズ対応チーム人数	対応件数	
			世帯数	内訳		対応数	対応内容内訳
門司	21	799	11,809	高齢者世帯 (昼間高齢者 だけを含む)	894	49,635	話し相手 359,311
小倉北	25	1,211	24,368	111,894	1,578	154,423	買い物支援 21,241
小倉南	27	1,249	24,661	障害のある人の世帯 3,429	414	109,914	生活情報の提供 240,975
若松	13	505	7,031	単身で子育て中の世帯 2,451	492	30,434	薬とり 2,789
八幡東	21	629	14,265	その他の世帯 2,375	1,842	136,035	庭掃除 2,304
八幡西	33	1,965	27,978		1,963	171,542	布団干し・入れ 541
戸畑	14	583	10,037		588	41,021	洗濯 1,376
							ゴミ出し 55,401
							その他 9,066
全市	154	6,941	120,149		7,772	693,004	

イ メニュー事業Ⅰ 実施状況  
 メニューⅠ－①「高齢者のサロン事業」

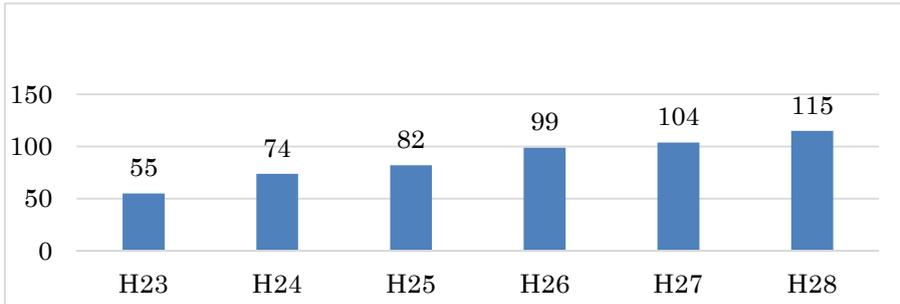
(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
西門司 藤松 大里南 大里柳 大里東 小森江西 小森江東 庄司 田野浦 白野江 大積 松ヶ江南	藍島 足原 足立 泉台 到津 井堀 今町 貴船 清水 霧丘 小倉中央校区米町 小倉中央校区塚町 小倉中央校区天神島 桜丘 三郎丸 寿山 城野第一 富野 中井 中島 西小倉 日明 南丘 南小倉	北方 東谷 貫 曾根 葛原 吉田 長行 若園 徳力 企救丘 湯川 城野 沼 守恒 志井 長尾 東朽網 広徳	浜町 深町 小石赤崎 修多羅 古前 藤ノ木 二島 鴨生田 江川 高須 青葉台	高見 槻田第三 高槻 大蔵第一 枝光第一 枝光第二 枝光北 中央第二 尾倉第四 前田北 前田第三 前田第四	木屋瀬 陣原 穴生 陣山 則松 熊西 上津役 本城 浅川 八児 鳴水 引野 中尾 塔野 永犬丸 青山 医生丘 光貞 楠橋 千代 池田 竹末若葉 黒畑 永犬丸西 赤坂 八枝 黒崎 星ヶ丘	東戸畑 鞆ヶ谷 大谷第一 浅生 天籟寺 一枝 三六 中原 西戸畑 牧山東	
12	24	18	11	12	28	10	115

※基本事業等としてサロン活動を実施した校(地)区社協

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
古城 清見	北小倉	朽網 田原	—	—	—	大谷第二	
2	1	2				1	6

メニュー I - ① 「高齢者のサロン事業」  
 サロン活動取り組み校(地)区社協数の推移



サロン活動セミナーの開催 (校(地)区社協活動者交流会)

実施日	人員	内 容
H29. 1. 16	215 人	ワールドカフェ「サロンをもっとおもしろく！」 講師：九州大学 大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏

メニュー I - ② 「次世代地域福祉活動者育成事業」

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
清見 柄杓田 松ヶ江北	泉台 井堀 北小倉 富野	曾根 朽網 合馬 山本 曾根東 東朽網	小石赤崎 古前	高見 高槻 大蔵第一 大蔵第三 河内 枝光北 中央第一	折尾西 永犬丸西 赤坂	大谷第二	
3	4	6	2	7	3	1	26

※基本事業等としてウェルクラブ活動を実施した校(地)区社協

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
藤松 大里南 大里柳 伊川	貴船 今町	道原 徳力	鴨生田	—	竹末若葉	天籟寺	
4	2	2	1	—	1	1	11

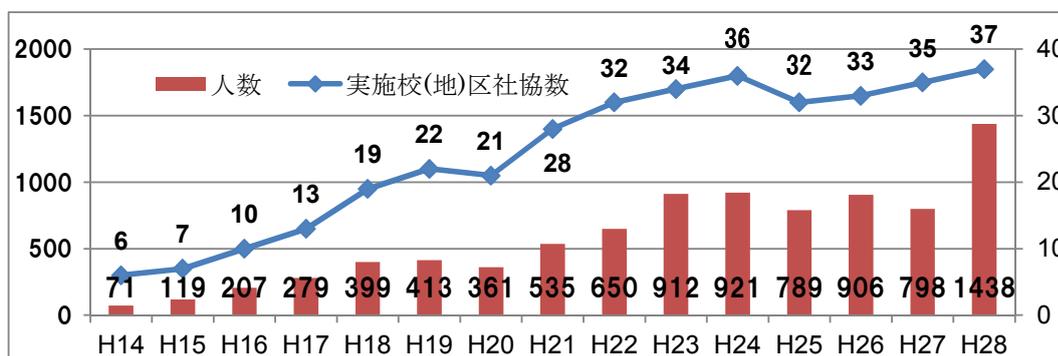
次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施状況

	校 (地) 区社協	小学校	参加児童数	活動内容								特徴等	
				見守り(訪問)活動	助け合い活動	疑似体験	共同募金活動	施設訪問・交流	認知症を学ぶ講座	サロン訪問	地域交流・行事		活動報告会
1	藤松	藤松	30	○							○	バザー、敬老会、文化祭、餅つき、どんど焼き、ひな祭り	
2	大里南	大里南	150	○	○		○	○		○	○	敬老会、歩こう会、グラウンドゴルフ、餅つき、どんど焼き、盆踊り	
3	大里柳	大里柳	442	○	○					○	○	敬老会、ふれあい昼食会	
4	清見	港が丘	10	○		○	○	○		○	○	買い物支援朝市、敬老会、高齢者昼食会	
5	柄杓田	柄杓田	9	○		○		○			○		
6	伊川	伊川	25								○	○	グラウンドゴルフ
7	松ヶ江北	松ヶ江北	40	○	○	○		○	○		○	○	清掃活動、ふうせんバレー大会、敬老会
8	泉台	泉台	12	○	○	○		○		○	○	○	朝市・サロン、盆踊り、餅つき等
9	井掘	井掘	24						○		○	○	市民センター行事等
10	北小倉	北小倉	28	○	○	○	○	○			○	○	バス研修、境川清掃活動、桜交流会等
11	貴船	貴船	20					○			○	○	商店街一斉清掃等
12	今町	今町	5	○		○	○	○		○	○	○	夏祭り、敬老会、朝市・サロン等
13	富野	富野	8	○	○					○	○	○	サロン、市民センター行事等
14	曾根	曾根	23	○		○	○	○			○	○	市民センター文化祭
15	朽網	朽網	48	○		○		○			○	○	校区敬老会、TOTOまつり、まつりみなみ、まち美化運動
16	曾根東	曾根東	17	○			○				○	○	まち美化運動、もちつき大会、市民センターふれあいまつり、そうめん流し
17	合馬	合馬	22	○				○			○	○	校区敬老会、もちつき大会、子ども神楽
18	山本	すがお	80	○							○	○	校区敬老会、もちつき大会、まつりみなみ
19	道原												
20	東朽網	東朽網	23	○									プレ活動（夏期単発型）
21	徳力	徳力	15	○			○	○			○	○	まつりみなみ、もちつき大会
22	古前	古前	50	○							○		
23	鴨生田	鴨生田	30	○				○		○			
24	小石赤崎	小石・赤崎	72	○		○							
25	高槻	高槻	42	○	○	○				○	○	○	敬老行事・まち美化・ほたるまつり
26	大蔵第一	大蔵	14	○	○	○		○			○	○	まち美化・納涼まつり
27	大蔵第三												
28	河内	河内	4		○	○					○	○	七夕まつり・敬老会・盆おどり

29	高見	高見	8	○	○	○		○	○		○	○	敬老会・年末餅つき
30	枝光北	枝光	14	○	○	○		○			○	○	敬老行事・まち美化・年末友愛訪問・年賀状送付
31	中央第一	八幡	17	○	○	○		○			○	○	まち美化・敬老会・地域年長者の集い
32	折尾西	折尾西	24	○		○		○			○	○	三世代交流会に参加
33	永犬丸西	永犬丸西	26	○		○		○			○	○	分校として中学生も参加
34	竹末・若葉	竹末	45	○				○			○	○	
35	赤坂	赤坂	16	○		○		○		○	○	○	そば打ち体験実施
36	天籟寺	天籟寺	32	○						○	○		
37	大谷第二	大谷	13	○		○				○			認知症サポーター養成講座は6年生60人参加
全市計				37校(地)区 1,438人									

メニューI-②「次世代地域福祉活動者育成事業」

ウェルクラブ活動 取り組み校(地)区社協数及び参加児童数の推移



メニューI-③「校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくり」

小地域福祉活動計画策定校(地)区と重点実施項目

※第一次計画(平成29~33年度)

校(地)区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
門 司	庄 司	「安全で住みよい街、ファミリープラン」 ①安全・安心・災害に強いまちをつくろう ②健康長寿のまちづくり
	田野浦	「元気・安全安心 田野浦校区」 ①災害時の福祉救援体制づくり ②住民参加による朝の健康体操の実施 ③ウェルクラブ活動の推進
	伊 川	「伊川校区小地域福祉活動第一次計画」 ①災害時の福祉救援体制づくり ②高齢者の外出支援
小倉北	足 原	「足原校区の支え合いプラン」 ①足原校区社協だよりの発行(校区事業の周知) ②ご近所さんとお茶を飲む会 ③ふれあいネットワーク活動の充実・強化

小倉南	葛原	「住民発！葛原校区小地域福祉活動第一次計画」 ①安全安心なまちづくりのための自主活動 ②買い物弱者支援による「優しい町葛原」の実現 ③高齢者へのサロン活動・交流対応の推進 ④次世代地域福祉活動者の人材発掘と育成
若松	二島	「二島校区の元気プラン」 ①気軽に交流できる居場所づくりの維持確保 ②組織づくりの見直し・充実
計		6校(地)区

※第二次計画

校(地)区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
門司	清見	「清見校区の元気プラン」 ①災害時の福祉救援体制づくり
小倉北	中島	「中島校区の元気プラン」 ①高齢者のサロン活動
	清水	「清水校区の元気プラン」 ①ふれあい見守り活動の継続強化 ②サロン活動の拡大
小倉南	志井	「志井校区幸せまちづくり Happiness Plan2017」 ①文教サミットによる地域福祉活動 ②ふれあいネットワークの充実・強化 ③防災研修の充実・強化
	東谷	「東谷地区の元気プラン」 ①若い世代に各種事業への積極的参加を促す ②高齢者サロンの充実・町内間の交流・親睦 ③各団体と連携し、資材等の共有化
若松	浜町	「第二次！浜町地区の元気プラン」 ①ひまわりサロンの充実 ②組織づくりの充実
八幡東	大蔵第一	「みんなが主役、元気・安心、支え合いのまち大蔵」 ①ネットワーク活動を強化する ②地域の原状と将来像の共有を図る ③福祉協力員の増強を図る
八幡西	熊西	「熊西校区の元気プラン」 ①サロン活動の浸透 ②生活要支援者の実態把握と支援方法の確立
戸畑	浅生	「浅生地区の元気プラン」 ①「浅生社協だより」の発行 ②年長者のふれあいの場の充実 ③ふれあいネットワークの充実・強化 地域活動を支援する人材の育成

	牧 山	「牧山地区の元気プラン」 ①お互いを見守り、助け合える街にするため、みんながあいさつを交わす、顔見知りの多い街にします！ ②子どもと大人がふれあい、地域の宝 子どもを育む街にしよう！ ③買い物や移動などが便利になる取り組みをみんなで考えていく街にしよう！
計		10校(地)区

小地域福祉活動計画策定研修（ふくしプランニング工房/第二次計画）の開催

- ① 講師 福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科 准教授 村山 浩一郎  
② 会場 ウェルとばた多目的ホール

回	実施日	人員	内 容
1	H28. 6. 7	31人	ふくしプランニング工房 【講義】①小地域福祉活動計画の意義と方法 ②基本計画と実施計画の作成について ③計画書の編集、発行、広報について 【演習】①課題を視覚的に抽出・整理するカードワーク
2	H28. 7. 8	52人	第二次小地域福祉活動計画策定研修 【講義】①第二次小地域福祉活動計画の策定方法について 【演習】①第一次計画を評価してみよう ②第二次計画の策定方針を考えよう
3	H29. 3. 10	60人	小地域福祉活動計画策定研修（合同研修） 【発表】①各校(地)区社協の計画書(最終案)発表 【講義】①計画の推進について
計		143人	

ウ メニュー事業Ⅱ実施状況

(単位：校(地)区)

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
① 地域交流活動 世代間交流、健康づくり等	7	20	26	12	17	27	4	113
② 生活支援活動 買い物支援、子育て支援等	3	10	10	4	5	9	0	41
③ 研修・学習活動 住民啓発講座、視察研修等	2	4	14	8	13	14	2	57
④ 広報・調査活動 広報紙発行、障害理解等	2	3	20	6	11	23	0	65
⑤ 福祉救援体制づくり 要援護者マップ、避難訓練等	0	3	4	2	11	6	2	28
⑥ 年末年始ふれあい活動 見守強化、年末年始行事等	1	13	26	8	13	29	0	90
⑦ その他の活動	0	0	2	1	0	0	0	3
計	15	53	102	41	70	108	8	397

## (2) 資料・発刊物

発行時期	資 料 名	発行部数
H28. 12	北九州市地域福祉活動第五次計画概要版	45,000 部
H29. 3	プチボなまちづくり第6版	13,000 部
H29. 3	高齢者のサロン事業実態調査報告書	1,000 部

## (3) 出前講演活動の実施

主な内容	回数(回)	受講者数(人)
地域福祉活動推進の要～ふれあいネットワーク活動～	22	754
地域福祉活動計画	1	31
地域づくりはサロン活動で！ 『校(地)区社協のすすめるサロン活動』	1	30
あんしんな暮らしのお手伝い～地域福祉権利擁護事業～	10	235
ボランティアの心を学ぶ	12	396
共に生きる地域づくり 障害者の正しい理解と障害者の地域での生活	24	669
生活困窮者の支援と課題	9	325
ひきこもりについて考える ひきこもり支援の現状と課題	2	61
計	81	2,501

## (4) 社協活動の紹介等

紹介資料・メディア等	紹介内容等
北九州市政だより H29年3月15日号	ふれあいネットワーク活動の紹介

## (5) 社協PR用Tシャツ・エプロン・ポロシャツの頒布

(単位:枚)

Tシャツ大人用	Tシャツ児童用	エプロン	ポロシャツ	計
221	260	81	147	709

## (6) 他都市からの照会・視察受入れ

相手先	対応	内 容
平戸市役所	照 会	ふれあいネットワーク活動について
北九州市立大学	照 会	ふれあいネットワーク活動ゴミ出し支援 (浜町地区・枝光北地区視察)

(7) その他会議への参画

内 容	回数
平成 28 年度北九州市障害者差別解消支援地域協議会	3
北九州市障害者支援計画のあり方懇話会	2
「北九州市健康づくり推進プラン」の推進にかかる意見交換会	1
平成 28 年度 地域包括支援に関する会議	2
平成 28 年度 北九州市居住支援協議会 幹事会	1
平成 28 年度 自殺対策連絡会議	4
北九州市障害者差別解消条例に関する有識者会議	2
北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議（調整会議）	1
障害福祉団体連絡協議会定期総会	1
北九州市地域福祉計画推進懇話会	5

## ◇地域相談支援事業

平成 27 年度より、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の見守り・支え合いを強化するために、各区に地域支援コーディネーターを配置し、福祉協力員等の身近な地域での支え手の発掘や互助活動を支援しました。平成 28 年度は 6 名の地域支援コーディネーターを新たに配置し、地域の互助活動を高めるための支援を充実しました。

地域の多様化する生活・福祉課題に対応するためには、地域の見守り・支え合いを強化する必要があり、より多くの支援につなげるために地域活動の担い手を発掘するとともに、地域の関係機関との連携を強化しました。

### 1 地域資源の発掘・組織化業務

#### (1) 地域の状況把握

校(地)区社協、民生委員児童委員協議会、まちづくり協議会等の地域の会合に参加し、地域の状況を情報収集し、地域資源（サービス）情報シートを作成しました。

①地域の会議等への参加実績 2,157 回、57,031 人（全市）

#### ②地域プロフィールシート作成状況

年度	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計(件)
27	5	15	5	7	15	4	5	40
28	16	10	22	5	6	29	9	113

#### (2) ボランティアやNPO法人等の支援者の把握

市、区ボランティア・市民活動センターや地域関係者等から情報収集し、地域資源（サービス）情報シートを作成しました。

#### ①地域資源（サービス）情報シート作成状況

地域資源種別	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計(件)
生活支援活動（小計）	54	1	7	13	5	5	18	103
①買い物代行	13		2	10	1	2	1	29
②買い物配達	1		2		1	1	1	6
③配食サービス	1						1	2
④調理	5						1	6
⑤洗濯	2						1	3
⑥外出介助	2	1	2		2	1	3	11
⑦その他	30		1	3	1	1	10	46
互助活動（小計）	2	4	10	1	4	2	4	27
⑧ゴミ出し								
⑨話し相手								
⑩見守り・安否確認活動								
⑪サロンなどの交流会	2	4	10	1	4	1	4	26
⑫その他						1		1
合計	56	5	17	14	9	7	22	130

(3) 地域資源を増やすための啓発活動

地域福祉活動者の確保やサロン活動等の参加者を増やすための、チラシや広報紙の作成などの広報活動の支援や、各種会合等での啓発活動、出前講演等を実施しました。

内 容	件 数
チラシの作成支援	48 件
広報紙等による支援	17 件
出前講演の実施	21 回
新規福祉協力員等の確保	59 人
サロン拠点開設ヵ所数	23 ヲ所

(4) 地域資源の組織化・継続的な活動支援

校(地)区社協の連絡調整会議や地区民生委員児童委員協議会の会合等に参画し、サロン活動の立ち上げ支援、地域の福祉課題に対する継続的な支援及び相談対応を実施しました。

	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	計
個別相談に関する相談件数	24	85	9	29	54	27	67	295
互助活動に関する相談件数	47	206	53	134	111	28	171	750

(5) 情報提供・情報発信

地域資源や地域資源に関する情報を地域福祉活動者や区役所関係各課に情報提供を行うとともに、ホームページ等を活用して情報発信しました。

(6) 地域の見守り活動の支援

活動の中で、見守りが必要な人や介護保険サービスが必要な人等に関する情報を得た場合は、地域ケア個別会議等の区役所関係課との会合や、いのちをつなぐネットワーク担当係長や地域包括支援センター、区役所関係課に情報提供を行いました。

### 3 区役所関係課との連携業務

配置場所の区役所保健福祉課（いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター及び統括支援センター、地域保健係）をはじめとした関係各課及び市民センター館長等の関係者と連携、情報共有し、地域の互助活動等を支援するためのネットワークづくりを行いました。

#### 4 研修会等への参加

地域支援コーディネーター養成研修をはじめとした、コーディネーターとしての資質向上を図るため下記の研修を実施または参加しました。

期 日	人員・会場	内 容
H28. 4. 6 ～ H28. 4. 12	7人 ウエルとばた	「地域支援コーディネーター養成研修」 ①北九州市の地域福祉活動、ふれあいネットワーク活動の現状 ②北九州市の保健福祉施策 ③地域包括ケアシステムの推進、地域支援コーディネーターの業務・役割 ④地域福祉課題の把握・分析、小地域福祉活動計画策定技法 他
H28. 9. 6 ～ H28. 10. 6	8人 福岡県吉塚 合同庁舎	「福岡県生活支援コーディネーター養成研修」 ①生活支援コーディネーター及び協議体とは ②生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割 ③高齢者の生活支援ニーズと生活支援サービス ④サービス開発の方法 他
H28. 9. 7 ～ H28. 9. 8	3人 タイム 24 ビル	「地域生活支援ワーカーリーダー研修会」 ①地域福祉をめぐる動向と地域生活支援ワーカーへの期待 ②地域生活支援ワーカーの役割 他

#### 5 地域支援コーディネーター連絡会

地域支援コーディネーター業務の充実及び行政等関係機関・団体との連携を図るため、地域支援コーディネーター連絡会を定例開催しました。

実施日	4/13	5/11	6/8	7/6	9/16	10/12	11/9	12/7	1/11	2/8	3/9
人員	23	12	13	12	14	19	19	12	11	12	20
主要議題	1 事業進捗状況及び推進方法等について 2 行政からの連絡事項等 3 連絡事項・情報提供 4 報告、その他										

## ◇北九州市社会福祉大会

昨今の急速な少子高齢化の進展のなかで、家族や地域とのつながりが脆弱化し、地域の中には課題を抱え孤立した生活を送らざるを得ない世帯が増えてきています。

多様化する地域の生活・福祉課題に対応していくためには、地域住民の協力による助け合い活動と公的サービスとの連携・協働が一層重要となっています。

本大会では、社会福祉の発展に貢献された方々に感謝の意を表するとともに、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向けて、市民及び福祉関係者が一堂に会し、今後の地域福祉活動のあるべき姿への決意を新たにすることを目的として開催しました。

実施日	人員・会場	内 容
H28. 11. 20	640 人 ウェルとばた	<b>【記念式典】</b> 北九州市社会福祉協議会会長表彰 他 <b>【記念講演会】</b> 「人にやさしい地域づくり ～目に見えない壁を超えるために、 いまわたしたちにできること～」 人権啓発講師 鈴木ひとみ <b>【EG体操】</b> 「いつでも・どこでも・誰でもできるEG体操」 北九州市特命大使 芋洗坂係長

# ◇生活福祉資金

生活福祉資金貸付制度は、低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと民生委員を通じた必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

資金の相談の中では、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立の促進を図りました。

## 1 生活福祉資金貸付状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合支援資金	生活支援費	8	5	2	4	2	1	2	2	2	2	1	1	32
		2,468	1,057	570	1,193	370	242	900	780	687	600	270	121	9,258
	住宅入居費	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102
総合支援資金	一時生活再費	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	6
		150	12	0	0	0	0	107	70	370	0	22	0	731
	福祉費	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
		2,480	0	111	0	0	0	0	1,500	0	0	0	0	4,091
福祉費	福祉用具購入	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		0	0	0	0	0	383	0	0	0	0	0	0	383
	障害者自動車購入経費	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
		0	0	1,980	0	0	1,680	0	1,053	0	0	0	0	4,713
	住居の福祉・給排水設備	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
		103	0	0	239	0	0	0	0	0	0	270	0	612
	日常生活上一次的経費	0	0	0	1	7	2	0	0	0	0	0	0	10
		0	0	0	95	627	141	0	0	0	0	0	0	863
	緊急小口資金	18	9	9	6	0	4	2	6	4	4	8	4	74
		1,720	950	862	590	0	380	200	580	370	350	800	380	7,182
教育支援資金	教育支援費	0	0	0	0	0	0	1	4	5	3	10	9	32
		0	0	0	0	0	0	1,824	10,452	7,488	1,512	3,645	3,903	28,824
	就学支度費	1	0	0	0	0	0	1	4	3	7	14	9	39
	86	0	0	0	0	0	100	1,406	813	1,929	3,943	2,078	10,355	
不動産担保生活資金		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
合計		31	15	13	12	10	10	7	19	15	16	35	23	206
		7,109	2,019	3,523	2,117	997	2,826	3,131	15,841	9,728	4,391	8,950	6,482	67,114
臨時特例つなぎ資金		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100

注1) 申請(承認)の件数、金額

注2) 福祉資金の、生業費、技能習得費、療養費、就職・技能習得支度費、災害援護資金は本年度申請なし

# ◇民間社会福祉事業従事者共済事業

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、福祉年金、脱退一時金、遺族一時金の支給等の共済事業と、福利厚生事業として、給付事業、貸付事業のほか、様々なスポーツ観戦、演劇鑑賞、宿泊優待事業等を実施しました。

また、加入者数は、年々増加傾向にあり、多くの方々が利用され、従事者とその家族の福利の充実に資することができました。

## 1 共済加入状況の推移

年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
加入施設・団体	200	204	209	213	217
加入人員（人）	4,360	4,506	4,539	4,674	4,739

## 2 福利厚生事業実施状況

### (1) 給付事業

結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、香華料、災害見舞金  
(計 343 件、3,291,000 円)

### (2) 貸付事業

厚生貸付、結婚貸付、入学貸付 (0 件)

### (3) スポーツ観戦事業 (1 組 2 席)

ソフトバンクホークス公式戦 60 組  
(個人負担額 528,000 円、助成金額 352,000 円)  
ギラヴァンツ北九州ホーム戦 18 組  
(個人負担額 41,400 円、助成金額 28,600 円)

### (4) 演劇鑑賞事業 (1 組 2 席)

北九州芸術劇場等 6 演目 50 組 (個人負担額 475,200 円、助成金額 316,800 円)

### (5) 音楽鑑賞事業 (1 組 2 席)

北九州ソレイユホール等 3 演目 36 組  
(個人負担額 140,400 円、助成金額 93,600 円)

### (6) 宿泊優待事業 (1 組 2 枚)

ハイツ&いこいの村及び九州内旅館 12 施設 63 組  
(個人負担額 693,000 円、助成金額 441,000 円)

### (7) 家庭用常備薬斡旋事業

1 回目 (4 月) 申込施設数 70 施設、申込件数 271 件、申込金額 913,470 円  
2 回目 (10 月) 申込施設数 63 施設、申込件数 260 件、申込金額 914,050 円

## ◇各施設協議会等との連携

種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりや、情報交換、共通理解を深める目的で、市内の各社会福祉施設協議会等の連絡会を開催しました。

今年度は、社会福祉法人制度改革をみすえ、社会福祉法人・施設をとりまく現状等を共有し、地域における公益的な活動についての地域との関わりや、福祉の職場の人材確保等、地域福祉を推進するための連携のあり方について協議しました。

### 1 社会福祉施設協議会連絡会の開催

#### (1) 実務者会議

実施日	人員・会場	内 容
H28. 12. 12	4人 ウエルとばた	<b>【議題】</b> 1 地域における公益的な取組を促進するために 2 要支援者等を支える「地域づくり」について

#### (2) 代表者会議

実施日	人員・会場	内 容
H29. 2. 7	5人 ウエルとばた	<b>【報告】</b> 1 第59回大都市社会福祉施設協議会名古屋市大会について 2 社会福祉施設協議会連絡会第8回実務者会議について <b>【議題】</b> 1 第60回大都市社会福祉施設協議会横浜市大会について 2 地域における公益的な取組について 3 平成29年度社会福祉施設協議会連絡会について

### 2 第59回大都市社会福祉施設協議会名古屋市大会への参加

実施日	人員・会場	内容及び参加者
H28. 6. 9 ～ H28. 6. 10	12人 名古屋観光ホテル(名古屋市中区)	<b>【基調講演】</b> 大都市の社会福祉施設に求められる役割とは 独立行政法人国立病院機構 副理事長 古都 賢一 <b>【種別研究会】</b> <b>【交流会】</b> <b>【特別講演】</b> 助け合いこそが心と人生を豊かにする カレーハウス CoCo 壱番屋創業者 宗次 徳二

## ◇民生委員互助共励事業

全国の民生委員・児童委員が、民生委員活動の充実を図り、地域福祉活動の発展に資することを目的として、弔慰金、見舞金、退任慰労金等を支給する互助事業を実施しました。

また、共励事業として、地区民生委員児童委員協議会活動の活性化を図るため、「指定地区民児協事業」について、2地区を指定し事業を実施しました。

民児協活動振興事業では、1地区を指定し、多様な地域課題に対応するため、関係機関・団体等と協働・連携した事業を実施しました。

### 1 民生委員互助共励事業給付金支給状況（全社協委託事業）

	公務 死亡	公務 傷病	一般 死亡	配偶者 死亡	一般 傷病	退任 慰労	災害	合計
支給 件数	0	2	2	9	33	339	0	385
金額 (千円)	0	200	60	135	320	1,451	0	2,166

### 2 指定地区民児協事業

- (1) 指定期間 平成27年度～平成28年度の2年間
- (2) 指定地区 門司区：松ヶ江南地区民生委員児童委員協議会  
小倉北区：中井地区民生委員児童委員協議会

### 3 民児協活動振興事業

- (1) 指定期間 平成27年度～平成28年度の2年間
- (2) 指定地区 八幡西区：穴生地区民生委員児童委員協議会
- (3) 事業内容 「安心して住み続けることができる地域社会づくりへの貢献」

# ◇生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の自立支援を目的に、市内全7区の相談窓口「いのちをつなぐネットワークコーナー」で、制度の中核・必須である自立相談支援事業を実施しました。

地域の多様な専門機関や福祉活動等と連携して、対象者への相談支援に取り組むとともに、生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりや生活困窮者の支援に関する社会資源の開発にも、地域福祉の視点で取り組みました。

## 1 自立相談支援事業の周知と関係機関とのネットワークに関わる業務

### (1) 事業の周知及び広報

広報用リーフレット、ポスターを作成し、関係機関・団体とも連携しながら、事業の周知・広報に努めました。

①印刷物の発行（リーフレット 20,000枚、ポスター 100枚）

②市・区社協広報紙への掲載

掲載物	掲載回数（掲載号）	備考
市社協広報紙	1回（8/1）	市内組回覧等
小倉北区社協広報紙	3回（4/15、7/15、10/15）	区内全戸配布等
小倉南区社協広報紙	4回（4/15、7/15、10/15、1/15）	〃
若松区社協広報紙	1回（2/15）	〃
八幡東区社協広報紙	1回（4/15）	〃
八幡西区社協広報紙	1回（4/15）	〃
戸畑区社協広報紙	1回（9/15）	〃

### (2) 関係機関とのネットワークづくりに関わる業務

支援調整会議その他の既存の合議体の活用他に、他の関係機関が行う会議等にも参加し、生活困窮者支援を行っている関係機関等とネットワークづくりに取り組み、支援の際にスムーズに連携できるよう努めました。

#### 【ネットワークづくりを行った主な関係機関・団体】

①市及び各区の行政関係機関 6団体

②社協関係（市：1、区：7、校(地)区：154）

③民児協関係（地区民児協：133）

④その他の関係機関 20団体

### (3) 職員の研修

国の研修を受講した職員等が講師役となり、従事予定者研修や定期的な相談支援員連絡会を行って、他法他施策の理解、相談援助技術の向上に努めました。

また、生活福祉資金貸付コーナー、福祉人材バンクの職員の他、任意事業受託団体の職員にも参加を呼びかけ、実施しました。

①研修

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 12	相談支援員 2 人 事務局等 3 人 ウエルとばた	生活困窮者自立相談支援事業 新任者研修

②相談・就労支援員連絡会

実施日	人員	会場	内 容
H28. 4. 20	29 人	ウエルとばた	相談援助技術向上のための研修、事例検討、情報交換・共有等
H28. 5. 17	12 人		
H28. 7. 19	11 人		
H28. 8. 23	16 人		
H28. 9. 20	9 人		
H28. 10. 18	22 人		
H28. 11. 15	10 人		
H28. 12. 21	10 人		
H29. 2. 9	9 人		
H29. 2. 21	9 人	わかくさ八幡	
H29. 3. 21	11 人	ウエルとばた	
計	148 人	11 回	

③ 自立相談支援事業従事者研修

実施日	人員・会場	内 容
H28. 6. 16 ～H28. 6. 18	相談支援員 1 人 全国社会福祉協議会灘尾ホール	【前期】相談支援員養成研修
H28. 8. 31 ～H28. 9. 2	就労支援員 1 人 全国社会福祉協議会灘尾ホール	【前期】就労支援員養成研修
H28. 10. 5 ～H28. 10. 7	相談支援員 1 人 全国社会福祉協議会中央福祉学院	【後期】相談支援員養成研修
H28. 12. 7 ～H28. 12. 9	就労支援員 1 人 全国社会福祉協議会中央福祉学院	【後期】就労支援員養成研修

④ 全国研究交流大会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 11. 12 ～H28. 11. 13	相談支援員 2 人 事務局 1 人 川崎市教育文化会館 慶応義塾大学日吉キャンパス	第3回生活困窮者自立支援全国研究交流大会

### ⑤ 担当者会議

実施日	人員・会場	内 容
H29. 2. 2	相談支援員 1 人 事務局 1 人 全国社会福祉協議会	平成28年度 都道府県・指定都市社会福祉協議会 生活困窮者自立支援事業担当者会議

## 2 自立相談支援機関の運営に関わる業務

### (1) 相談支援業務

「生活困窮者自立相談支援事業実施要綱」に基づき相談支援業務を行いました。

### (2) 業務の進捗状況の報告及び打ち合わせ

主任相談員（行政のいのちをつなぐネットワーク担当係長）と、業務の進捗状況や業務内容等を報告し、連携を深めました。

### (3) 支援調整会議

支援調整会議設置運営要項に則して実施される支援調整会議に参画し、作成した支援計画の適切性等について協議し、関係機関と支援内容を共有しました。

区	参加回数	人員（延べ数）	協議件数
門司	4 回	41 人	28 件
小倉南	10 回	91 人	147 件
八幡東	1 回	8 人	1 件

## 3 成果

### (1) 生活困窮者の自立と尊厳の確保

本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活や社会生活の自立など本人の状態に応じた自立を支援するよう努めました。

また、他の制度で対応可能と思われるものについては、適切につなぎ、必要に応じてフォローしました。

### (2) 困窮者支援を通じた地域づくり

困窮者の早期把握や見守りのため、以下のような場を活用し、地域の関係機関・団体との連携に努めました。

- 市社協課長・区社協事務局長会議（毎月）
- 市・区社協地域福祉活動担当者会議（1 回）
- 校（地）区社会福祉協議会連絡調整会議（適宜）
- 地域支援コーディネーター養成研修（1 回）
- 新任福祉協力員研修（各区 1 回）
- 市・区・地区民生委員児童委員協議会定例会（適宜）
- 民生委員児童委員研修（適宜）

【相談受付総数と性別、年齢、相談経路（本人特定のみ、本人同意なしを含む）】

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	年間計		
受付総数（人）		112	300	212	70	84	238	56	1,072		
（％）		10.5	28.0	19.8	6.5	7.8	22.2	5.2	100.0		
うち	性	男性	58	166	106	26	54	129	25	564	52.6%
		女性	54	134	105	44	30	109	28	504	47.0%
		不明	0	0	1	0	0	0	3	4	0.4%
	年齢	10代	0	2	1	0	0	0	0	3	0.3%
		20代	13	32	29	3	7	28	5	117	10.9%
		30代	11	33	37	9	14	49	6	159	14.8%
		40代	26	57	48	17	20	57	14	239	22.3%
		50代	16	71	34	17	20	41	12	211	19.7%
		60～64歳	8	33	18	6	7	21	5	98	9.1%
		65歳～	30	71	36	18	16	38	10	219	20.4%
不明		8	1	9	0	0	4	4	26	2.5%	
計	112	300	212	70	84	238	56	1,072	100.0%		
相談経路	本人/来所	38	192	90	49	44	133	15	561	45.9%	
	本人/電話・メール	12	13	15	6	3	28	6	83	6.8%	
	家族・知人/来所	10	5	6	3	4	17	1	46	3.8%	
	家族・知人/電話・メール	5	2	2	0	0	4	1	14	1.1%	
	いのちネットコーナーが把握※	0	2	0	0	0	6	0	8	0.7%	
	関係機関・関係者紹介	43	112	90	10	33	92	35	415	34.0%	
	その他	0	4	1	0	0	55	3	63	5.2%	
	不明	14	0	9	2	0	5	1	31	2.5%	
計	122	330	213	70	84	340	62	1,221	100.0%		

※「いのちネットコーナーが把握」は、いのちをつなぐネットワークコーナーがアウトリーチして把握した件数

【スクリーニング（支援の継続性についての判断）の状況】

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	年間計	
スクリーニング実施ケース数		104	303	204	72	85	236	55	1,059	
うち	情報提供・相談対応のみで終了	40	105	85	44	27	69	8	378	35.7%
	他制度・他機関等へのつなぎ	26	127	52	18	37	32	18	310	29.3%
	本人未同意、同意に向けて取り組む	0	3	4	1	0	2	14	24	2.3%
	継続支援し、プラン策定	37	68	63	9	21	133	13	344	32.5%
	スクリーニング判断前に中断・終了	1	0	0	0	0	0	2	3	0.3%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	計	104	303	204	72	85	236	55	1,059	100.0%

#### 4 共同事業体の運営

平成 28 年度より、グリーンコープ生活協同組合ふくおかと共同事業体として生活困窮者支援を行っています。業務上の課題解決や、円滑な業務運営を目的とし、会議や状況共有の場を設けています。

会 議	実施日	人員・会場
第 1 回運営委員会	H28. 6. 20	グリーンコープ 3 人 市社協 4 人 ウェルとばた
第 1 回業務会議	H28. 7. 15	グリーンコープ 2 人 市社協 4 人 ウェルとばた
第 2 回業務会議	H28. 10. 4	グリーンコープ 4 人 市社協 5 人 ウェルとばた
第 3 回業務会議	H29. 2. 27	グリーンコープ 4 人 市社協 5 人 ウェルとばた

## ◇福祉人材バンク運営事業

福祉人材バンクでは、求人事業所と求職者とを結びつけるため、関係機関と連携を図りながら、福祉の仕事に関する相談や無料の職業紹介を実施しています。

平成19年度から実施している就労及び雇用の機会を拡大するための、「福祉のしごと 合同就職面談会」では、前年度に比べ、採用数が増加したものの、ここ数年、来場者数が減少しており、マッチングや人材確保の難しさが顕著となっています。

また、介護福祉士やホームヘルパー等の資格を有しながら、介護職に就労していない潜在的な介護有資格者や、他分野からの離職等で介護現場への就労を希望する方を対象とした「介護のしごと就労支援セミナー」を行い、実技を中心に即戦力としての福祉人材の掘り起こしや育成に努めました。

### 1 求人・求職等取扱状況

求人件数	求人数	求人相談件数 *1	求職者数	求職相談件数 *1	紹介数	応募数	採用数	採用率 *2
934	2,586	3,636	372	2,031	80	32	49	43.8%

\*1: 相談件数には、情報提供数を含む。 \*2: 採用率=採用数/紹介数と応募数の和。

有効求人件数	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率*3
2,790	7,730	1,360	5.68

\*3: 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数

### 【求人・求職等取扱状況の推移】

年度	求人件数	求人数	求人相談件数 *1	求職者数	求職相談件数 *1	紹介数	応募数	採用数
平成24年度	848	2,348	4,784	693	4,253	114	232	58
平成25年度	741	2,165	5,375	647	4,151	162	194	52
平成26年度	863	2,384	3,848	503	1,160	64	62	36
平成27年度	902	2,284	4,594	395	728	69	74	24
平成28年度	934	2,586	3,636	372	2,031	80	32	49

### 2 「福祉のしごと 合同就職面談会 in 北九州」の開催

実施日	人員・会場	内容
H28. 8. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>求職者 87人</li> <li>求人施設等 61法人</li> <li>採用数 10人</li> </ul> ウェルとばた	求人事業所と求職者との面談 求職相談・登録 福祉の資格相談 京築地区福祉人材バンク 求職登録受付(8月のみ)
H29. 1. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>求職者 69人</li> <li>求人施設等 61法人</li> <li>採用数 14人</li> </ul> ウェルとばた	
計(2回)	求職者156人、求人施設等122施設、採用数24人	

【福祉のしごと 合同就職面談会 in 北九州 実績の推移】

年度	参加施設	求人件数	求人数	来場者数	紹介数	採用数
平成 24 年度	102	326	975	288	73	26
平成 25 年度	100	373	1,151	309	97	19
平成 26 年度	101	358	1,043	175	36	16
平成 27 年度	101	356	917	161	44	16
平成 28 年度	122	441	1,203	156	56	24

### 3 行政・関係機関との連携

- ・厚生労働省（事業の後援）
- ・中央福祉人材センター（事業支援、システム研修等）
- ・福岡県内福祉人材センター・バンク（事業の共催、県合同就職面談会への職員派遣等）
- ・北九州市（事業の共催・協力：合同就職面談会、介護の職場出前授業等）
- ・高齢者就業支援センター、シティハローワーク
- ・福岡労働局（事業報告等）
- ・北九州地域ハローワーク（求人情報の提供、面談会の後援と相談員の派遣）
- ・北九州商工会議所（面談会の後援）

### 4 労働環境の整備の推進

民間社会福祉事業従事者を対象とした職場のメンタルヘルス研修会の開催

※9月5日に開催を予定していたが、台風接近のため中止

### 5 広報・啓発活動

#### (1) 定期的な情報提供

- ・求職者へ求人情報を送付（毎月1回）
- ・各団体及び求職者へ各種イベント等の案内を送付

#### (2) 福祉資格等の取得促進支援

- ・福祉資格取得及び研修受講について情報収集し、相談者に提供

#### (3) 求人事業者・求職者の開拓

- ・福岡県内福祉系学校、普通科校、総合大学への案内
- ・北九州市内社会福祉事業者への案内

(4) 各種媒体の積極的活用

- ・ 広報紙への掲載（市政だより、市社協だより等）
- ・ 市社協ホームページへの掲載
- ・ 福祉人材情報システム「福祉のお仕事」
- ・ 新聞広告掲載（読売新聞、毎日新聞：254,000部）
- ・ 求人情報紙「パコラ」広告掲載（441,000部）
- ・ FMラジオ出演 エアーステーションヒビキ
  - 「おやつのじかんはもえもえ in 雪月花」 6/22 放送
  - FM キタキュー
  - 「元気シニアの玉手箱」 6/29 放送
  - クロスFM
  - 「イブニングライン北九州」 1/13 放送
- ・ 60歳以上の人向け しごと・ボランティア合同説明会でのブース出展、求職登録受付

(5) 印刷発行物

- ・ 合同就職面談会（チラシ12,000部、ポスター800枚）
- ・ 就労支援セミナー（チラシ8,000部、ポスター600枚）

6 潜在的有資格者等就労支援事業「介護のしごと就労支援セミナー」の開催

実施日	人員・会場	就職者数	内 容
H28. 7. 6 ～ H28. 7. 8	20人 ウエルとばた	9人	【講義：3日間】 介護保険制度の概要、労働法令の基礎知識、介護技術実技実習、介護現場に求められる人材、認知症高齢者について、好感度アップの面接マナー等
H28. 7. 15 ～ H28. 10. 21	15人 ウエルとばた	5人	
H28. 10. 23 ～ H28. 10. 28			【施設見学：1日間】 1人2カ所の介護事業所を見学
計（2回）	35人	14人	

# ◇潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業

平成28年4月から、保育士の安定的な人材の確保を図るため、「保育士資格を持ち、かつ、現在保育士として勤務していない方」、「1年以上保育士として働いていない方」を対象に、保育士としての再就職を支援する資金貸付事業が始まりました。

福祉人材の確保に資する取組みとして、福祉人材バンクに貸付相談窓口を設け、事業実施しました。

## 1 貸付の内容と実施状況

### (1) 潜在保育士の再就職支援資金の貸付

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することとなった場合に、就職準備金の貸付を行うもの。

貸付決定件数	貸付決定総額
4件	794,076円

### (2) 未就学児をもつ潜在保育士の保育所復帰支援資金の貸付

未就学児をもつ潜在保育士が保育所等に勤務することとなった場合に、当該未就学児に係る保育所等の保育料の一部の貸付を行うもの。

貸付決定件数	貸付決定総額
18件	4,352,950円

# ◇介護サービス相談員派遣事業

介護サービスの質の向上を図ることを目的として、介護サービス相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービス等に関する相談を受け、相談者に代わり事業者サービス向上、改善に結びつく提案などを行いました。

平成 28 年度は、新規に 25 ヶ所の事業所へ派遣を行い、合計 121 ヶ所へ相談員を派遣しました。

この拡大に伴い、介護サービス相談員（有償ボランティア）の対応力の向上、利用者の生活の向上を支援するため、相談員の連絡会を 4 回開催しました。第 3 回連絡会では、介護サービス事業所の視察研修を行いました。

今年度より地域密着型デイサービスの運営推進会議に参加することになり、市から委託された 143 事業所を介護サービス相談員が担当することになり、参加依頼のあった 76 事業所のうち 68 事業所の運営推進会議に参加しました。

また、介護サービス相談員派遣事業の担当者の変更に伴い、事務局担当者が介護相談員養成研修に参加しました。

## 1 訪問・相談等実施状況

施設種別	訪問		話を聞いた		相談件数						気づき 伝事 え業 た 所 件 数に
					事業所に伝えた 件数			相談者の希望に より伝えなかった 件数			
	回数	時間	人数	件数	つ 利 用 者 に	つ 施 い 設 て に	そ の 他	つ 利 用 者 に	つ 施 い 設 て に	そ の 他	
介護老人福祉施設	561	1140:12	6,836	16,776	9	49	4	1	3	0	47
介護老人保健施設	78	164:35	1,217	3,592	6	20	0	0	0	0	5
認知症対応型共同生活介護	594	1004:50	4,180	11,569	10	11	1	2	1	0	46
介護療養型医療施設	36	65:45	211	889	1	4	1	0	0	0	3
小規模多機能型居宅介護	213	220:45	1,285	3,411	2	1	0	0	0	0	5
計	1,482	2596:07	13,729	36,237	28	85	6	3	4	0	106

## 2 過年度派遣事業の推移

実施年度	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	通所介護	通所リハビリテーション	認知症対応型共同生活介護	介護療養型医療施設	小規模多機能型居宅介護	合計 (カ所)	相談員数 (人)
平成 24 年度	32	12	45	6	40	4	-	139	99
平成 25 年度	30	7	39	3	42	2	7	130	91
平成 26 年度	39	6	20	3	50	2	10	130	92
平成 27 年度	42	7	8	0	46	4	13	120	88
平成 28 年度	44	6	0	0	51	3	17	121	94

### 3 新規派遣開始事業所

施設種別	新規派遣開始	継続派遣中 (H28. 4)	合計（カ所） (H29. 3)
	H28. 9～		
介護老人福祉施設	7	37	44
介護老人保健施設	1	5	6
認知症対応型共同生活介護	12	39	51
介護療養型医療施設	0	3	3
小規模多機能型居宅介護	5	12	17
計	25	96	121

### 4 派遣終了事業所

施設名称	派遣終了 事業所数	派遣年数	派遣期間
介護老人福祉施設	4	5年	H23. 7 ～ H29. 3
	3	5年	H24. 2 ～ H29. 3
	5	5年	H24. 5 ～ H29. 3
介護老人保健施設	3	5年	H24. 5 ～ H29. 3
認知症対応型共同生活介護	14	3年	H25. 9 ～ H29. 3
	1	2年	H26. 9 ～ H29. 3
小規模多機能型居宅介護	6	3年	H25. 9 ～ H29. 3
合計	36カ所		

### 5 介護サービス相談員構成

(単位：人)

内 訳	男性	女性	合計
支援員（市社協非常勤職員）	0	7	7
見守りサポーター	1	19	20
北九州市社会福祉協議会 退職職員	1	8	9
一般公募者（平成20年度より）	3	30	33
権利擁護・市民後見センター支援員	3	8	11
その他	0	14	14
計（平成29年3月末現在）	8	86	94

## 6 介護サービス相談員連絡会

実施日	人員	会場	内 容
H28. 5. 18	53 人	ウェルとばた	利用者の生活の質の向上のため、 研修、情報交換・共有等
H28. 8. 22	52 人		
H28. 11. 25	19 人	ふれ愛の郷	
H28. 11. 28	31 人		
H29. 2. 8	62 人	ウェルとばた	
計	217 人	4 回	

## 7 運営推進会議の参加状況

事業所数	運営推進会議 参加依頼件数	運営推進会議 出席件数	参加率
143 ヶ所	76 件	68 件	90%

## 8 研修・報告会

### 研修

実施日	人員・会場	内 容
H28. 7. 26 ～ H28. 7. 29	1 人 大阪YMCA	平成 28 年度 介護相談員養成研修 ①介護相談員の意義と役割、介護保険制度 ②施設の居住環境とケアの質、居住サービスの理解 利用者の権利擁護、高齢者の理解、虐待への対応 ③利用者の権利擁護、高齢者の理解、虐待への対応 他
H28. 9. 5	1 人 大阪YMCA	平成 28 年度 介護相談員養成研修 後期フォローアップ研修 フィールドワーク活動報告と検討

## 9 新規事業者説明会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 8. 30	15 人 (14 事業所) ウェルとばた	平成 28 年度 北九州市介護サービス相談員派遣事業 新規事業者説明会 (1) 介護サービス相談員派遣事業の概要 北九州市保健福祉局 介護保険課 事業者支援係長 江口 毅 (2) 介護サービス相談員の訪問までの流れ 北九州市社会福祉協議会 地域支援課

# ◇認知症サポーターキャラバン事業

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーター養成講座の開催や講座の講師役となるキャラバン・メイトの新規養成等を行い、認知症になってもみんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを目指すとともに、地域・職域においてのサポーター活動の支援を行いました。

平成 28 年度は、認知症サポーター養成講座受講者 8,246 人、認知症サポーターステップアップ研修受講者 1,529 人、合計受講者 9,775 人、平成 28 年度末現在の認知症サポーターの累計が 73,201 人となりました。

## 1 認知症サポーター養成講座実施状況

受講団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校区社協	18 回	803 人
	その他	78 回	2,988 人
企業		124 回	2,682 人
学校		19 回	817 人
行政		35 回	956 人
計		274 回	8,246 人

## 2 認知症サポーターステップアップ研修実施状況

団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校区社協	3 回	161 人
	その他	17 回	534 人
企業		5 回	207 人
学校		3 回	78 人
行政		11 回	549 人
計		39 回	1,529 人

## 3 認知症サポーター養成講座の広報

紹介資料・メディア等
北九州市ホームページ
社会福祉協議会のふくし出前講演「パンフレット掲載」
市社協ホームページ
市・区社協各部署
市政だより
きたきゅうしゅう市社協だより
ウェル新聞
認知症啓発月間 街頭啓発
コムシティ入居団体
メール配信システム
J:COM 九州 市政番組「ニュース 5 5 北九州」〔取材日：12 月 17 日〕 認知症サポーター養成講座 ～サポーター 7 万人達成～

#### 4 キャラバン・メイトフォローアップ研修の実施

実施日	人員・会場	内 容
H29. 3. 5	55人 総合保健福祉センター	1 講義「認知症サポーターキャラバン事業について」 (講師) 認知症支援・介護予防センター 森本 啓子 2 講義「改正道路交通法について」 (講師) 福岡県警察本部 警部 古川 洋一 3 講義・グループワーク「伝える力」 (講師) 秋月オフィス代表 秋月 枝利子 4 事務連絡 キャラバン・メイト情報更新表・ボランティア活動 保険について 生活福祉課 主事 沖廣 香名 5 講義「認知症のBPSD(行動・心理症状)を学ぶ」 (講師) 医療法人りぼん・りぼん 医師 三原 伊保子

#### 5 一般市民向け認知症サポーター養成講座の開催

開催日	会場	キャラバン・メイト	受講人数
H28. 6. 15	ウエルとばた	基礎編：石井 朱實	77人
		応用編：田代 久美枝	70人
H28. 10. 3	ウエルとばた	基礎編：富田 弘子	37人
		応用編：田代 久美枝	35人
H28. 12. 17	八幡西生涯学習総合センター	基礎編：田中 良幸	47人
		応用編：花田 辰江	46人
H29. 2. 26	総合保健福祉センター	基礎編：伊藤 千里	55人
		基礎編：長崎 修二	48人

#### 6 キャラバン・メイトの情報更新・活動意向調査

実施月	人員	内 容
H29. 2~3	409人	(1) 情報更新表・活動意向調査資料の送付 (2) 登録削除者の手続き(全国キャラバン・メイト協議会)

#### 7 チラシの作成

名 称	発行部数(計)
認知症について学ぶ講座(基礎編・応用編) チラシ	5,000 部

#### 8 メール配信サービス状況

登録者数			配信回数			
男性	女性	計	前年度より増加	行方不明者情報	認知症関連イベント情報	計
1,717人	2,098人	3,815人	346人	13回	6回	19回

## ◇高齢者見守りサポーター派遣事業

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、住民参加型在宅福祉サービスとして「見守りサポーター」(有償ボランティア)を派遣しています。高齢者に寄り添い、見守りや話し相手などを行うことにより、高齢者と家族が安心して地域のなかで生活できるように支援しています。

見守りサポーターの活動上の課題を探るため、研修・連絡会を開催し、サポーターの不安解消と対応技量の向上に努めました。

本年度は事業の充実のために、新にサポーター12名を加え、延べ7日の養成研修を行いました。

### 1 派遣状況等

新規利用申請	新規利用登録数	利用登録取消	派遣延べ回数
9	7	15	176

### 2 関係機関等との連絡調整

内容 相手先	申請方法	利用内容 活動内容	日程調整	介護保険等 他のサー ビスに関 する相談	その他	合 計
家族	3	57	186	1	42	289
サポーター	2	27	150	0	4	183
ケアマネジャー	14	9	28	1	5	57
地域包括等	22	8	2	1	15	48
その他(市民等)	5	1	0	1	48	55
計	46	102	366	4	114	632

### 3 過年度利用状況の推移

実施年度	利用登録者数	延べ利用者数	サポーター数	派遣延べ回数
平成24年度	80人	145人	49人	559回
平成25年度	58人	119人	40人	370回
平成26年度	60人	114人	50人	385回
平成27年度	51人	124人	47人	394回
平成28年度	46人	59人	53人	176回

#### 4 高齢者見守りサポーターへの研修

実施日	人員・会場	内 容
H28. 6.23	24人 ウエルとばた	(講義)「傾聴」と「傾聴ボランティア」 講師：傾聴ボランティア「リスの会」 会長 野田 準二 ・傾聴の仕方について学んだ。
H29. 1.23	28人 ウエルとばた	(講義)「認知症について学ぶ」 講師：小倉蒲生病院リハビリテーション 医療部医療福祉課副主任 伊藤 哲 ・認知症についての学習、ロールプレイを行い、 具体的に認知症の方への対応の仕方を学ぶ。

#### 5 高齢者見守りサポーター養成研修

実施日	人員・会場	内 容
H28. 9. 6	11人 ウエルとばた	(事業説明)「社会福祉協議会と高齢者見守りサポーター派遣事業」 講師：北九州市社会福祉協議会地域福祉部長 磯田 佳宏 (講義)「認知症の基礎知識」 講師：キャラバンメイト 富田 弘子 (講義)「認知症高齢者の対応方法」 講師：キャラバンメイト 柴田 仁子 (講習)「緊急時の対応(応急法)」(AEDの使い方等) 講師：戸畑消防署警防課 佐藤 沙夜
H28. 9. 6 ～H28. 9. 16	11人 各施設6カ所	グループホームでの施設実習(1人1回2時間)
H28. 9. 20	10人 認知症支援・介護予防センター研修室	(講義)「認知症支援・介護予防センターの役割について」 講師：認知症支援介護予防センター 認知症地域支援推進員 吉本 由佳 (講義)「認知症カフェとSOSネットワークについて」(カフェオレンジなどの市の取り組み) 講師：認知症支援・介護予防センター 地域活動コーディネーター 中村 真理子 (連絡事項)「見守りサポーター登録説明」

## 6 事業説明・紹介

内 容	回数	人員
年長者研修大学校	8回	536人
校（地）区社協関連会議	23回	1,066人
居宅・医療・施設	11回	586人
家族の会等	7回	128人
民生委員児童委員	3回	391人
住民	21回	828人
企業	2回	149人
学校（学生）	3回	78人
市・区社協各部署	10回	171人
地域包括（統括）支援センター	2回	130人
その他	14回	524人
合 計	104回	4,587人

## 7 チラシ・報告書等の作成

名 称	発行部数	発行日等
高齢者見守りサポーター派遣事業（リーフレット）	3,000	H28. 6. 21

## 8 利用登録者意向確認調査

実施日	対象者	回答数（電話回答含む）	未回答数	回答率
H29. 2. 7	34	23	11	68%
（調査結果概要） 今回は登録者（H28年度新規登録者と現在利用中の方を除く）を対象にアンケートを実施した。 1. 未利用の理由として、①介護保険で対応 13人(44%) ②家族の介護で対応 5人(16%) ③状態が落ち着いている 4人(14%) ④施設入所 3人(10%) ⑤その他 5人(16%) 2. 今後の利用については、①すぐに利用再開 0人(0%) ②しばらくして利用 0人(0%) ③いまのところ利用の予定なし 15人(65%) ④取消希望 8人(35%)				

## 9 サポーター意向確認調査

実施日	人員	更新	辞退
H29. 1. 5	53人 (H29. 3. 31 現在)	47人 (H29. 4. 1 現在)	6人

## ◇高齢者地域交流支援通所事業

高齢者地域交流支援通所事業は、平成 12 年から北九州市より受託し実施している事業です。市内に居住する在宅の 65 歳以上の高齢者のうち、要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる方に対し、介護予防や自立支援のためのプログラムを提供することを目的に、市内 50 ヶ所の市民センターにおいて実施しました。

特徴的な取り組みは、運動指導士による「運動器の機能向上」、管理栄養士による「栄養改善」、歯科衛生士による「口腔機能向上」を複合的に行う介護予防プログラムで、全市民センターにおいて月 2 回実施し、平均年齢 81.2 歳、約 700 人の高齢者が、延べ 13,824 人の利用者が参加して体力年齢の維持向上に努めました。

プログラムについては、各市民センターのプログラムの実施状況等を毎月のミーティングで担当指導員が把握し、適切な助言・指導を行うとともに、危機管理等の各市民センターの課題については、ミーティングや支援員会議、年 2 回の現任研修等を通じて留意事項や適切な対応策を確認し、共通認識の醸成等を図りました。

また、支援員や指導員が普段から利用者の認知機能の低下予防やうつ予防の観点から利用者の状況把握に努め、きめ細かい見守りや助言を行うことで、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進しました。

### 1 年間利用状況

区	市民センター	実施日数 (日)	登録者数 (人)	利用者数 (人)			平均 利用者数
					男	女	
門司区 ⑦	小森江西	94	18	1,360	0	1,360	14.5
	清見	89	11	862	0	862	9.7
	白野江	89	13	1,049	0	1,049	11.8
	錦町	90	13	877	0	877	9.7
	萩ヶ丘	94	15	1,026	171	855	10.9
	松ヶ江北	95	16	1,064	157	907	11.1
	丸山	90	9	631	33	598	7.0
小倉北区 ⑨	足原	88	15	1,071	0	1,071	12.2
	足立	89	17	1,177	0	1,177	13.2
	今町	92	20	1,398	103	1,295	15.2
	清水	92	22	1,686	80	1,606	18.3
	寿山	89	15	1,089	18	1,071	12.2
	中島	89	15	1,191	0	1,191	13.4
	西小倉	93	15	1,100	0	1,100	11.8
	南小倉	93	7	436	12	424	4.7
	井堀	92	13	1,194	0	1,194	13.0
小倉南区 ⑨	長行	91	14	786	67	719	8.6
	葛原	93	17	1,365	352	1,013	14.7
	曾根	95	24	1,959	89	1,870	20.6
	長尾	94	13	887	275	612	9.4
	貫	94	9	800	23	777	8.5

区	市民センター	実施日数 (日)	登録者数 (人)	利用者数 (人)	男	女	平均 利用者数
小倉 南区 ⑨	東朽網	95	16	1,115	190	925	11.7
	守恒	90	15	1,049	0	1,049	11.7
	湯川	88	13	1,101	174	927	12.5
	若園	91	13	992	260	732	10.9
若松 区 ⑤	赤崎	95	10	831	0	831	8.7
	高須	94	9	715	0	715	7.6
	深町	95	10	544	0	544	5.7
	二島	93	11	833	0	833	9.0
	若松中央	90	13	970	78	892	10.8
八幡 東区 ⑤	枝光	92	13	1,031	84	947	11.2
	枝光南	92	6	440	64	376	4.8
	尾倉	90	13	1,091	0	1,091	12.1
	槻田	93	13	961	229	732	10.3
	前田	91	16	1,314	0	1,314	14.4
八幡 西区 ⑪	青山	93	18	1,481	177	1,304	15.9
	赤坂	91	8	684	0	684	7.5
	浅川	92	13	999	0	999	10.9
	池田	92	15	1,005	0	1,005	10.9
	永犬丸	89	18	1,382	0	1,382	15.5
	大原	88	15	1,071	0	1,071	12.2
	楠橋	90	30	2,247	82	2,165	25.0
	木屋瀬	95	16	1,407	86	1,321	14.8
	塔野	90	19	1,424	133	1,291	15.8
	鳴水	90	13	930	0	930	10.3
	本城	93	10	757	58	699	8.1
戸畑 区 ④	大谷	90	10	793	0	793	8.8
	浅生	91	10	838	0	838	9.2
	中原	90	14	1,054	0	1,054	11.7
	牧山東	94	12	979	0	979	10.4
計 (50 館)		4,583	703	53,046	2,995	50,051	11.6

## 2 過年度利用状況の推移

実施年度	実施館数	登録者数	延実施日数	延利用者数	平均利用者数
平成 24 年度	50	699	4,774	53,925	11.3
平成 25 年度	50	682	4,696	51,406	10.9
平成 26 年度	50	703	4,649	52,262	11.2
平成 27 年度	50	714	4,688	53,765	11.5
平成 28 年度	50	703	4,583	53,046	11.6

### 3 介護予防プログラム

内 容	1館あたりの 年間回数	延実施回数	延参加者数
体力テスト	2	100	1,189
運動器の機能向上プログラム	16	808	10,342
栄養改善プログラム	2	100	1,137
口腔機能向上プログラム	2	100	1,156
計	22	1,108	13,824

### 4 研修会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 4 ～H29. 3. 21 の間で延べ 29回	33人 (対象：新採職員) 市民センター	平成28年度支援員新任者研修 (1) 北九州市社会福祉協議会について (2) 市民センターについて (3) 高齢者地域交流支援通所事業について (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
H28. 12. 5 H28. 12. 6	155人 ウエルとばた	平成28年度支援員現任研修 ・講義1 「対話のチカラ」 (講師) 北九州市立大学 教授 松永 裕己 ・講義2 「介護予防・日常生活支援総合事業 について」 (講師) 北九州市保健福祉局地域福祉推進課 総合事業担当係長 田津 真一 ・講義2 「北九州市高齢者地域交流支援通所 事業について」 (講師) 北九州市役所保健福祉局長寿社会対 策課在宅高齢者支援係長 吉藤孝一郎
計 (31回)	188人	

### 5 会議

会議名	実施回数	内 容
生活福祉課定例会	12回	概ね毎月1回、事務局、指導員による事業運営に関する連絡調整、事例検討、情報交換・共有等
ブロック会議 (会議形式)	2回	50センターをブロックに分けての、事務局、指導員、支援員による情報交換、連絡調整等
ミーティング	600回	指導員と支援員による業務調整の月例ミーティング (各市民センター月1回、2時間程度)
計	614回	

## 6 全体行事

### 「年長者作品展」

区	実施日	会場	内 容
門司	H28. 9. 7 ～H28. 9. 11	門司生涯学習センター 1階 講堂	高齢者地域交流支援通所事業のプログラムの中で、利用者が制作した様々な作品を、各区社協主催の「年長者作品展」に出展
小倉南	H28. 9. 6 ～H28. 9. 10	小倉南生涯学習センター 2階 展示コーナー	
若松	H28. 10. 11 ～H28. 10. 13	若松区役所 1階ロビー・3階特別会議室	
八幡東	H28. 9. 5 ～H28. 9. 9	八幡東区社会福祉センター 3階 研修室	
八幡西	H28. 9. 20 ～H28. 9. 23	コムシティ3階 北九州市立美術館黒崎市民 ギャラリー	
戸畑	H28. 9. 24 ～H28. 9. 29	戸畑生涯学習センター 1階 市民ギャラリー	
計		6回	

## 7 指導員による業務支援

種 別	回数	内 容
指導員の話	195回	指導員による共通テーマの出前講演プログラム 〔主なテーマ〕 介護予防、共同募金、高齢者のための 便利なサービス等
プログラム運営支援	378回	臨時的事業や介護予防プログラム等の支援及び補助、 定期的な巡回による相談対応、助言等
訪問指導	2,753回	庶務・経理事務指導、事故処理、情報伝達等の事業 運営に必要な事務連絡及び調整
代替業務	96回	支援員の休務の際のバックアップ
計	3,422回	

## 8 各種交流事業

種 別	回数	人員	内 容
世代間交流	17回	244人	そうめん流し、レクリエーション、 誕生会、かるた取り 他
地域・団体との交流	299回	3,978人	センターまつり、文化祭、避難訓練、 クリスマス会、ペタンク大会 他
ふれあい昼食交流会	95回	1,127人	食生活改善推進員の実施する「ふれ あい昼食交流会」に参加し、地域の 高齢者との交流を図る。
計	411回	5,349人	

## 9 実習生の受け入れ

実施日	人員・会場	内 容
H28. 5. 27 H28. 5. 30 H28. 6. 3 H28. 6. 20 H28. 6. 24	九州歯科大学学生 25人 市民センター	九州歯科大学実習生の受入 ・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加
H28. 7. 5 H28. 7. 7 H28. 7. 8	小倉南看護専門 学校生27人 市民センター	小倉南看護専門学校実習生の受入 ・実習「高齢者地域交流支援通所授業」への参加
H28. 8. 19 H28. 9. 2	大学生9人 ウェルとばた 市民センター	平成28年度相談援助実習 ・講義「生活福祉課事業概要」について ・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加 (県内の5大学より受け入れ)
計	61人	

## 10 支援員面接選考

実施日	会場	内 容
H28. 5. 16 ～H28. 9. 21 の間で延べ5回	各市民センター	一般公募により応募のあった候補者に対し、選考委員会（市民センター館長、まちづくり協議会、市社協で構成）を設けて面接選考試験を実施

## 11 広報・啓発

内 容	実施回数
市民センターだより掲載、各種交流事業等での事業紹介	24回
市民センターだより掲載、各種交流事業等でのPRによる利用者募	15回
市民センターだより掲載、チラシ配布、ポスター掲示による支援員	9回
計	48回

# ◇健康マイレージ事業

健康マイレージ事業は、生涯を通じた健康づくりを推進するため、40歳以上の市民を対象に、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや各種健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進することを目的としています。

この事業は、平成21年度から始まりましたが、当初3年間は市が直接実施し、平成24年度から社協が受託しました。本年度については、応募ポイントの変更などがありました。21,750人の方のご応募をいただきました。

その具体的な取り組みとして、ポスター等の広報啓発物を用いたPRや職員による出前形式の事業説明を延べ1,727回実施するとともに、ホームページでのブログの更新、社協だよりや市民センターだよりなど広報紙への掲載、本会賛助会員企業を主体とした民間企業へのPRなど、社協の組織力を十分に活用した幅広い活動を行いました。

また、校(地)区社協の福祉協力員等を主体に、見守り対象者への健康づくり活動等への参加の呼びかけを行い、「ふれあいネットワーク活動」の充実強化に努めました。

## 1 実施状況

### (1) 実施期間

- ① 準備期間：平成28年4月1日～平成28年5月31日
- ② ポイント配付期間：平成28年6月1日～平成29年3月6日
- ③ 対象事業期間：平成28年6月1日～平成29年3月6日
- ④ 応募受付期間：平成28年10月1日～平成29年3月6日

### (2) 広報・啓発活動等実施実績

#### ① 事業説明・パンフレット等配布実績

項目	平成28年度	平成27年度	増減
事業説明回数	1,727回	1,306回	421回
パンフレット配布数	254,869部	226,006部	28,863部
ポイントシール配付数	533,929部	490,697部	43,232部
対象事業一覧表配布数	7,758部	7,728部	30部

#### ② 広報紙等への掲載回数実績

掲載紙の種別	平成28年度	平成27年度
市政だより・区役所の発行する広報紙	7回	8回
市民センターだより	328回	307回
市社協・区社協・校(地)区社協の発行する広報紙	47回	37回
その他の地域団体、企業が発行する広報紙	7回	10回
新聞・フリーペーパー	0回	1回
計	389回	363回

- ③ ホームページへの掲載（対象事業一覧表、活動報告等） 72 回
- ④ ブログ『マイレージ通信』への掲載 104 回
- ⑤ ブログ『マイレージ通信』へのアクセス回数 3,403 回
- ⑥ 市社協賛助会員企業への事業PR（DM送付含む） 254 社
- ⑦ のぼり（大）作成 0 枚
- ⑧ コーディネーター等によるイベント・事業でのPR活動

実施日	会場	人員	イベント・事業名
H28. 11. 13	西日本総合展示場	3 人	第 6 回健康フェア
H28. 11. 20	ウェルとばた	12 人	社会福祉大会・市民ふれあい フェスティバル
計	2 回	15 人	

(3) 対象事業登録実績

区分（事業登録者）	平成 28 年度	平成 27 年度	増減
行政	173	168	5
保健福祉局	44	48	▲4
健康推進課	22	37	15
長寿社会対策課	4	2	2
障害福祉課	0	0	0
介護保険課	0	0	0
その他	18	9	9
門司区役所	10	10	0
小倉北区役所	10	2	8
小倉南区役所	5	6	▲1
若松区役所	15	13	2
八幡東区役所	28	24	4
八幡西区役所	6	8	▲2
戸畑区役所	8	5	3
その他の市関係局	47	52	▲5
関係団体等	120	163	▲43
体育協会・レクリエーション協会	44	63	▲19
三師会	8	8	0
各種講座・教室（カルチャーセンター等）	68	92	24
スポーツクラブ	5	16	▲11
市社協	59	53	6
企業	35	46	▲11
地域住民事業（区・校区社協含む）	4,220	3,812	408

区分（事業登録者）		平成 28 年度	平成 27 年度	増減
門司区		428	381	47
小倉北区		562	544	18
小倉南区		835	753	82
若松区		408	325	83
八幡東区		347	349	2
八幡西区		1,272	1,092	180
戸畑区		368	368	0
市民センター		3,181	2,729	452
門司区	(19)	445	390	55
小倉北区	(22)	450	343	107
小倉南区	(24)	605	453	152
若松区	(10)	231	162	69
八幡東区	(13)	322	276	46
八幡西区	(33)	893	878	15
戸畑区	(12)	235	227	8
計		7,793	6,987	806

※市民センターの（ ）内は、サブセンターを含むセンター数

(4) 校(地)区社協による啓発活動実績

活動期間：平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日

区社協	校(地)区社協数	啓発活動回数合計（回）					活動費交付額（円）
		事業登録	連絡調整	広報	参加促進	計	
門司	21	551	395	494	2,068	3,508	1,050,000
小倉北	25	481	543	482	2,630	4,136	1,250,000
小倉南	27	909	581	488	3,332	5,310	1,338,000
若松	13	179	221	248	1,209	1,857	650,000
八幡東	21	223	312	215	8,669	9,419	1,050,000
八幡西	33	970	946	1,302	5,495	8,713	1,650,000
戸畑	14	237	232	209	1,391	2,069	700,000
計	154	3,550	3,230	3,438	24,794	35,012	7,688,000

## 2 応募者実績

### (1) 応募件数推移

項目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
応募総数	15,881	21,050	25,166	27,751	22,236
有効件数	15,544	20,560	24,579	27,104	21,750
無効件数	337	490	587	647	486
前年比 (有効件数)	165%	132%	120%	110%	80%
目標達成率	78%	103%	123%	108%	72.5%

※無効件数は、年齢非対象、重複応募等、内容未記入等のもの。

※達成率の応募者目標は、H21～26年度は20,000人を分母とする。H27年度は25,000人を分母とする。平成28年度は30,000人を分母とする。

#### ア 性別応募者実績

性別	平成 28 年度	平成 27 年度	増減	前年比
男性	6,976	8,945	▲1969	78%
女性	14,774	18,159	3385	81%
計	21,750	27,104	5354	80%

#### イ 区別応募者実績

区等	平成 28 年度				平成 27 年度 (計)	増減	前年比
	男	女	計	割合			
門司	700	1,765	2,465	11%	3,121	▲656	79%
小倉北	920	2,157	3,077	14%	3,830	▲753	80%
小倉南	1,455	2,863	4,318	20%	5,476	▲1,158	79%
若松	565	1,223	1,788	8%	2,235	▲447	80%
八幡東	680	1,350	2,030	9%	2,459	▲429	83%
八幡西	2,114	4,179	6,293	29%	7,865	▲1,572	80%
戸畑	528	1,226	1,754	8%	2,078	▲324	84%
市外	14	11	25	0%	40	▲15	63%
計	6,976	14,774	21,750	100%	27,104	▲5354	80%

※市外の応募者は、市内在勤の本人確認をした人数を計上。

ウ 年齢別応募者実績

年齢	平成 28 年度			
	男	女	計	割合
40～49 歳	639	1,217	1,856	9%
50～59 歳	561	1,207	1,768	8%
60～64 歳	442	1,148	1,590	7%
65～69 歳	1,136	2,731	3,867	18%
70～74 歳	1,510	3,276	4,786	22%
75～79 歳	1,566	2,878	4,444	20%
80 歳～	1,122	2,317	3,439	16%
計	6,976	14,774	21,750	100%

エ 健診別応募者実績

種別	平成 28 年度	平成 27 年度	増減	前年比
特定健診	7,316	9,326	▲2,010	78%
その他の検診	23,104	17,778	5,326	130%
計	30,420	27,104	3,316	112%

※その他は、職場の健診、後期高齢者健診、肝炎ウイルス検査、  
脳ドック、骨粗しょう症検診、歯周病(歯周疾患)検診、人間ドック、がん検診、  
PET健診、被爆者検診

オ 景品別応募者実績

ポイント	景品名	発送数(件)	割合
10	旅の温泉湯めぐりセット	1,603	7%
	小倉発祥焼きうどん3食セット	2,226	10%
	佐賀県産米ひのひかり 1.2 kg	7,883	36%
	シャボン玉石けんオリジナルセット	2,311	11%
	健康飲料4種セット	4,577	21%
	調味料3本セット	3,150	15%
計		21,750	100%

(2) 応募者アンケートの実施

アンケート数	回収数	回収率
1,500 件	850 件	56.7%

### 3 コーディネーター等業務連絡会議の開催実績

実施日	人員	会場	内 容
H28. 4. 12	18 人	ウェルとばた	効果的な事業運営のための調整、課題協議、企画検討、業務報告、情報交換・共有等
H28. 5. 10	18 人		
H28. 6. 7	17 人		
H28. 7. 5	17 人		
H28. 8. 9	16 人		
H28. 9. 5	18 人		
H28. 10. 11	18 人		
H28. 11. 8	17 人		
H28. 12. 5	18 人		
H29. 1. 10	17 人		
H29. 2. 7	17 人		
H29. 3. 3	18 人		
計	209 人		

## ◇地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業は、判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利と財産を守る事業として平成 11 年 10 月にスタートして以来、これまでに 1,000 人を超える方々の支援を行ってきました。利用者の預金通帳をお預かりして金銭管理を支援することで、その方が、地域で自立し、安定した生活が送れるようになることを目指しています。

平成 28 年度は、支援を必要とする対象者をこの事業へ繋げていくために事業PRを積極的に行い、平成 28 年度末の実契約者数は市内全域では 310 件で、昨年比 24 件増でした。

その一方で、判断能力の著しい低下により、本事業で支えることが困難となった利用者については、親族、関係者に対して、成年後見制度への移行支援を行っています。今年度は、10 人の利用者が成年後見制度へ移行し、成年後見人等の支援のもと、安心した生活を送っています。

### 1 事業運営の適正化

- (1) 監視委員会の開催 (4 回)
- (2) 運用委員会の開催 (8 回)
- (3) 事業・会計監査の実施 (2 回) (対象者 335 人)
- (4) 金銭管理・財産保管サービス管理状況報告書の発行 (1 回)
- (5) 福岡県運営適正化委員会への定期報告 (1 回)

### 2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 北九州成年後見センター理事会への参加 (10 回)
- (2) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加 (6 回)
- (3) 北九州市障害者自立支援協議会・権利擁護部会への参加 (2 回)
- (4) 法テラス北九州地方協議会への参加 (1 回)

### 3 職員資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催 (2 回)  
第 2 回目は、「北九州市市民後見候補人」フォローアップ研修を聴講し、専門員・支援員合同研修会に充てた。
- (2) 専門員・支援員ブロック会議の開催 (1 回)
- (3) 専門性を高めるための研修会への参加 (6 回)

### 4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演の職員派遣 (10 回 参加者 235 人)
- (2) 事業周知活動 (16 回 2,150 人)
- (3) 他団体が開催する研修会等への講師等派遣 (2 回 研修参加者 427 人)
- (4) らいとホームページの活用 (更新 1 回)

## 5 サービス内容

### (1) 相談

#### ア 内容 (件数)

相談内容	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	ホームレス 支援団体	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
金 銭 管 理	27	44	4	9	80	24	94	1	0	24	30	1	24	362
財 産 保 全 ・ 財 産 侵 害	7	12	0	1	3	2	4	0	0	3	6	0	0	38
相 続 ・ 遺 言	2	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7
福 祉 サービス へ の 苦 情	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
日 常 生 活 の 問 題	2	7	0	1	11	3	3	0	0	0	2	0	4	33
福 祉 サービス の 手 続 き	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
親 族 ・ 家 族 関 係	0	4	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	2	11
成 年 後 見 制 度	1	6	0	0	4	0	4	0	0	2	1	0	3	21
そ の 他 (本 事 業 の 間 い 合 せ)	12	22	2	7	51	12	44	0	3	7	14	1	20	195
合 計	52	102	6	18	151	43	154	1	3	36	53	2	53	674

#### イ 対象者 (件数)

相談の対象者	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	ホームレス 支援団体	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
認 知 症 高 齢 者	15	43	0	12	47	3	91	1	0	20	6	0	4	242
障 害 者	身 体	1	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	6
	知 的	10	3	1	0	21	17	5	0	2	1	1	5	66
	精 神	5	5	2	1	33	9	8	0	1	5	15	0	3
難 病 患 者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
そ の 他	4	9	1	3	10	3	3	0	2	2	13	0	36	86
合 計	35	61	4	16	111	34	109	1	3	30	36	1	48	489

### (2) 調査および調整

	認知症 高齢者	障害者			難病患者	その他	合計
		身体	知的	精神			
調 査	976	5	291	358	15	47	1,692
調 整	4,262	3	1,636	4,188	2	67	10,158

### (3) 他機関紹介

弁護士会	司 法 書士会	社会福 祉士会	消費生活 センター	行政 機関	介護支援 事業者	施 設	医療機関	その他	合 計
0	0	0	0	2	0	0	1	31	34

(4) 契約

ア 契約締結件数及び人数

	認知症 高齢者	障害者			難病 患者	その他	合 計
		身 体	知 的	精 神			
前年度までの契約締結件数(A)	221	4	84	54	0	2	365
契約締結者数	176	2	60	46	0	2	286
財産保管	50	2	30	13	0	0	95
金銭管理・生活支援	171	2	54	41	0	2	270
本年度の契約締結件数(B)	58	0	25	23	3	3	112
契約締結者数	41	0	16	16	2	2	77
財産保管	17	0	11	7	1	1	37
金銭管理・生活支援	41	0	14	16	2	2	75
本年度の契約解除件数(C)	51	0	7	11	0	0	69
契約解除者数	39	0	4	10	0	0	53
財産保管	14	0	3	2	0	0	19
金銭管理・生活支援	37	0	4	9	0	0	50
本年度末の契約締結(A+B-C)	228	4	102	66	3	5	408
契約締結者数	178	2	72	52	2	4	310
財産保管	53	2	38	18	1	1	113
金銭管理・生活支援	175	2	64	48	2	4	295

イ 契約者の居住区

門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
30	103	49	30	26	48	24	310

ウ 解約理由

	認知症 高齢者	障 害 者			難病患者	その他	合 計
		身体障害者	知的障害者	精神障害者			
死 亡	19	0	1	3	0	0	23
市外へ転居	6	0	1	1	0	0	8
入院・入所	0	0	0	0	0	0	0
本人の意思	5	0	2	5	0	0	12
能力の喪失	0	0	0	0	0	0	0
管理の移管	9	0	0	1	0	0	10
合 計	39	0	4	10	0	0	53

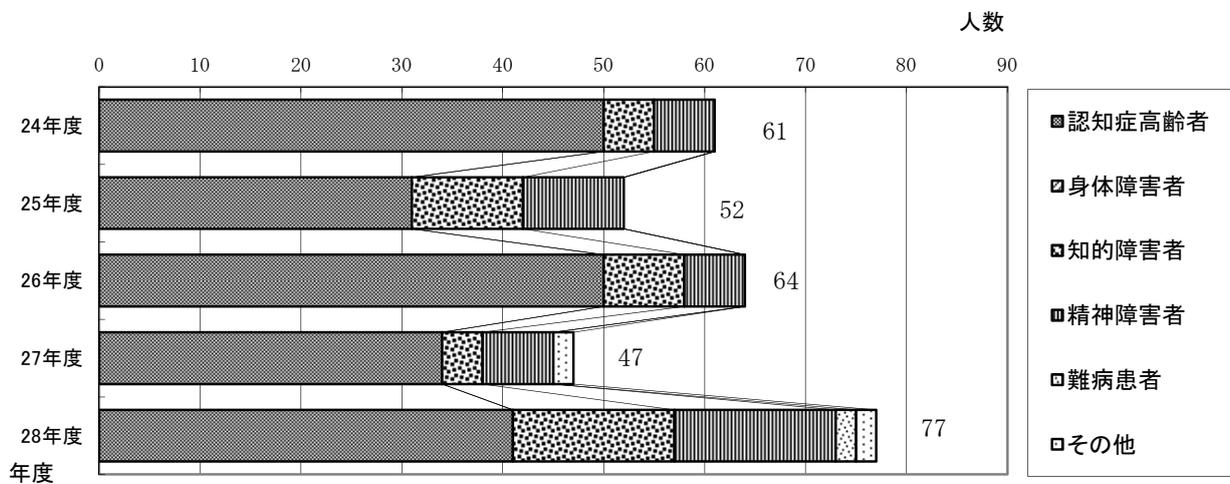
(5) サービスの実施状況

	認知症 高齢者	障害者			難病 患者	その他	合 計	
		身体	知的	精神				
財 産 保 全 サ ー ビ ス	55	0	27	36	2	0	120	
金 銭 管 理 サ ー ビ ス	2,346	28	1,278	981	5	52	4,690	
生活 支援 サ ー ビ ス	定期訪問による見守り	2,337	28	1,279	977	5	52	4,678
	福祉サービスの利用状況の確認・情報提供	2,297	16	772	775	5	52	3,917
	福祉サービスの利用手続きに関すること	7	0	1	1	0	0	9
	諸手続きの同行・代行	53	1	20	10	0	0	84
	権利侵害等の問題を関係機関につなぐ	2	0	0	0	0	0	2
そ の 他	4	0	0	0	0	0	4	
合 計	7,101	73	3,377	2,780	17	156	13,504	

6 利用者の推移

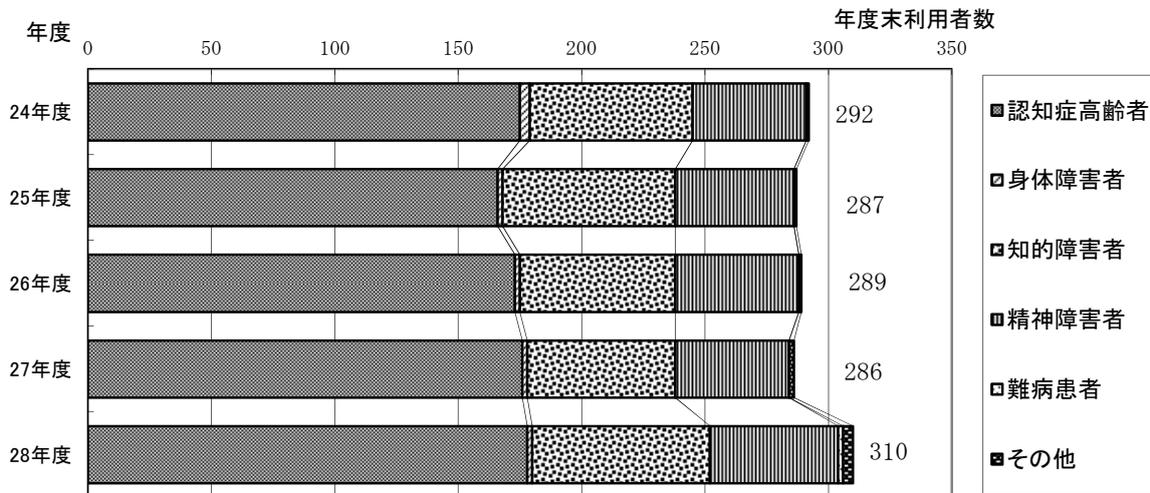
(1) 年度別契約成立者数の推移

	認知症 高齢者	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	難病患者	その他	計	前年度比
平成 24 年度	50	0	5	6	0	0	61	2 (3%増)
平成 25 年度	31	0	11	10	0	0	52	▲ 9 (15%減)
平成 26 年度	50	0	8	6	0	0	64	12 (23%増)
平成 27 年度	34	0	4	7	0	2	47	▲ 17 (27%減)
平成 28 年度	41	0	16	16	2	2	77	30 (64%増)



(2) 各年度末利用者実数の推移

	認知症 高齢者	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	難病患者	その他	計	前年度比
平成 24 年度	175	4	66	46	0	1	292	0 ( 0%増)
平成 25 年度	166	2	70	48	0	1	287	▲ 5 ( 2%減)
平成 26 年度	173	2	63	50	0	1	289	2 ( 1%増)
平成 27 年度	176	2	60	46	0	2	286	▲ 3 ( 1%減)
平成 28 年度	178	2	72	52	2	4	310	24 ( 8%増)



## ◇法人後見事業

国において、成年後見制度を利用する環境が整えられる中、成年後見制度の需要は今後さらに増大することが見込まれています。そのため、弁護士などの専門職による後見人がその役割を担うだけでなく、専門職後見人以外の市民を含めた後見人を中心とした支援体制を構築する取り組みが全国で進められています。

国が市民後見人の活動を推進する背景には、社会貢献意欲の高い市民が後見人として活躍することで、地域における市民同士の互助・共助の意識が高まることへの期待があり、本市においても、倫理観の高い市民が後見人として個人で活動できるための仕組みづくりを、市や専門職、家庭裁判所と協議しています。

一方で、本会が平成 21 年度より取り組んでいる法人後見事業では、社会貢献型市民後見人養成研修の修了生である「支援員」が、後見担当専門員等と協議しながら、市民の視点で、対象者に寄り添った後見活動を行っており、平成 29 年 3 月末現在の受任件数は 50 件（成年被後見人 35 人、被保佐人 11 人、被補助人 4 人）となっています。

また、市民を活用した本会のこの取り組みは、全国的にも注目されており、他県・市からの視察を受入れたほか、他県・市で開催される講演会等へ講師を派遣しました。

### 1 事業運営の適正化

- (1) 監視委員会の開催（4 回）【再掲】
- (2) 運用委員会の開催（8 回）【再掲】
- (3) 事業・会計監査の実施（2 回）【再掲】（対象者 57 人）

### 2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 北九州成年後見センター理事会への参加（10 回）【再掲】
- (2) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（6 回）【再掲】
- (3) 法テラス北九州地方協議会への参加（1 回）【再掲】
- (4) 市民後見人の個人受任に向けた検討会（8 回）

### 3 職員の資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催（2 回）【再掲】
- (2) 専門性を高めるための研修会等への参加（3 回）

### 4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演の職員派遣（10 回 参加者 235 人）【再掲】
- (2) 事業周知活動（16 回 2,150 人）【再掲】
- (3) 他都市が開催する研修会等への講師派遣（3 回 研修参加者 487 人）
- (4) らいとホームページの活用（更新 1 回）【再掲】
- (5) 視察の受け入れ（5 回 視察者 27 人）

### 5 法人後見事業の受任状況

- (1) 年度末受任状況（50 件：後見 35 件、保佐 11 件、補助 4 件）

## (2) 月別新規受任状況

(単位:人)

		認知症	障害者			その	計			認知症	障害者			その	計
		高齢者	知的	精神	身体	他				高齢者	知的	精神	身体	他	
4月	後見	0	0	1	0	0	1	10月	後見	0	0	0	0	0	0
	保佐	1	0	0	0	0	1		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
5月	後見	1	0	0	0	0	1	11月	後見	0	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	1	0	0	0	0	1
6月	後見	0	0	0	0	0	0	12月	後見	0	2	0	0	0	2
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
7月	後見	1	0	0	0	0	1	1月	後見	0	0	1	0	0	1
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
8月	後見	1	0	0	0	0	1	2月	後見	0	0	0	0	0	0
	保佐	1	0	0	0	0	1		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
9月	後見	0	0	0	0	0	0	3月	後見	0	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0
								計	後見	3	2	2	0	0	7
							保佐		2	0	0	0	0	2	
							補助		1	0	0	0	0	1	
							計		6	2	2	0	0	10	

## (3) 新規受任ケースの申立状況

(単位:人)

	後見			保佐			補助			合計
	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	
本人申立	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
親族申立	0	2	1	0	0	0	1	0	0	4
市長申立	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	3	1	1	0	1	0	0	10

## (4) 年間活動回数 (1,568回)

## (5) 後見報酬請求状況

請求人数	42人(後見31人、保佐8人、補助3人)
金額	8,150,000円

## ◇社会貢献型市民後見人養成事業

認知症や障害により判断能力が不十分な人を法的に保護する「成年後見制度」の普及に伴い、後見人不足、とりわけ専門職後見人の不足が懸念されています。そのため、地域福祉の担い手として、本人に寄り添い支援する「市民後見人」の育成と活用が全国的に進められています。

北九州市では、平成19年度より、毎年、社会貢献型「市民後見人」養成研修を開催し、これまでに116名が全課程を修了しています。しかし、家庭裁判所が、重い責任を伴う成年後見人等として専門職でない市民を選任するためには、市民後見人の活動をサポートするしくみが不可欠で、そのしくみが整備されていない本市では、未だ個人で受任する市民後見人は誕生していません。そこで、本会が市民後見監督人に就任し、その活動をサポートしていく「市民後見支援事業」について検討を重ねてきました。

そうしたなか、今年度は修了生を対象としたフォローアップ研修を開催し近々誕生する市民後見人としての責任や心構え、職務内容などを改めて確認し、今後の活動に備えました。

なお、修了生116名のうち49名は、個人で市民後見人として活動を行うことを希望しており、「北九州市市民後見人候補者名簿」へ登録される予定です。（平成29年4月1日登録）

### 1 北九州市市民後見候補人フォローアップ研修

実施日	人員・会場	内 容
H29. 2. 26	69人 ウエルとばた	①講演 「成年後見活動の実際～市民後見人誕生に向けて～」 (講師) 司法書士 かばしま事務所 椛島 浩二 氏 ②「北九州市市民後見候補人」登録更新説明会

# ◇ボランティア振興事業

## 1 福祉教育事業

児童・生徒が将来、ボランティア・市民活動に積極的に参加する意識啓発の契機として、ボランティア活動を体験できる機会を提供するため、夏ボランティア体験学習事業を実施しています。夏ボランティア体験学習では、青少年ボランティアステーションとの協働のもと、社会福祉施設やイベント等のさまざまな形でボランティア活動を体験することで福祉の心を育んでいます。

### (1) 2016 夏ボランティア体験学習事前研修会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 7. 18 ・ H28. 7. 20	764 人 ウエルとばた	「社会福祉施設での活動について」 講師：中原保育園 園長 井上 清美 大蔵保育園 園長 重國 香 れんげ乳児保育園 主任保育士 黒田 理恵

### (2) 2016 夏ボランティア体験学習

実施日	人員・会場	内 容
H28. 7. 26 ～ H28. 8. 19	市内各施設および 各イベント会場	3 日間の体験学習 ・社会福祉施設体験 (751 人) ・イベント参加等、その他の活動 (962 人)
H28. 7. 30	44 人 ウエルとばた	・親子点字教室 (22 組 44 人)

年 度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
参加人数	1,894	2,088	2,317	2,342	1,713

## 2 ボランティアネットワーク事業

中間支援組織間の定期的な連絡会を開催し、ボランティア・市民活動の推進役として、情報を共有するとともに、それぞれの専門性や特色を理解し、役割分担と連携を図りながら活動の幅を拡げています。また、当年度は合同研修会を実施するなど、コーディネーターのスキルアップにも取り組みました。

災害ボランティアセンターの運営に際しては、的確な被災者ニーズの把握や、ボランティアによる迅速な支援が求められているため、26年度の市域を対象とした設置・運営訓練を受け、平成27年度からはより被災地に近い区域での開催に取り組んでいます。さらに、当年度は、エフコープ生活協同組合と、市内で自然災害が発生した際に、災害ボランティア活動や被災者支援を効率的に行うための「災害時相互協力協定」を締結しました。

平成28年熊本地震においては、被災直後から被災地支援活動や保険等に関する様々な相談が寄せられ、臨時開所や被災地支援のためのボランティアバスの運行などの対応にあたりました。

(1) 市域に及ぶボランティア・市民活動団体ネットワークの構築  
 ア 中間支援組織連絡会の開催

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 27	9人 ウエルとばた	・各団体の紹介 ・熊本地震被災地支援活動について情報共有 ・28年度研修スケジュールの情報交換・情報共有
H28. 6. 22	8人 ウエルとばた	・各団体情報交換
H28. 8. 24	11人 黄金まちや	・各団体情報交換 ・熊本地震被災地支援活動について他
H28. 10. 26	8人 コムシティ	・各団体情報交換
H28. 12. 12	19人 ウエルとばた	・各団体情報交換
H29. 2. 22	8人 ウエルとばた	・各団体情報交換 ・来年度の連絡会について(方針)等

イ 中間支援組織連絡会合同研修会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 12. 12	19人 ウエルとばた	「連携と協働のためのプラットフォームづくりを 目指して～対話を通じて「共感」から「共働」へ～」 講師：九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行

(2) 災害時の被災者支援に向けた取り組み

ア 災害時相互協力協定締結式

実施日	会場	締結機関・団体
H28. 12. 20	ウエルとばた	・エフコープ生活協同組合

イ 災害時相互協力協定にかかる連絡会議

実施日	人員・会場	機関・団体	内 容
H28. 12. 15	7人 ウエルとばた	(一社)北九州青年会議所	・出席者紹介 ・28年度活動報告
H29. 2. 23	6人 ウエルとばた	日本労働組合総連合会・福岡県連合会北九州地域協議会、福岡県北九州地域労働者福祉協議会	・協議 29年度活動方針について その他

ウ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	人員・会場	内 容
H28. 10. 22	52 人 穴生学舎	①開講挨拶・オリエンテーション ②講演「地域の「受援力」を高めるためには」 ～災害ボランティアセンターの機能と役割～ ③各班での打ち合わせ ④模擬演習「災害ボランティアセンターの模擬体験」 ～助け上手になるためのシミュレーション～ ○災害ボランティアとしての役割 [巡回先] (1) ボランティア登録 [ボランティア受付班] (2) 活動内容確認・資材受取 [オリエンテーション・資材班] (3) ニーズ班体験 ⑤まとめ・閉講 開講挨拶：八幡西区社会福祉協議会会長 奥尾 一雄 (講師) 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児

年 度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
回 数	1	1	4	2	1
延べ参加者数	29	15	173	144	52

エ 平成 28 年熊本地震における取り組み

(ア) ボランティア・市民活動センターの臨時開所

開所日時	内 容
4 月 17 日 (日) 12 : 30～17 : 15	電話対応
4 月 18 日 (月) 8 : 30～17 : 15	電話対応
4 月 24 日 (日) 12 : 30～17 : 15	開 所
4 月 25 日 (月) 8 : 30～17 : 15	開 所

(イ) 支援活動調整

実施日	人員・場所	内 容
H28. 4. 21～H28. 4. 30	4 人 アシスト 21	救援物資の整理・搬入
H28. 5. 13	3 人 本城リサイクルプラザ	救援物資の仕分け作業等 の応援

(ウ) ボランティアバスの運行

実施日	人員	場所	内容
H28. 5. 27	ボランティア 23 人 随行職員 1 人	熊本市災害ボランティアセンター 城南・富合サテライト	災害ボランティアセンターの運営支援、がれき等の撤去、家屋内のかたづけ、家財道具の搬出、避難所の運営支援等
H28. 6. 3	ボランティア 50 人 随行職員 3 人	熊本市災害ボランティアセンター 東サテライト、 城南・富合サテライト	

(エ) 被災地支援にかかる相談支援

企業・団体	実施日	場所	内容	人員
大英産業株式会社 社管理部	H28. 9. 8 H28. 10. 15	益城町総合体育館	焼きうどん、豚汁等の炊き出し	
株式会社安川電機 機人事総務部	H28. 6. 3 (当会主催「ボランティアバス」に同行)	熊本市災害ボランティアセンター 東サテライト	がれき等の撤去、家屋内のかたづけ、家財道具の搬出等	21 人
ソーシャルビジネスネットワーク「チーム北九州」 (当会共催事業)	①H28. 8. 21 ②H28. 8. 28 ③H28. 9. 11 ④H28. 9. 25 ⑤H28. 10. 2	熊本県阿蘇郡阿蘇村(①、⑤)、阿蘇市(②~⑤)、上益城郡益城町(⑤)	がれき等の撤去、農業支援	延べ 124 人

オ その他の取り組み (開催支援)

(ア) 北九大防災「被災時を想定してみよう！」

実施日	人員	場所	内容
H29. 3. 26	学 生 9 人 社協職員 3 人	北九州市立大学	災害ボランティアセンター設置・運営訓練
H29. 3. 27	学 生 20 人 社協職員 3 人		避難所運営ゲーム (HUG)

(イ) 学生による被災地支援を考えるーセクターを越えて連携できる関係作りー

実施日	人員・場所
H28. 3. 29	社協職員 2 人 西南学院百年館 (松緑館)

### 3 在宅高齢者サービス事業

外出・移動手段の不便や困難を解決するシルバーひまわりサービス事業や、簡単な大工仕事や家電品の修理を中心とした自力では対応が困難な困りごとを解決する腕自慢おまかせサービス事業などボランティアによる在宅高齢者サービスを実施しています。

#### (1) シルバーひまわりサービス事業

事業開始後20年を経過し活動者の高齢化が進んでおり、運転ボランティアの確保が課題となっています。企業・団体への働きかけなど、新規活動者の掘り起こしに努めています。

#### ア ボランティア実働人員

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
労働組合員	18	17	17	19	16	14	13	15	15	16	12	20	192
行政職員	20	19	21	19	31	20	24	28	24	27	30	25	288
企業・市民	220	205	211	208	209	211	211	210	207	197	198	217	2,504
社協職員	5	9	10	11	10	2	7	7	7	4	7	6	85
合 計	263	250	259	257	266	247	255	260	253	244	247	268	3,069

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
実働人員	3,266	2,791	3,227	3,164	3,069

#### イ ボランティア実働回数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
労働組合員	20	19	19	21	19	19	16	21	19	19	13	24	229
行政職員	24	20	25	25	38	29	36	35	33	30	32	30	357
企業・市民	637	596	611	592	590	602	563	589	590	541	562	635	7,108
社協職員	5	11	11	14	13	2	8	9	8	4	7	7	99
合 計	686	646	666	652	660	652	623	654	650	594	614	696	7,793

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
実働回数	8,455	7,014	8,487	7,733	7,793

ウ 目的別利用件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通院・お見舞い	263	244	260	247	236	244	235	243	228	225	224	241	2,890
福祉施設入所及び利用	2	1	1	0	1	3	2	6	4	5	1	0	26
買物・食事	100	106	105	94	114	104	100	100	98	91	101	97	1,210
理髪・入浴	11	4	7	9	6	6	7	6	7	5	8	9	85
観光・公共施設利用	45	38	40	47	45	33	45	35	49	25	30	48	480
合 計	421	393	413	397	402	390	389	390	386	351	364	395	4,691

年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
目的別利用件数	5,168	5,451	4,894	4,762	4,691

エ 利用述べ人数

年度	計	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	本部
H26	4,401	290	561	1,191	549	493	768	436	113
H27	4,056	224	573	959	677	541	653	318	111
H28	4,108	299	499	983	719	535	695	302	76

※本部では土・日（午前のみ）の送迎を担当

オ 連絡調整会議

実施日	人員・会場	内 容
H28. 6. 1	5人 連合福岡・北九州地域協議会	・平成 27 年度実施状況について ・成果及び課題について

(2) 腕自慢おまかせサービス事業

この事業は、企業、個人等の協力により、市民のニーズに対応しています。今後、活動者を全市的に確保し、各区においてコーディネートする等、地域に密着した事業への発展を目指しています。

ア 活動内容別実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大工(棚製作等)	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	6
窓、戸等の修繕	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	4
家具の移動等	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	0	1	8
包丁、鋏とぎ	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	4
除草、庭木剪定	2	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	9
清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気系統修理	1	0	0	0	0	1	2	1	2	0	0	0	7
水道系統修理	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	1	1	3	4	0	0	0	0	0	9
計	3	2	1	6	3	6	16	6	2	1	0	2	48

年 度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
実施件数	171	83	66	70	48

4 地域福祉活動支援事業

市民が安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」への助成を年間を通じ行っています。地域福祉研修活動助成についても、ホームページを通して広く情報提供するとともに、研修参加費を助成することによって全国レベルでの研修会の参加機会を提供することができました。

また、ホームページ等を通じて助成金などの情報を広く提供しています。

(1) ボランティア活動保険加入掛金助成事業

取扱件数			加入者数	助成金額 (円)
団体加入		個人加入		
グループ数	人 員	人 員		
760	23,721	835	24,556	2,346,300

年 度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
加入者数	22,315	22,926	22,380	22,722	24,556

(2) 地域福祉研修活動助成

研 修 名	ボランティア全国フォーラム 2016
実施日・会場	平成 28 年 11 月 5 日 (土)・6 日 (日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
参 加 者	岩野晋一郎 (北九州市門司麦酒煉瓦館「個人ボランティア」) 川村元治 (北九州市立年長者研修大学校穴生学舎 C.L.Vグループ)
助成金額	@50,000×2人=100,000円

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
国内 研修	対象者数	1	2	3	1	2
	助成金額	43,000	80,000	125,000	50,000	100,000

## 5 高齢者いきがい活動支援事業 (H28年8月31日受託終了)

8月末までの活動状況は、登録団体105団体、述べ登録情報24件、総検索数3,891件となっており、情報がほしい方にも、情報を伝えたい方にも好評をいただき、高齢者のいきがい活動につながりました。

### (1) 総閲覧件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	計
件数	735	751	799	773	833	3,891

### (2) 8月末時点での登録団体件数

区 分	ボランティア (1)	生涯学習 (2)	仲間づくり (3)	延べ数 (1)+(2)+(3)	実数
門 司	6	5	5	16	8
小倉北	17	18	19	54	40
小倉南	12	4	7	23	16
若 松	3	2	2	7	3
八幡東	5	4	2	11	7
八幡西	9	10	6	25	14
戸 畑	10	4	7	21	15
市 外	1	2	1	4	2
計	63	49	49	161	105

### (3) 承認情報件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	計
ボランティア	0	1	2	1	0	4
生涯学習講座	6	1	0	5	1	13
仲間づくり	1	1	2	1	2	7
計	7	3	4	7	3	24

### (4) 情報閲覧件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	計
ボランティア	73	106	102	79	70	430
生涯学習講座	180	191	109	154	208	842
仲間づくり	174	220	240	188	253	1,075
計	427	517	451	421	531	2,347

## 6 介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、これにより自身の健康増進や生きがいがいづくりにつなげ、地域と施設等との交流を通して施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的として平成 25 年度から実施しています。

65 歳以上の北九州市民（介護保険第 1 号被保険者）が介護保険施設等においてボランティア活動を行った場合に、その活動実績をポイント化し、貯まったポイントは換金または北九州地域福祉振興基金（ひまわり基金）に寄付することができます。

平成 29 年 3 月末現在のボランティア登録数は 1,769 人、受入施設数は 325 施設に及び、活動者の生きがいがいづくりに留まらず、新たなボランティアの掘り起こしにつながっています。また、ボランティア活動の内容も多岐にわたり延べ回数は 17,190 回に上っています。

### (1) 受入施設登録状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

ア 登録施設 325 施設

#### イ 施設の種類の種類（併設を含む）

施設の種類の種類	施設数	施設の種類の種類	施設数
介護老人福祉施設	41	通所リハビリテーション	18
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	11	認知症対応型通所介護	16
介護老人保健施設	21	短期入所生活介護	38
介護療養型医療施設	2	看護小規模多機能型居宅介護	1
特定施設入居者生活介護	33	地域密着型通所介護	1
認知症対応型共同生活介護	68	北九州市予防給付型通所サービス	0
小規模多機能型居宅介護	31	北九州市生活支援型通所サービス	1
通所介護	162	合 計	444

### (2) ボランティア登録状況（平成 29 年 3 月 31 日現在） (人)

	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	合計
男	72	114	113	57	17	373
女	336	463	384	165	48	1,396
合 計	408	577	497	222	65	1,769

## (3) ボランティア活動者・受入施設の登録数

年 月	ボランティア活動者			受入施設		
	新規登録	退会	変更	新規登録	退会	変更
H28. 4	42	1	3	28	0	3
H28. 5	22	1	1	9	1	60
H28. 6	24	5	11	6	0	3
H28. 7	18	1	5	2	0	1
H28. 8	39	2	2	0	0	3
H28. 9	9	1	2	2	0	0
H28.10	17	2	1	4	0	3
H28.11	17	4	10	1	0	1
H28.12	3	3	1	1	0	1
H29. 1	11	21	8	1	0	4
H29. 2	9	21	5	2	1	6
H29. 3	19	7	8	4	0	5
合計	230	69	57	60	2	90

## (4) 換金・寄付申請状況(対象者：平成28年12月31日現在の登録ボランティア)

	換 金	寄 付 (ひまわり基金)	換金・寄付 (ひまわり基金)	合 計
人 数	579	176	57	812
金 額	1,999,800	352,200	換金 166,000 寄付 73,600	2,591,600

※ボランティア活動実施者数(1回以上の活動者数) 938人(平成28年1～12月)  
 ボランティア活動延活動回数 18,295回(平成28年1～12月)

## (5) 内容別ボランティア活動状況(平成28年4月～平成29年3月)

活動の種類	延べ回数
①レクリエーション(趣味活動)等の補助	4,616回
②芸能等の披露	1,803回
③話し相手	2,379回
④行事の手伝い	455回
⑤食事介助の補助(お茶出し・配膳・下膳等)	788回
⑥掃除・衣類整理の補助	2,412回
⑦散歩・館内移動・送迎の補助	152回
⑧その他施設職員と共に行う補助的な活動	4,585回
合 計	17,190回

## 7 市民ふれあいフェスティバル事業

全市民的なボランティアの集いのイベントとして、各区社協との共催のもと、実行委員会形式によりテーマを決定し、委員の企画・進行により開催しています。

当年度は「がんばろう九州！あなたとわたしのやさしい絆」をテーマとし、被災地への継続した支援の必要性を周知し応援するイベントとして「園児によるイラスト展」と「赤い羽根共同募金活動」を実施しました。

また、日頃の活動を紹介する「パネル展示」「活動紹介」「活動支援バザー」「福祉車両・高齢者疑似体験」等の催しには、54団体のボランティアグループ・市民活動団体・企業・学校が出展し、延4,702名の方にご来場いただきました。

### (1) 実行委員会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 6. 23	17人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正・副委員長の選任について</li> <li>・実行委員会の取り組みについて</li> <li>・平成28年度の実施内容について</li> </ul>
H28. 8. 19	17人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等の経過報告について</li> <li>・役割分担について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
H28. 11. 2	16人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担について</li> <li>・イベント等の経過報告について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
H28. 12. 21	14人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告について</li> <li>・次年度の検討課題について</li> </ul>

### (2) 催事内容

実施日	人員・会場	内 容
H28. 11. 20	4,702人 ウエルとばた および周辺	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボランティア市民活動を紹介・支援するイベント <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動紹介、パネル展示、活動支援バザー、多世代交流、クッブ、ステージでのボランティアグループ・市民活動団体による演舞等の発表会、車いす等寄贈式典</li> </ul> </li> <li>2 福祉のこころを育むイベント <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉車両体験、福祉疑似体験</li> </ul> </li> <li>3 「ボランティア週間」のイベント <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展示の期間延長</li> <li>・ボランティア関係講座の開催 <ol style="list-style-type: none"> <li>①アクティブシニアでいよう！～自分も地域も元気でいられるコツ～ (参加：15人)</li> <li>②介護支援ボランティア事業スキルアップ研修会「こころのふれあいと生きがい」(参加：24人)</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>4 被災地を支援するイベント <ul style="list-style-type: none"> <li>①園児によるイラスト展</li> </ul> </li> </ol>

実施日	人員・会場	内 容
		(参加：戸畑区内 11 施設) ②赤い羽根共同募金 (募金先：福岡県共同募金会 北九州市戸畑区支会) 5 スタンプラリー

### (3) 過年度の実施内容及び推移

年度	内 容	場所	参加人数
平成 24 年度	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、送迎車両贈呈式	戸畑	4,193
平成 25 年度	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,773
平成 26 年度	・全体会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,648
平成 27 年度	・全体会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,955
平成 28 年度	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー、ボランティア週間・被災地支援イベント	戸畑	4,702

## 8 ボランティア育成・啓発事業

市民に、ボランティア活動をはじめのきっかけを提供し、またより深い理解をしてもらうため、さまざまな啓発資料を作成するとともに、出前講演にも取り組んでいます。併せて、北九州市社協だよりを活用し「企業の社会貢献活動」の紹介を行っています。

また、ボランティアコーディネーター間の情報交換や共有、スキルアップ等のため、ボランティアコーディネーター連絡会議を実施しています。

### (1) 啓発資料の作成

発行時期	資 料 名	発行部数
H28. 10	2015 ボランティアグループ等実態調査	1,000 部
H29. 2	ボランティアというカタチ	2,000 部
H29. 2	ボランティアグループ名簿 2016 年度	600 部

## (2) 出前講演

実施日	人員・会場	内 容
H28. 5. 11	38 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (体力増進コース)
H28. 6. 2	42 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (アジアを学ぶコース)
H28. 7. 5	39 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (健康づくりサポーターコース)
H28. 7. 6	35 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (生活情報コース)
H28. 7. 7	32 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (地域ふれあいコース)
H28. 7. 7	17 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (陶芸コース)
H28. 9. 7	28 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (写真入門コース)
H28. 10. 12	37 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (歴史に学ぶコース)
H28. 10. 24	35 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (国際情報コース)
H28. 11. 3	35 人 新小倉ビル	・福岡県生活支援ボランティア養成研修 ボランティアをはじめるにあたって
H28. 12. 22	32 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (暮らしと環境コース)
H29. 1. 30	34 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (健康管理コース)
H29. 2. 7	27 人 周望学舎	・ボランティアの心を学ぶ (花と野菜づくりコース)
H29. 2. 15	18 人 八幡東区社会福祉センター	・平成 28 年度送迎ボランティア養成講座 シルバ ーひまわりサービス事業について
合計 (14 回)	449 人	

## (3) 企業の社会貢献活動掲載企業 (※企業名は発行当時のもの)

	発行日	号数	企業名
1	H22. 5. 1	75	九州電力(株)小倉営業所
2	H22. 8. 1	76	新日本製鐵(株)八幡製鐵所
3	H22. 11. 1	77	北九州ヤクルト販売(株)
4	H23. 1. 15	78	(株)損害保険ジャパン
5	H23. 5. 1	79	日鐵運輸(株) 労働組合
6	H23. 8. 1	80	イオン九州(株)イオン戸畑店
7	H23. 11. 1	81	筑紫自動車工業(株)
8	H24. 1. 15	82	福岡ひびき信用金庫
9	H24. 5. 1	83	(株)タカミヤ
10	H24. 8. 1	84	九州旅客鉄道(株)
11	H24. 11. 1	85	九鉄工業(株)
12	H25. 1. 15	86	昭電テックス(株)
13	H25. 5. 1	87	城野自動車学校
14	H25. 8. 1	88	有菌製作所
15	H25. 11. 1	89	九州電力(株)北九州支社
16	H26. 1. 15	90	大成設備(株)九州支店
17	H26. 5. 1	91	POLA YOU 営業所
18	H26. 8. 1	92	ニッスイマリン工業(株)
19	H26. 11. 1	93	福岡銀行
20	H27. 2. 1	94	安川電機労働組合
21	H27. 1. 15	95	(株)マルハン
22	H27. 8. 1	96	(株)サンレー
23	H27. 11. 1	97	トヨタカローラ博多(株)
24	H28. 1. 15	98	計測検査(株)
25	H28. 5. 1	99	(一社) 生命保険協会北九州協会
26	H28. 8. 1	100	(株)ギラヴァンツ北九州
27	H28. 11. 1	101	(株)井筒屋
28	H29. 1. 15	102	(株)大英産業

(4) ボランティアコーディネーター連絡会議

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 14	13 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員紹介及び市社協ボランティア・市民活動センター事務分掌について</li> <li>・介護支援ボランティア事業 4～5月研修の周知について</li> <li>・シルバーひまわりサービス事業 会議費、緊急時の対応について</li> <li>・ボランティア保険 各種ボランティア補償制度の加入集計ならびにボランティアグループ調査票、補償の申請・給付状況の確認について</li> <li>・ボランティア大学校研修事業について</li> <li>・地域支援コーディネート業務について</li> <li>・その他（全国ボランティアコーディネーター研究集会伝達研修（参加報告））</li> </ul>
H28. 5. 19	12 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災対応について</li> <li>・シルバーひまわりサービス事業 使用済み領収書の保管、運転講習時のサービス、事故、活動予定票、Co 連絡会議の連絡事項の様式と内容について</li> <li>・その他（2016 夏ボランティア体験学習、市民ふれあいフェスティバル、ボランティア保険、災害救援ボランティア、個人情報の取り扱い、送迎フォローアップ研修について）</li> <li>・3・4月の連絡事項について</li> </ul>
H28. 7. 14	12 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度市民ふれあいフェスティバル等 市民ふれあいフェスティバル、社会福祉大会、ボランティア週間について</li> <li>・シルバーひまわりサービス事業 安全運行、出発地と目的地、運転者証の改訂、悪天候時の対応、活動者調査票の入力処理、システムについて</li> <li>・ボランティア保険について</li> <li>・市・区 VC の第 2 四半期の取り組みについて</li> <li>・その他（5・6月の連絡事項、2016 夏ボランティア体験学習、介護支援ボランティア事業、県社協「地域ボランティア活動支援のための助成事業について」、各区センター運営委員会議事録や、事業報告等の提供依頼）</li> </ul>

実施日	人員・会場	内 容
H28. 9. 8	12 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター研修（講師：福岡県立大学 村山浩一郎氏）</li> <li>・平成 28 年度第 2 回ボランティア・市民活動センター運営委員会報告について</li> <li>・市・区社協 VC の当該四半期の主な取り組みについて</li> <li>(1)市民ふれあいフェスティバル（出展団体経過報告、当日の出務依頼について）</li> <li>(2)シルバーひまわりサービス事業（10 月の運転研修、悪天候時の対応、運転者の健康管理、事故修理時の請求書関係について）</li> <li>(3)各区の取り組みについて</li> <li>・平成 29 年度事業計画（予算）について</li> <li>・連絡事項について</li> <li>・その他（10 月の送迎ボランティア・フォローアップ研修、11 月のボランティアコーディネーター研修、北九州マラソン、福岡県生活支援ボランティア養成研修について）</li> </ul>
H28. 11. 10	12 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業計画策定に向けて</li> <li>・コーディネーター研修会（9/8 実施）を終えて</li> <li>・安全運行について（運転管理者研修伝達）</li> <li>・区社協 VC の取り組みについて</li> <li>・送迎事業について（利用の手引き、リーフレット、その他）</li> <li>・研修課（各種研修の周知依頼について）</li> <li>・市民ふれあいフェスティバルについて</li> <li>・その他（中間支援組織連絡会研修会、教職員の地域活動・ボランティア活動調査について）</li> </ul>
H29. 1. 12	12 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度区社協ボランティア・市民活動センター事業計画・予算について</li> <li>・平成 29 年度コーディネーター連絡会議の日程等について</li> <li>・シルバーひまわりサービス事業（運転ボランティアの年齢制限、利用料の設定、問答集の作成について、その他）</li> <li>・区社協 VC の取り組みについて</li> <li>・介護支援ボランティア事業（研修日程、ポイント換金申請について）</li> <li>・70 歳現役応援センター主催「しごと・ボランティア合同説明会」へのブース出展について</li> <li>・その他（北九州マラソン 2017、JVCA 主催研修会、養護施設児童に対する就学支援活動について）</li> </ul>

実施日	人員・会場	内 容
H29. 3. 9	28 人 (内 VC8) ウエルとばた	<p>地域支援コーディネーターとの合同連絡会 (前半 1 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動を充実・強化するための連携・協働について</li> <li>・グループワーク「ボランティアコーディネーターと地域支援コーディネーターの連携についての実践・課題」</li> <li>・意見交換、質疑、まとめ</li> </ul> <p>ボランティアコーディネーター連絡会議 (後半 1 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度まちづくりセミナー周知について (研修課)</li> <li>・ボランティア活動保険県助成金の配分について</li> <li>・シルバーひまわりサービス事業について</li> <li>・平成 29 年度コーディネーター連絡会議の日程について</li> <li>・区社協 VC の取組みについて</li> <li>・その他 (臨時職員出勤簿の提出について)</li> </ul>

## ◇社会福祉ボランティア大学校事業

研修課では、「北九州市地域福祉計画」や「北九州市地域福祉活動第五次計画～住民ふくしの元気プラン～」を効果的に推進させるため、民生委員・児童委員協議会や社会福祉施設等と連携しながら、高齢者、生活困窮者、認知症のある人、引きこもり等の課題を抱えた人たちを支援するために、地域コミュニティに福祉の視点で取り組む人材の養成・育成を目指し、研修の充実を図りました。

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人では地域的な取組みを実施することが規定され、今年度重点的に取り組んだ「企業・社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」では、102名もの多くの参加者が集まり、法人の社会貢献担当者等に社会福祉法人が地域の一員として貢献活動をすることの意義・重要性等を学ぶ中で、法人制度改革に向けた熱意・決意を感じさせる研修を実施することができました。

また、頻発する自然災害により、市民の防災に対する関心が高まるなか実施した「災害ボランティア・フォローアップ研修」では、熊本地震の際に設置した熊本市災害ボランティアセンターの組織についての講義やボランティアセンターの各班の役割について学ぶことで災害時に備えた体制づくりを視野に、研修を実施しました。

研修全般では、本会の活動方針である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上に務めながら、関係機関・団体との連携のもと、延べ2,506人に対し研修を実施することができました。

### 1 研修体系の区分別研修実施状況一覧

#### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	139	5～7
ふくしのまちづくり講座	校区住民	7	3	21	747	9～3
計		8	—	26	886	—

## (2) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の人材育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者	新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	8	1	8	362	6~9
現任者	現任福祉協力員等研修	現任福祉協力員等	7	1	7	374	10~1
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社会福祉協議会の実務者	1	1	1	135	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社会福祉協議会役員	1	1	1	188	2
	校(地)区社会福祉協議会新任役員研修	校(地)区社会福祉協議会新任役員	1	1	1	95	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社会福祉協議会・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	5	5	63	8~12
計			19	—	23	1,217	—

## (3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	傾聴ボランティア養成講座	市民	1	3	3	65	8
	福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体で運転協力者を希望する者	3	2	6	74	6~3
	私にもできる災害ボランティア入門講座	市民	1	1	1	24	8
活動者	傾聴ボランティア・フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	26	5
	送迎ボランティア・フォローアップ研修	送迎ボランティア	1	1	1	17	10
	災害ボランティア・フォローアップ研修	災害ボランティア入門講座受講者等	1	1	1	28	9
リーダー	ボランティア・リーダー研修	リーダー次期リーダー	1	1	1	29	12
計			9	—	14	263	—

## (4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業・社会福祉法人の社会貢献活動セミナー		社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	102	2

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
実務者	ボランティア・コーディネーター研修	施設・団体等でボランティアコーディネーションに関わる職員	1	2	2	38	11

2 資料作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『きたきゅうしゅう市社協だより』掲載)	172,000部	平成28年5月1日・8月1日 11月1日・平成29年1月15日
事業報告書	350部	平成28年8月1日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	平成28年6月1日

3 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成24年度	9	27	794
平成25年度	8	26	1,097
平成26年度	8	26	1,078
平成27年度	8	26	998
平成28年度	8	26	886

(2) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の人材育成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成24年度	28	32	1,631
平成25年度	27	31	1,729
平成26年度	19	23	1,754
平成27年度	19	23	1,953
平成28年度	19	23	1,217

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 24 年度	8	15	239
平成 25 年度	10	17	352
平成 26 年度	9	14	305
平成 27 年度	9	14	306
平成 28 年度	9	14	263

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 24 年度	3	3	230
平成 25 年度	4	4	134
平成 26 年度	1	1	18
平成 27 年度	1	1	30
平成 28 年度	1	1	102

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 24 年度	2	3	61
平成 25 年度	2	3	92
平成 26 年度	1	2	47
平成 27 年度	1	1	32
平成 28 年度	1	2	38

(6) 延べ研修参加人数

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 24 年度	50	80	2,955
平成 25 年度	51	81	3,404
平成 26 年度	38	66	3,202
平成 27 年度	38	65	3,319
平成 28 年度	38	66	2,506

# ◇北九州シニアネットワークアカデミー事業

## 1 周望学舎事業

周望学舎は「宿泊のできる年長者の研修施設」という要望に応えて、高齢者の生きがい対策と生涯学習という二つの性格を併せ持つ、元気な高齢者を対象とした施設として、全国に先駆けて昭和54年8月に設置されました。

発足当初は、老人クラブ指導者養成から趣味活動支援としての実技指導、さらに高齢者の生きがいづくりを主とした研修内容としていましたが、近年は地域活動・地域貢献をめざす活動者の育成にも力を注いでいます。

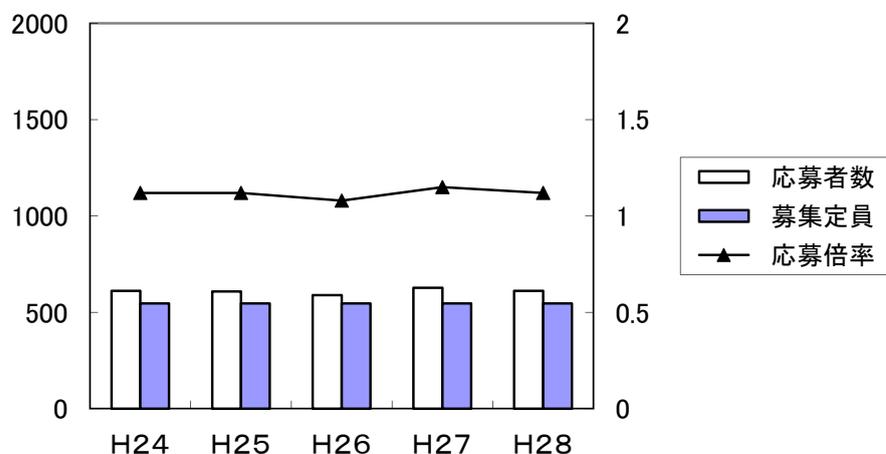
平成28年度の研修では、特に、新しく高等教育機関との連携の中で、医療現場での情報や健康に関する知識を深め、学生たちとの交流を図りました。

また、卒業生で構成している研究クラブ・ボランティアグループ・同好会等にも各コースで学んだことが活動に繋がるように支援を行い、新たに2つのボランティアグループが立ち上がるとともに、グループ間の連携を図ることで、それぞれが地域や施設に向けて活動の幅をひろげました。

### (1) 応募状況の推移

【応募者数・応募倍率等の推移】

(年間コース)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
新 人	男	63	63	40	43	45
	女	75	74	66	68	60
経験者	男	215	215	216	222	221
	女	258	257	268	294	285
合 計		611	609	590	627	611
定 員		546	546	546	546	546
応募倍率		1.12	1.12	1.08	1.15	1.12



(2) 研修生等(利用者)の推移

ア 全体的な傾向

年間コース利用者については、研修内容の充実などにより延べ19,352人となりました。また、研究クラブは研修室の空き等を有効に活用し、実技コースでの学びをさらに充実させています。

分類		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
年間コース	コース数	16	16	15	15	15
	研修生数(延べ)	20,100	20,941	18,805	19,194	19,352
研究クラブ	グループ数	3	3	2	4	4
	利用者数(延べ)	1,263	2,437	1,421	2,317	2,555
同好会	グループ数	4	5	6	5	5
	利用者数(延べ)	890	1,133	1,558	1,670	1,233

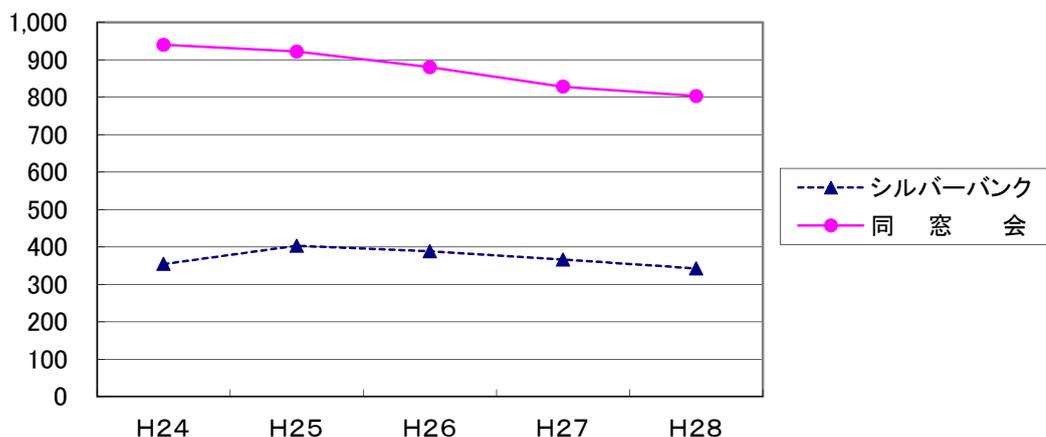
施設年間利用状況	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数(延べ)	32,476	35,067	32,106	33,380	33,367

イ 修了生組織の活動状況

周望学舎修了生の組織として、開校の翌年に結成されたボランティア団体「周望学舎シルバーバンク」と平成4年4月に組織された「周望学舎同窓会」があります。

シルバーバンク及び同窓会は、会員の高齢化が進んでいるものの、高齢者の技術等を活かして地域活動や異世代との交流など多彩な活動を続けています。

会員数	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
シルバーバンク	354	403	388	366	342
同窓会	940	922	880	828	803



(3) 平成 28 年度研修実施状況

コース名		修了者数	利用者数 (延べ)			研修回数			
			男	女	合計	日帰	宿泊	合計	
年間コース	一般	地 域 ふ れ あ い	31	499	645	1,144	38	2	40
		心 と 身 体 の 健 康	31	268	848	1,116	38	2	40
		健 康 づ く り サ ポ ー タ ー	37	516	919	1,435	38	2	40
		国 際 情 報	41	704	773	1,477	37	2	39
		ア ジ ア を 学 ぶ	42	756	776	1,532	38	2	40
		ふ る さ と の 文 化	41	733	787	1,520	38	2	40
		生 活 情 報	42	565	926	1,491	38	2	40
		歴 史 に 学 ぶ	36	594	847	1,441	38	2	40
		暮 ら し と 環 境	35	509	779	1,288	38	2	40
		健 康 管 理	40	756	721	1,477	38	2	40
	体 力 増 進	39	767	701	1,468	38	2	40	
	実技	花 と 野 菜 づ く り	28	530	508	1,038	38	2	40
		写 真 入 門	29	609	515	1,124	38	2	40
		陶 芸	24	456	449	905	38	2	40
		書 道 入 門	24	327	569	896	38	2	40
小 計		520	8,589	10,763	19,352	569	30	599	
委 員 会 ・ 諸 会 議			352	205	557	23	0	23	
短期講座	パソコン	は じ め て の パ ソ コ ン		53	119	172	18	0	18
		ワ ー ド 初 級		122	162	284	20	0	20
		ワ ー ド 中 級		54	86	140	10	0	10
		ワ ー ド 演 習		60	106	166	10	0	10
		エ ク セ ル 初 級		109	99	208	10	0	10
		エ ク セ ル 中 級		49	47	96	6	0	6
		ウ ィ ン ド ウ ズ 1 0 活 用		89	136	225	10	0	10
		イ ン タ ー ネ ッ ト 入 門		41	40	81	6	0	6
		メ ー ル 入 門		59	38	97	6	0	6
		ブ ロ グ 入 門		82	37	119	6	0	6
		年 賀 状		41	106	147	6	0	6
		デ ジ カ メ 入 門		39	59	98	6	0	6
	デ ジ カ メ 活 用		44	61	105	6	0	6	
	小 計			842	1,096	1,938	120	0	120
	その他	英 会 話		40	50	90	6	0	6
		陶 芸 体 験		10	8	18	2	0	2
		年 長 者 と 孫 の 集 い		13	24	37	0	1	1
一 日 体 験 講 座			10	18	28	1	0	1	
小 計			73	100	173	9	1	10	
カシニア レゾ	西 南 女 学 院		104	244	348	10	0	10	
	東 筑 紫		89	274	363	10	0	10	
	北 九 州 市 立		49	87	136	10	0	10	
小 計			242	605	847	30	0	30	

コース名		利用者数 (延べ)			研修回数		
		男	女	合計	日帰	宿泊	合計
研究クラブ	写真研究	370	320	690	25	0	25
	社交ダンス研究	426	637	1,063	32	0	32
	書道研究	188	262	450	23	0	23
	陶芸研究	166	186	352	33	0	33
小計		1,150	1,405	2,555	113	0	113
同好会	卓球	202	110	312	32	0	32
	詩吟	71	133	204	15	0	15
	風船バレー	225	218	443	31	0	31
	社交ダンス	31	104	135	18	0	18
	英会話同好会	84	55	139	10	0	10
小計		613	620	1,233	106	0	106
ボランティア	シルバードンク	948	1,984	2,932	383	0	383
	登録V○						
	園芸	335	548	883	41	0	41
	健康	336	207	543	62	0	62
	パソコン	190	81	271	121	0	121
	グリーンボランティア	38	0	38	9	0	9
小計 (登録V○分)		899	836	1,735	233	0	233
同窓会 (夢工房含む)		416	594	1,010	213	0	213
穴生学舎		129	113	242	0	15	15
その他の	その他 (視察・見学)	22	22	44	1	0	1
	その他 (研修)	46	44	90	5	0	5
	その他 (実習生)	7	46	53	3	0	3
	その他	265	341	606	21	0	21
小計		340	453	793	30	0	30
総合計		14,593	18,774	33,367	1,829	46	1,875

(4) 周望学舎年間行事等

ア 入学記念講演会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 8	501人 北九州芸術劇場	記念講演 「人生は潮干狩り=いきがい探し」 おおいた観光特使 矢野 大和

イ スポーツ大会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 6. 23	517人 総合体育館	入場行進・競技 「仲良しリレー」、「大玉おくり」、「炭坑節」等・閉会式

ウ 大学祭

実施日	人員・会場	内 容
H28. 10. 1 ～ H28. 10. 2	研修生延べ 1,109人 一般来場者 67人 周望学舎	開会式・学習成果を生かした展示、体験コーナー、バンド演奏会、研修生による演芸大会、ウォークラリー、ディスコン大会、出店、社交ダンスパーティー等・閉会式

エ 修学旅行

実施日	人員	内 容
H28. 11. 10 ～ H28. 11. 18	研修生延べ 378人 島原半島	3便に分かれ1泊2日で実施 島原半島一周めぐり（西溪公園、肥前浜宿散策、諫早湾干拓道路横断、千々石展望台、原城跡、有馬キリシタン遺産記念館等）

オ 修了記念作品展（実技コース・研究クラブ）

実施日	人員・会場	内 容
H29. 2. 1 ～ H29. 2. 7	765人 北九州芸術劇場 市民ギャラリー	陶芸、書道、写真 学習成果発表 合計 147点展示

カ 周望学舎・穴生学舎合同作品展

実施日	人員・会場	内 容
H29. 2. 13 ～ H29. 2. 19	78人 ウェルとばた 交流プラザ	周望学舎の書道入門コース・書道研究クラブ、穴生学舎書道入門コースの作品 合計 107点展示

キ 年長者と孫のつどい

実施日	人員・会場	内 容
H28. 8. 4 ～ H28. 8. 5	37人 周望学舎	南小倉児童館児童も参加し、周望学舎シルバークによる折り紙、お手玉、竹馬等の昔遊びを通じた異世代交流やニュースポーツ体験等 青少年ボランティアステーションの協力により高校生ボランティアも4人参加

ク シニアカレッジ (大学活用型校外授業)

実施日	人員・会場	内 容
H28. 7. 22 ～ H28. 9. 30	43人 西南女学院大	「地域での支え合い」、「これからの地域医療」、「心理学を学ぶ～アドラー心理学と森田療法」等、計 10 回 (延べ 348 人)
H28. 9. 7 ～ H28. 11. 30	41人 東筑紫学園	「こころの健康づくりについて」、「ファッションの可能性～コスチュームアート～」、「元気に長生きするために」等、計 10 回 (延べ 363 人)
①H28. 5. 27 ～ H28. 6. 24 ②H28. 10. 21 ～ H28. 11. 25	34人 北九州市立大	「健康セルフチェック」、「脳トレ」、「レクリエーション」等、計 10 回 (延べ 136 人)

ケ 一日体験入学

実施日	人員・会場	内 容
H29. 1. 31	28人 周望学舎	学舎案内および館内見学 講義「フランス人から見た日本」、「ひざ・肩・腰に効くストレッチ」

コ 大学との交流事業

実施日	人員・会場	内 容
H28. 6. 18	36人 北九州市立大	学生との交流 フォークダンス、卓球等

サ 視察・見学

実施日	人員	団 体 名
H28. 5. 19	44人	北九州市立南小倉小学校 3 年生

シ 実習生受け入れ

実施日	人員	団 体 名
H28. 10. 31 H28. 11. 24	44人	西日本看護専門学校

(5) 資 料

資 料 名	発行部数	発行日
香梅(平成 28 年度年間コース修了記念アルバム)	490 部	平成 29 年 2 月 7 日

## (6) 広報

資料名	発行部数	発行回数
研修生の手作り学舎新聞およびかわら版	2,000部	新聞：1回/年
	1,800部	かわら版：3回/年
学舎案内	800部	1回/年

## (7) コース委員長会議 (15 コース)

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 27	委員25人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副代表選出について</li> <li>・自家用車通学と交通安全ボランティアについて</li> <li>・宿泊研修について</li> <li>・施設賠償責任保険契約及び傷害保険について</li> <li>・周望学舎三大行事日程について</li> </ul>
H28. 9. 12	委員22人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車マナーについて</li> <li>・宿泊研修について</li> <li>・周望学舎運営協力ボランティアグループについて</li> <li>・連絡事項 (1) 大学祭 (2) 修学旅行 (3) 後期授業料納付について (4) 自衛消防訓練について (5) 修了式の日程及び会場</li> </ul>
H29. 1. 26	委員21人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了式について</li> <li>・平成 29 年度研修生募集について</li> <li>・修了記念作品展・合同作品展について</li> <li>・年間コース終了アルバム「香梅」について</li> <li>・年間コース終了アンケート・利用者アンケートについて</li> </ul>

## (8) 各種会議 (三大行事等) (会場：周望学舎)

会議名	人員(延べ)	回 数
大学祭実行委員会	研修生・研究クラブ生167人	5回
スポーツ大会実行委員会	研修生 109 人	4 回
修学旅行実行委員会	研修生 108 人	4 回
新聞編集委員会	研修生 72 人	3 回
作品展実行委員会	研修・クラブ生 22 人	2 回

## (9) バスの運行

研修生送迎の他、全コースの校外授業においてスクールバスを活用し中型バスでの運行は1,151回、1,372時間の運行を行いました。

(10) 周望学舎同窓会

ア 会員数 803 人

イ 支部活動

支 部 名				
門司支部	小倉北支部	小倉南支部	戸畑・若松支部	八幡支部
130 人	236 人	291 人	76 人	70 人
<活動内容>				
・会員相互の親睦(総会、一泊旅行・日帰りバスハイク・新春初詣)				
・売店活動(支部活動)				
・支部総会(懇親会)				
・健康づくり(歩こう会・ボーリング、グラウンドゴルフ大会)				
・ボランティア活動・同窓会新聞の発行 等				

ウ 記念講演会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 16	107 人 ウェルとばた 多目的ホール	テーマ「人付き合い・笑って健康」 北九州市生涯学習センター講師 赤松 文雄 氏

エ 広報紙

	発行部数	発行回数
周望同窓会新聞「ふれあい」	2,000 部	2 回/年

(11) 周望学舎シルバーバンク

ア 会員数 18 サークル  
預託会員 162 人  
賛助会員 180 人

イ 支 部 門司支部  
小倉北支部  
小倉南支部  
若戸支部  
八幡支部

ウ サークル活動

	サークル名	会員数	主な活動の内容	主な活動場所と活動日
伝承グループ	創作折り紙	26	福祉施設、児童館、小学校等での伝承活動及び折り紙研究	福祉施設、児童文化会館 小学校、イベント会場等
	お手玉	10	お手玉の作り方、遊び方の伝承	福祉施設等 (研修日 毎月第1・3水曜日)
	竹の会	14	竹細工、竹トンボ、竹笛 水鉄砲等作り方・遊び方の伝承	市民センター イベント会場等 (研修日 毎週水曜日)
	読み聞かせ	6	福祉施設等で本の読み聞かせ・紙芝居等	子育てふれあい交流プラザ (毎週木曜日)その他施設等
	昔遊び	9	竹馬、コマ回し、皿回し等の昔遊びを伝承する	市民センター イベント会場等(不定期)
友愛グループ	椿会	1	特別養護老人ホームでの生け花の指導・洗濯物の整理等	シルバーサンホーム (第2・4水曜日午後)
	見守り介助	5	障害者見守り、話し相手、車椅子介助	戸畑障害者活動センター (第2・4木曜日)
	マジック	1	福祉施設訪問 マジック披露	福祉施設、イベント会場 (不定期)
	ハーモニカ	15	福祉施設訪問・ハーモニカ演奏	福祉施設、イベント会場 (研修日 第1・3木曜日)
	遊書会	7	福祉施設に於いて習字指導	福祉施設シテイホーム、 (毎月第3木曜日)
	シルバーサービス	1	在宅高齢者宅での(日曜大工的な)簡易修理、草刈、剪定	各地域(不定期)
	すみれ会	6	福祉施設訪問 フラダンス実演	イベント会場、施設等 (研修日 毎週月曜日)
	周和会	10	福祉施設訪問 日本舞踊実演	福祉施設、イベント会場 (研修日 毎週火・金曜日)
	子育て支援	12	託児スタッフ	市民センター、イベント会場等(不定期)
ひまわりの会	13	高齢者施設での介護・雑事支援	福祉施設等	
その他	バラの会	14	趣味の手芸で相互の親睦 (作品はイベントに提供)	周望学舎(毎週金曜日)
	収集	27	主にプルタブ収集を通して施設に車椅子を贈る活動	周望学舎 小倉北区社協ボランティア・市民活動センター
	編集	9	会報紙(バンクだより)の編集、発行(年1回)	周望学舎(不定期)

※各サークル重複在籍者あり。

エ サークル活動・活動人員

(ア) 友愛活動	延べ	1,513 人
(イ) 調査研究活動	延べ	246 人
(ウ) ボランティア養成研修	延べ	1,831 人
(エ) 伝承活動	延べ	301 人
(オ) その他の活動	延べ	14 人

オ 預託会員研修

実施日	会場	内容
H29. 3.16	周望学舎 ニシラク乳業(株)	「北九州の食の魅力の創造と発信について」 ニシラク乳業(株)工場見学

カ 広報

資料名	発行部数	発行回数
会報紙「シルバーバンクだより」	1,128 部	1 回/年

(12) 研究クラブ、同好会活動

ア 会員数	研究クラブ	4 クラブ	107 人
	同好会	5 サークル	91 人

イ 研究クラブ・同好会活動

区分	グループ名	活動の内容	活動場所	活動日
ク ラ ブ 研 究	写真	実技コースで学んだ 技術を更にレベルア ップする活動	周望学舎	隔週火曜日
	社交ダンス			木曜日午前中
	書道			隔週月曜日
	陶芸			隔週木曜日
同 好 会	周望卓球同好会	卓 球	周望学舎	概ね毎週金曜日
	周望詩吟同好会	詩 吟		第 1, 3 水曜日
	風船バレー同好会	ふうせんバレー		概ね毎週水曜日
	社交ダンス周望会	社交ダンス		概ね毎週木曜日
	英会話同好会	英会話		概ね毎週月曜日

2 穴生学舎・穴生ドーム事業

穴生学舎は、高齢者の生きがい対策の一環として増大かつ多様化する高齢者のニーズに応えるため、「周望学舎」に続き平成 6 年 9 月に新たな福祉と生涯学習の拠点として設置されました。

穴生学舎では、人口の高齢化に伴い急増する高齢者の「いきがい・健康・ふれあい」づくりと地域活動の推進役としての力量を高めるため、地域ふれあいコースでは、八幡西区内のふれあいサロンの見学を行うなど健康や福祉にかかわる幅広い学習や研修・事業を提供しました。

地域活動情報支援センターでは、学舎で学んだ成果が地域社会で活かせるよう、社会参加する機会や様々な情報を提供すると共に、OB会や研究クラブ等の自主活動を支援して社会における役割意識の高揚に努めました。

また、当学舎に併設されている穴生ドームは、健康志向の高い高齢者をはじめ一般市民にニュースポーツの出前講座や健康ウォーキング事業などのさまざまな自主事業を実施し、市民の健康・体力づくりの支援に努めました。

## [穴生学舎]

### (1) 応募状況の推移

平成29年度研修生の募集に向けて、ホームページでの情報提供、公共交通機関でのチラシの配架、市民が関心を持つ体験講座及び公開講座等の企画によって応募率の向上に努めました。また、新聞四大紙面での広告及び掲示用のポスターによる周知も行いました。

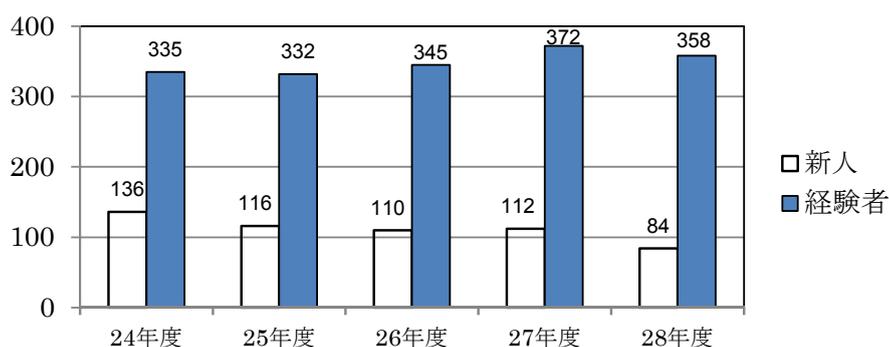
なお、平成24年度以降の応募者数、それに含まれる新人の数は、若干の減少傾向となっていますが、今後とも新たな研修生を確保するため市民や企業などに対し積極的なPRを行いながら、入学後は地域活動者となる人材の育成に努めます。

### 【応募状況の推移】

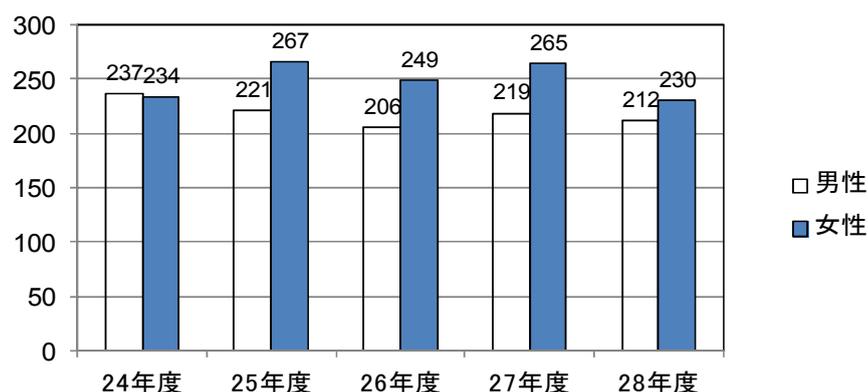
※平成21年度から市社協が第2期「指定管理者」となり管理運営を受託。

※平成26年度から市社協と里山を考える会の共同事業体が第3期「指定管理者」となり管理運営を受託。穴生学舎については、市社協が管理運営を担当。

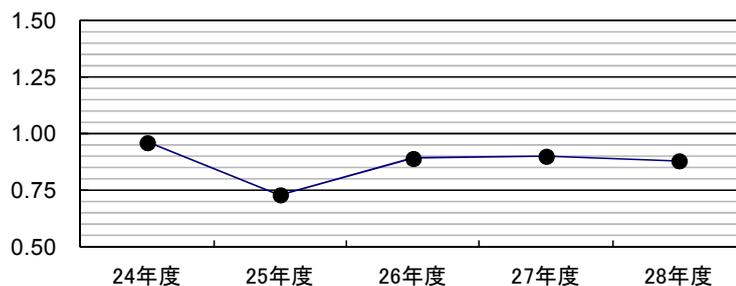
### 【新人と経験者の推移】



### 【男女の推移】



【応募倍率の推移】

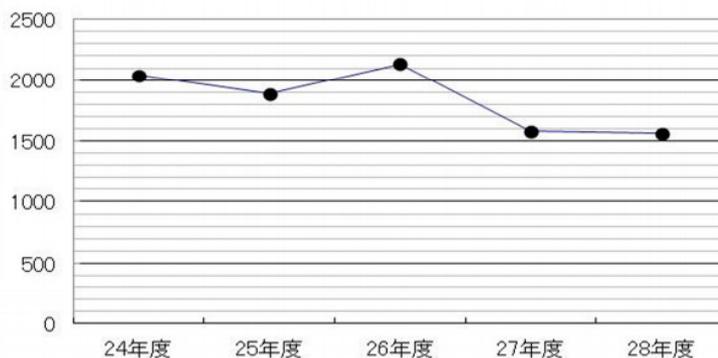


(2) 研修等の推移 (年間コース・研究クラブ・同好会)

分類		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
年間 コース	コース数	16	16	15	15	15
	研修生数(延べ)	16,270	14,947	15,344	14,984	15,381
研究 クラブ	グループ数	6	6	5	6	7
	利用者数(延べ)	1,738	2,025	1,548	1,767	2,529
同好会	グループ数	2	2	1	0	0
	利用者数(延べ)	1,213	1,223	822	0	0

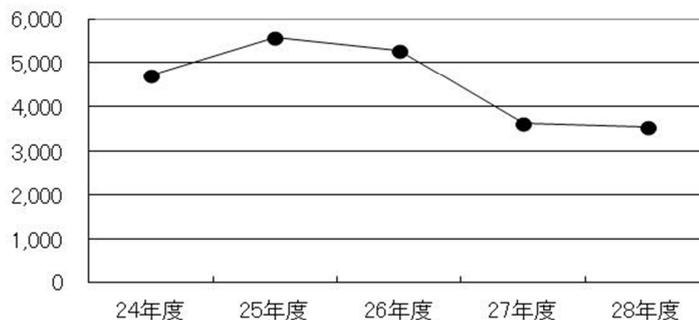
(3) 高齢者支援事業 (ふれあいいきいきサロン) 参加者の推移

穴生学舎クッキングボランティアの会による、一人暮らし等の高齢者に対して健康に良い食事の提供、健康チェック、ふれあい交流を実施しました。



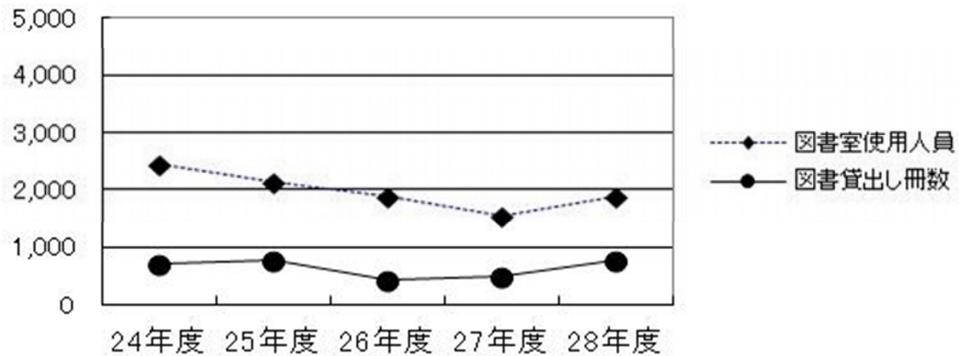
(4) 地域・世代間交流・子育て支援事業参加者の推移

ボランティアグループ・コース研修生による、近隣の幼稚園児や小学校児童との昔遊びの伝承、ニュースポーツ、レクリエーションを通じた交流事業を実施しました。

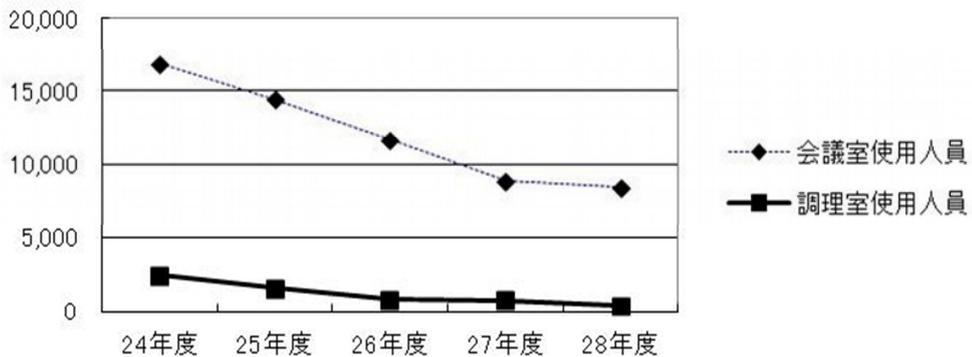


(5) 穴生学舎地域開放事業

【図書室使用人数の推移】



【会議室等使用の推移】



(6) 研修実施状況

コース名	在籍数	利用者数(延べ)			研修回数		
		男	女	計	宿泊	日帰り	計
地域ふれあい	14	131	348	479	2	38	40
健康づくりサポーター	33	572	590	1,162	2	38	40
心と身体の健康	26	358	559	917	2	38	40
歴史に学ぶ	35	646	654	1,300	2	38	40
アジアを学ぶ	33	800	381	1,181	2	37	39
文化伝承	36	319	928	1,247	2	38	40
国際情報	28	717	339	1,056	2	38	40
健康管理	35	620	672	1,292	2	38	40
生活情報	24	563	617	1,180	2	38	40
健康スポーツ	30	611	469	1,080	2	38	40
郷土のなりたち	36	637	642	1,279	2	38	40
実用書道	30	295	800	1,095	2	38	40
絵画入門	16	337	232	569	2	38	40
英会話	25	341	619	960	2	38	40
写真入門	16	373	211	584	2	38	40
小計	427	7,320	8,061	15,381	30	569	599

短期講座	パソコン系講座	99	348	432	780	0	59	59	
	男性料理教室	55	253	0	253	0	10	10	
	自主講座	43	33	69	102	0	5	5	
	公開講座	77	33	44	77	0	1	1	
	一日体験講座	38	14	24	38	0	2	2	
	シニアサマーカレッジ	45	230	168	398	0	10	10	
	シニアカレッジ	65	344	163	507	0	10	10	
	小計	422	1,255	900	2,155	0	97	97	
研究クラブ	書道	15	32	321	353	0	33	33	
	写真	いちご写友会	14	206	52	258	0	20	20
		彩撮会	26	319	156	475	0	22	22
	絵画	一五一絵	17	146	225	371	0	32	32
		絵描会	12	156	195	351	0	31	31
	英会話	UP26	11	175	189	364	0	45	45
		英研27	12	171	186	357	0	43	43
	小計	107	1,205	1,324	2,529	0	226	226	
ボランティア活動		-	-	-	4,848	0	606	606	
その他の活動 (会議室の利用等)		-	-	-	8,710	0	374	374	
合計		956	9,780	10,285	33,623	30	1,872	1,902	

(7) 年間行事等

ア 入学式記念講演会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 8	367 人 北九州芸術劇場	テーマ：「人生は潮干狩り＝いきがい探し」 講 師：おおいた観光特使 矢野 大和

イ 第23回ふれあいスポーツ大会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 6. 17	652 人 穴生ドーム	障害物競走、大玉転がし、玉入れ等の紅白チーム対 抗戦 他

ウ 第22回穴生学舎大学祭&ドームフェスタ

実施日	人員・会場	内 容
H28. 10. 15 ～ H28. 10. 16	4,933 人 穴生学舎 穴生ドーム	19年度から大学祭とドームフェスタを同時開催。 学舎研修生による学習成果発表と地域・世代間交 流を目的に、幼児から高齢者までが楽しめる各種 ふれあい催事コーナーを実施。

エ 修学旅行

実施日	人員	内 容
H28. 11. 21 ～ H28. 11. 29	研修生 295 人	3 便に分かれ 1 泊 2 日で実施 長崎県雲仙市他 (多久聖廟、祐徳稲荷神社、肥前浜の酒造観光、 愛野展望台、雲仙地獄巡り、有田ポーセリンパー ク・武雄温泉楼門 等)

オ 公開講座

実施日	人員・会場	内 容
H29. 1. 28	77 人 穴生学舎	テーマ：幕末激動の北九州 小倉城燃ゆ 小倉小笠原藩家老 島村 志津摩の生涯 講 師：史学博士 廣崎 篤夫

カ ロビーコンサート

実施日	人員	内 容
H28. 5. 10	45 人	ピアノとクラリネット演奏
H28. 8. 24	57 人	穴生学舎ハンドベルボランティア瑠璃色の会に よる演奏
H28. 12. 5	70 人	フォークバンドによる演奏と歌
H29. 2. 14	70 人	ハーモニカ演奏

キ 修了記念作品展

実施日	人員・会場	内 容
H29. 2. 6 ～ H29. 2. 12	424 人 黒崎市民ギャラリー	実用書道・絵画入門・写真入門コースの 学習成果の発表 出点数 計 103 点

ク 周望学舎・穴生学舎合同作品展

実施日	人員・会場	内 容
H29. 2. 13 ～ H29. 2. 19	78 人 ウェルとばた 交流プラザ	周望学舎の書道入門コース・書道クラブ、穴 生学舎実用書道コースの学習成果の発表 出点数 計 107 点

ケ 高齢者支援事業

実施回数	人員・会場	内 容
22 回	延べ 1,564 人 穴生学舎	ボランティアによる地域の一人暮らし高齢者とのふ れあい交流活動「ふれあいいいききサロン」の実施 ・サロン実施回数 : 22 回 (月 2 回実施) ・サロン参加者 : 延べ 924 人 ・運営、協力ボランティア : 延べ 640 人

コ 地域、世代間交流・子育て支援事業

会 場	人 員	内 容
穴生学舎及び 穴生ドーム	3,546 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化伝承ボランティアによるこじか幼稚園児、萩原小学校児童、子どもの館利用者への昔遊びの指導 19 人</li> <li>・クッキングボランティアとの穴生児童館児童とのふれあい交流 83 人</li> <li>・文化伝承コース研修生による昔遊びやレクリエーションを通じての世代間交流 32 人 緑ヶ丘第二幼稚園児等 28 人</li> <li>・ドームフェスタ及び大学祭における文化伝承ボランティアや研修生による昔遊び、スポーツゲーム、キッズコーナーの実施 ドームフェスタ 926 人 大学祭(研修コース催事) 2,458 人</li> </ul>

サ 校外授業「シニアサマーカレッジ・シニアカレッジ」

実施回数	会 場	入学者数	参加人員(延べ)	内 容
10 回	九州共立大学	45 人	398 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアのための栄養学</li> <li>・校外学習～明治日本の産業革命遺産のふるさと～ 等</li> </ul>
10 回	九州国際大学	69 人	507 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州における地産地消の現状と今後の課題</li> <li>・外国人観光客が増えるということー『インバウンドビジネス』の先にあるものー等</li> </ul>

シ 一日体験講座

実施日	人員・会場	内 容
H28. 12. 20	18 人 穴生学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>①テーマ：明治初期の近代化と若松 講 師：北九州市旧古河鉱業若松ビル館長 若宮 幸一</li> <li>②テーマ：ニュースポーツ（ユニカール） 講 師：穴生ドーム スポーツ指導員</li> </ul>
H29. 1. 16	20 人 穴生学舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>①テーマ：幸せのコミュニケーション 講 師：北九州市立大学 名誉教授 中島 俊介</li> <li>②テーマ：ニュースポーツ（シャフルボード） 講 師：穴生ドーム スポーツ指導員</li> </ul>

ス 広報紙の発行

名 称	発行部数(1 回)	発行回数
穴生学舎新聞	2,000 部	・ A4 版 8 ページ 1 回発行
穴生学舎新聞	2,000 部	・ A4 版 4 ページ 2 回発行

セ 資料の発行

資料名	発行部数	発行日
学舎案内	700部	平成28年4月8日
入学案内	6,500部	平成29年2月1日
薫風(穴生学舎修了記念文集)	480部	平成29年2月13日

ソ 地域開放事業

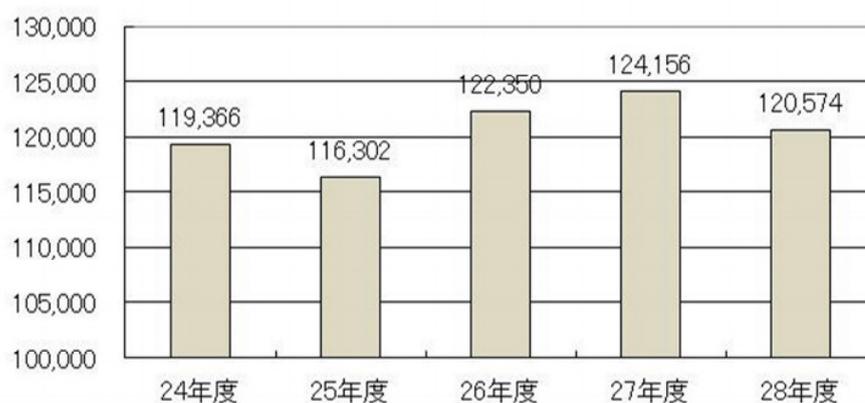
部屋名等	使用回数	使用人員	備考
図書の貸し出し	開館日数 167日 貸出冊数 765冊	貸出人数 529人 図書館利用者 1,895人	・研修生及び一般市民
大会議室	44回	2,331人	・研修コース、各種委員会 ・八幡西区老人クラブ連合会 ・北九州市グラウンドゴルフ協会 ・八幡西区役所保健福祉課 等
A B会議室	73回	2,332人	・ふれあいいいきサロン ・VO・クラブ等連絡会議 等
研修室	27回	1,280人	・大学祭学習成果発表 ・八幡西区役所保健福祉課 等
調理室	11回	360人	・クッキングボランティア ・周望学舎 ・研修コース ・紙すきの会 等
和室	2回	12人	・読みかたりボランティア音愛の会 ・朗読ボランティア草笛の会
ボランティアルーム 交流サロン他	42回	404人	・夢追塾同窓会 ・C. L. V. 等
その他	187回	2,092人	・修了記念作品展 等
計	553回	10,706人	

タ 各種会議

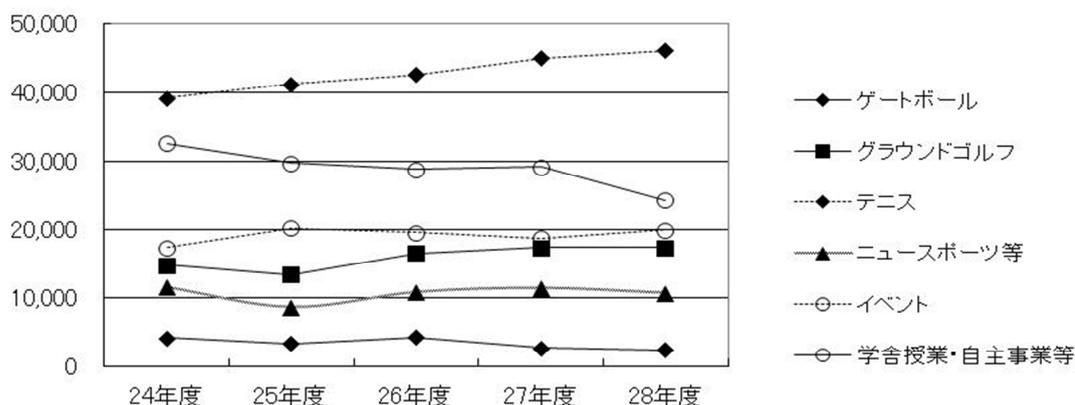
会議名	回数	人員(延べ)	備考
コース委員長会議	3回	46人	—
スポーツ大会実行委員会	5回	134人	—
大学祭実行委員会	5回	137人	—
修学旅行実行委員会	5回	135人	—
新聞編集委員会	7回	87人	—
ボランティア・研究クラブ 連絡会議	4回	85人	年間使用に関する事項及び 各種行事の連絡会議
ボランティアグループ 連絡協議会	3回	67人	ボランティアグループ相互 の意見交換
研究クラブ連絡会議	1回	8人	研究クラブ相互の意見交換

[穴生ドーム]

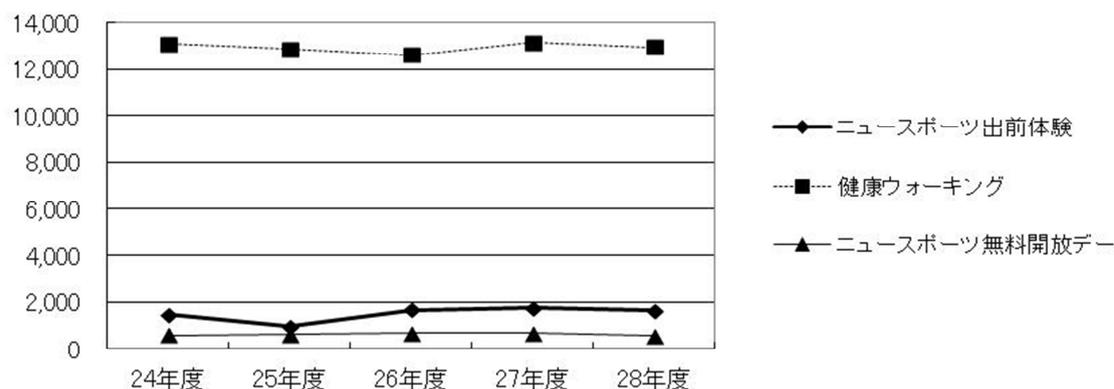
(1) 穴生ドーム年間利用者の推移



(2) 穴生ドーム目的別利用者の推移



(3) 穴生ドーム自主事業参加者の推移



(4) 穴生ドーム利用状況

区分		年間利用人員(人)	1日平均(人)	比率(%)
早朝利用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	3,443	10	30.3
	テニス	6,074	17	53.5
	ニューススポーツ	1,832	5	16.1
個人利用	ゲートボール	0	0	0.0
	グラウンドゴルフ	1,704	5	8.3
	テニス	18,568	54	90.9
	ニューススポーツ	150	0	0.7
専用利用	ゲートボール	2,400	7	3.7
	グラウンドゴルフ	12,125	35	18.8
	テニス	21,533	61	33.3
	ニューススポーツ	8,600	25	13.3
	イベント	19,927	57	30.9
周望・穴生学舎体育授業		3,218	9	2.6
昼休利用		0	0	0.0
自主事業		7,331	21	6.1
屋外コート		710	2	0.6
ウォーキング		12,959	37	10.7
合 計		120,574	344	100.0
開館日数		351		

\*種目別利用者人員

項目	年間利用人員(人)	一日平均 (人)	比率 (%)
ゲートボール	2,400	6.8	2.0
グラウンドゴルフ	17,272	49.2	14.3
テニス	46,175	131.6	38.3
ニュースポーツ	10,582	30.1	8.8
イベント	19,927	56.8	16.5
屋外・体育授業・その他	24,218	69.0	20.1

(5) 穴生ドームテニス教室 (初級)

回数	人員	内 容
10	292 人	ラケットに慣れる、ボールのバウンドに慣れる、フットワークを覚える、打点の位置を覚える等

(6) 穴生ドームテニス教室 (中級)

回数	人員	内 容
6	202 人	ゲームの流れ、マナーについて、ゲームの動き、ダブルスで試合を行う

(7) 穴生ドーム高齢者の健康づくり事業

ア 穴生ドーム主催イベント及び大会

回数	人員	内 容
4	4,019 人	穴生ドーム杯グラウンドゴルフ交歓大会、テニス交歓大会、穴生ドームフェスタ、ビーチボール交歓大会

イ ニュースポーツの振興に伴う高齢者のスポーツ大会

回数	人員	内 容
2	426 人	第30・31回クラブ間交流スポーツ大会

ウ 郊外ウォーキング

回数	人員	内 容
1	20 人	高塔山ウォーキング

エ ニュースポーツ出前体験

回数	人員	内 容
58	1,646 人	出前講演方式によりニュースポーツを体験していた だき、健康づくりを勧める。

オ 健康ウォーキング

回数	人員	内 容
335	12,959人	ドームの2階通路を無料開放し、安全かつ自分のペースで気軽に取り組める運動であるウォーキングを行う機会を提供。生活習慣病の予防に取り組んでいただく。

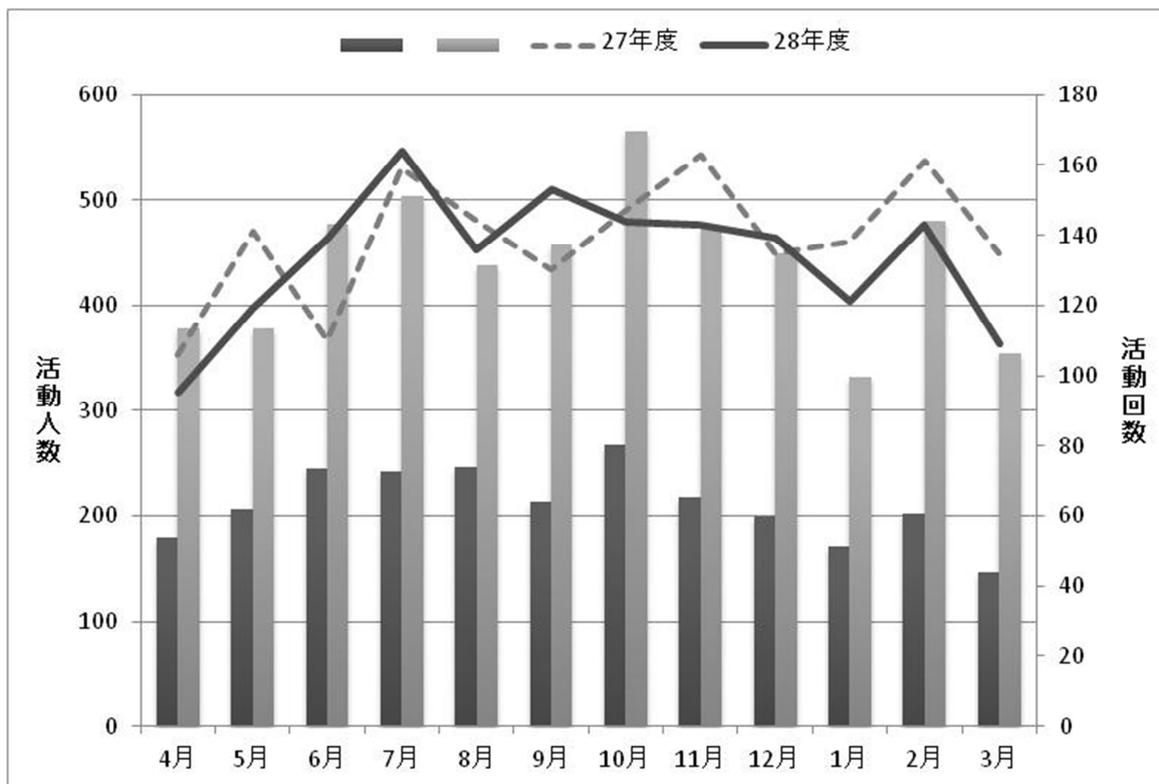
カ ニュースポーツ無料開放デー

回数	人員	内 容
12	572人	ドームを無料開放し、市民の方々に気軽に身体を動かせる機会を提供し、ニュースポーツの体験を通じて、健康・体力づくりや多世代間交流・仲間づくりに取り組む。

3 地域活動情報支援センター

(1) 年長者研修大学校穴生学舎ボランティアグループ活動報告

	活動者数(延べ)	男	女	活動回数	
				平成27年度	平成28年度
4月	558	180	378	106	95
5月	584	206	378	141	119
6月	722	245	477	110	139
7月	747	243	504	159	164
8月	685	247	438	144	136
9月	671	213	458	130	153
10月	833	268	565	147	144
11月	692	218	474	163	143
12月	649	199	450	135	139
1月	504	172	332	138	121
2月	682	202	480	161	143
3月	500	146	354	135	109
年間合計	7,827	2,539	5,288	1,669	1,605



(2) 地域活動情報支援センター コーディネート状況

コーディネート内容	件数	備考
ボランティア活動体験受け入れ先に関すること（周望学舎・穴生学舎）	6	穴生学舎内、ケアハウスあいおい、パレス穴生、银杏庵穴生倶楽部等の施設で活動実践依頼・同行。
ボランティアについて（穴生学舎講義）	9	研修コースでの穴生学舎ボランティアグループに関する説明など。
関係機関からの相談・依頼 関係機関への相談・依頼	5	市ボランティア・市民活動センターや各区ボランティア・市民活動センターからのボランティアグループに関する問い合わせ・活動依頼。
市内学校・市民センター、外部施設・団体からのボランティア相談・依頼	5	こどもの館、黒崎よさこい祭り実行委員会、八幡南図書館、戸畑障害者地域活動センター、千代地区民生委員からの相談・依頼。
ボランティアグループへの活動依頼	13	市内高齢者施設、正和なみき病院等からの相談・依頼。
ボランティアグループからの活動相談	10	助成金・体験教室についての相談。風船バレーボール会員募集事務。
ボランティアグループ以外からの依頼	6	穴生学舎写真クラブ・絵画クラブ、外部施設の作品展の日程調整。研究クラブ会議の日程調整。

研修生・修了生・OB会からの相談	10	パソコンボランティア、図書ボランティアへの入会相談。ボランティア活動先の相談。
一般の方からの相談	8	ボランティアグループについての相談、見学希望等。
講座・研修・地域開放事業等の開催	37	男性料理講座、ロビーコンサート、シニアと孫の夏休み、傾聴ボランティア入門講座、図書室での読み聞かせ・朗読の会、まちの保健室。
ボランティアフェスタ in 八幡西 (実行委員会・企画委員会)	6	参加ボランティアの依頼、各会議への参加、開催スタッフ、PR出演依頼、出店依頼等。
取材、原稿依頼等の広報活動	5	西日本新聞ロビーコンサート広報、八幡西ふるさと新聞の原稿依頼。
ふれあいいきいきサロンに関すること	58	ふれあいいきいきサロンの資料・名簿作成、昼食会への参加。保健師等の依頼。穴生児童館との交流における日程等の調整。
ボランティア活動や打ち合わせに同行	4	ボランティア活動体験・ボランティア活動に同行、現状把握。
穴生学舎ボランティアグループ連絡協議会	18	ボランティアグループ連絡協議会開催に関する事務及び日程調整、ふれあい交流会、登録申請に関すること。図書ボランティア定例会議同席。
年長者研修大学校研修生募集について	24	業者へ入学案内・ポスターのデザイン・見積もり依頼、新聞広告業者へ見積もり依頼。市社協・各区社協・市民センター等への入学案内の配布。
修了生アンケートについて	5	アンケートの作成・配布・集計・報告書作成
夢追塾同窓会活動について	218	会議室の予約・取り直し調整。次年度の会議室予約。
合計件数	447	

### (3) 年間行事等

#### ア シニアと孫の夏休み in 穴生学舎

実施日	人員・会場	内 容
H28. 8. 10	9組・22人 穴生学舎	クッキング(昼食作り)、マジック・バルーンアート・皿回し

イ 傾聴ボランティア入門講座

実施回数	会 場	受講者数	参加人員 (延べ)	内 容
4回	穴生学舎	21人	80人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傾聴ボランティアの基礎・応用</li> <li>・施設が求める傾聴ボランティア</li> <li>・認知症サポーター養成講座</li> </ul>

ウ 穴生学舎ボランティアグループふれあい交流会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 11. 25	107人 穴生学舎	①講演 テーマ：ボケない秘訣 講 師：社会医療法人製鉄記念病院 病院長 土橋 卓也 ②懇親会

## ◇常設委員会

1 生活福祉資金調査委員会：申請 0 件のため開催なし

### 2 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 7. 14	5 人 ウェルとばた	1 委員長の選任について 2 整備資金の貸付審査について（1 件）
H29. 1. 20	5 人 ウェルとばた	1 整備資金の貸付審査について（1 件）

### 3 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 12. 15	9 人 ウェルとばた	1 委員長の選任について 2 平成 27 年度事業報告 3 平成 29 年度事業計画（案）

### 4 ボランティア・市民活動センター運営委員会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 5. 24	16 人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任委員紹介</li> <li>・平成 28 年度の運営委員会の取り組みについて</li> <li>・平成 27 年度ボランティア・市民活動センター事業報告について</li> <li>・平成 28 年度地域福祉活動支援事業について</li> <li>・その他</li> <li>熊本地震に伴う本会の対応状況について（情報提供）</li> </ul>
H28. 8. 12	18 人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業方針について</li> <li>・平成 28 年度地域福祉活動支援事業について</li> <li>・その他（事務局からの情報提供）</li> <li>夏ボランティア体験学習の現状報告</li> <li>市民ふれあいフェスティバル開催日、テーマ</li> <li>平成 28 年度社会福祉ボランティア大学校第 1 四半期報告</li> </ul>
H29. 2. 23	16 人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新委員紹介</li> <li>・平成 28 年度地域福祉活動支援事業助成結果について</li> <li>・平成 29 年度ボランティア・市民活動センター事業計画（案）について</li> <li>・次期北九州市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター運営委員会委員について</li> </ul>

## 5 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 8. 8	17人 穴生学舎	1 委員・事務局等の紹介 2 正副委員長の選任について 3 年長者研修大学校等の概要について 4 北九州シニアネットワークアカデミーの運営について 5 その他
H29. 3. 9	16人 周望学舎	1 平成29年度年長者研修大学校研修生募集案内及び応募状況について 2 平成29年度の取り組みについて 3 その他

## 6 総合企画委員会

回	実施日	人員・会場	内 容
第1回	H28. 7. 12	18人 ウエルとばた	1 平成28年度総合企画委員会の取り組みについて 2 北九州市地域福祉活動第四次計画（2011～2015）の点検・評価について
第2回	H29. 2. 27	17人 ウエルとばた	1 総合企画委員会副委員長の選任について 2 地域福祉活動第五次計画に基づく平成29年度(2年次)の主な取り組み(案)について

## 7 権利擁護・市民後見センター 監視委員会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 25	9人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度事業計画について</li> <li>・法人後見事業新規受任者の受任状況について (2人)</li> <li>・地域福祉権利擁護事業新規審査ケース進捗状況について (16人)</li> <li>・地域福祉権利擁護事業新規契約者の進捗状況について (1人)</li> <li>・平成28年度 監視委員会の開催日程について</li> </ul>
H28. 7. 25	11人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度事業報告について</li> <li>・平成27年度監査について</li> <li>・法人後見事業新規受任案件の進捗状況について (5人)</li> <li>・地域福祉権利擁護事業新規審査ケース進捗状況について (12人)</li> </ul>
H28. 10. 24	10人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業受任案件の進捗状況について (7人)</li> <li>・地域福祉権利擁護事業新規契約者の進捗状況について (23人)</li> </ul>
H29. 1. 23	9人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業受任案件の進捗状況について (5人)</li> <li>・地域福祉権利擁護事業新規契約者の進捗状況について (29人)</li> </ul>

## 8 権利擁護・市民後見センター 運用委員会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 4. 27	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉権利擁護事業の契約状況について</li> <li>・法人後見事業の受任状況について</li> <li>・法人後見事業受任検討について (1人)</li> <li>・今後の日程について</li> </ul>
H28. 6. 15	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業受任検討について 2人</li> </ul>
H28. 7. 7	4人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業受任検討について 2人</li> </ul>
H28. 8. 4	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業受任検討について 1人</li> </ul>
H28. 10. 6	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業受任検討について 1人</li> <li>・その他</li> </ul>
H28. 11. 16	4人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業受任検討について 3人</li> </ul>
H28. 12. 1	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業受任状況について</li> <li>・法人後見事業における虐待等問題のある案件について 2人</li> </ul>
H28. 12. 21	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業受任検討について 1人</li> </ul>
計8回		法人後見受任審査人数 10人 内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者 7人 (後見4人、保佐1人、補助2人)</li> <li>・知的障害者 2人 (後見2人、保佐0人、補助0人)</li> <li>・精神障害者 1人 (後見1人、保佐0人、補助0人)</li> </ul>

## 9 表彰審査委員会

実施日	人員・会場	内 容
H28. 9. 12	5人 ウエルとばた	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度表彰記念式典について</li> <li>2 委員長の選任について</li> <li>3 被表彰候補者の審査・答申について</li> </ol>

